

農林漁業就業・ふるさと情報

Free  
Magazine  
無料

2007  
初夏号 No. **06**  
<http://web-iju.info/>

イジュウインフォ

**IJU**  
info

特集1  
**海を舞台に  
生きる  
という選択**



特集2  
**東海・甲信地方の  
IJUライフ**



[web-iju.info/i](http://web-iju.info/i)

ここから始まる**I・J・U**ターン

やまもと・ますひろ

料理評論家。1948年東京生まれ。早稲田大学卒。82年に出版した「東京・味のグランプリ200」(講談社)以来、食に関する著述、講演、TV・ラジオ出演を始める。01年に長年にわたるフランス料理を紹介する仕事の評価され、フランス政府より農事功労勲章シュヴァリエを受勲。06年に新潟県中越地震被災地での「料理ボランティア」を評価され、国土交通大臣より感謝状を代表者として受け取る。近著として「イチローに学ぶ失敗と挑戦」(講談社)、「そんな食べ方ではもったいない!」(青春出版社)。

若いときからわたしの情熱の対象は、いつでも職人仕事だった。職人仕事というのは、頭で考えたことを手で表現する仕事のことだから、料理ばかりとは限らない。舞台の上の芸も、音楽家の演奏も野球選手のプレーも、どれもみな職人仕事といってよい。

現在、日本人で最高の職人仕事を披露しているのはマリナーズのイチローと、銀座のすし店「すきやばし次郎」主人・小野二郎の、イチロー、「次郎」のふたりである。このふたりを例にとりながら、職人仕事とは何かを考えてみようか。

マリナーズのイチロー選手が、日本人のメジャーリーガーの中でも桁違いに好成績を上げているのにも、じつはわけがある。メジャーに移ってからのフィールド上の彼の一挙手一投足を逃さず見続けていて、わたしはいくつもの法則を発見した。そのレポートをもとにイチローへのインタビューを添えて一冊にまとめたのが「イチローに学ぶ失敗と挑戦」(講談社刊)なのだが、そこから「イチロー勝利への10カ条」を引用してみよう。

- 一、やっていることにはすべて意味がある。
- 一、なにより準備が大切。
- 一、毎日の仕事の再点検を怠らない。
- 一、道具を知り、使いこなす。
- 一、すべては小さな積み重ねから。



# イチローと「次郎」 職人仕事の手本のふたり

山本 益博



- 一、ことあるごとに基本を見直す。
- 一、他人の評価より自分の成果。
- 一、失敗から多くを学ぶ。
- 一、目標を高く掲げ、結果を出す。
- 一、完璧を目指して、最善を尽くす。

わたしの見るところ、これがイチローの野球哲学なのだが、この10カ条、どの世界のどんな仕事にも共通するのではなからうか。

例えば、道具を知り、使いこなす。職人仕事はすべからず道具を使って仕事をする。つまり、道具は自らの手の延長上にあるもので、仕事をする上で欠かせないものである。

イチローの場合は、バット、グラブ、スパイクなどがこれに当たる。彼ほど道具を大切に扱う選手はいない例として、わたしは次のような質問を投げかけた。その一問一答が次のものだった。

【山本】二塁側から見ていると、イチロー選手がホームインしたあと、バットボーイが収納したバットケースの中から自分のバットを取り出して必ず点検している。これは何をチェックしているんでしょうか。ひよつとしたらボールがバットに当たったところを、頭の中でイメージしたのと同じかどうか、確認しているのかしらと思ったのですが。

【イチロー】あれはいったん人の手に渡ったバットを自分の道具として取り戻すためにチェックしているんです。

職人は、まず、道具をきちんと扱えなければいい仕事はできないというわけだ。  
野球選手にとつてのバットは、料理人に当てはめれば庖丁ということになるだろう。

「すきやばし次郎」では、庖丁は見習いの段階では持つことさえ許されない。清潔な厨房からしか美味しい料理は生まれない、を motto に、まずは掃除を徹底的に仕込まれる。食べものを扱う店は、キレイすぎることはないといいわけで、朝に昼に晩に清掃である。掃除が一人前に出来るようになって、はじめて魚を扱わせてもらえる。つまり、庖丁を手にすることが出来るのだ。

「仕事を覚えるなんてのはずっと先のことです。まずは我慢を覚えることが大切。格好悪いことや自分のやりたくない仕事もいっぱいあるんですけど、それを辛抱する。いまの若いモンはこれが出来ない。我慢も辛抱もしたことがないから……でも、これが出来ないヤツは、職人仕事ではけっして一人前にはなれませぬね」

小野二郎の仕事ぶりを見ていて思い浮かぶのは、次の五つのことからである。

- 一、素直であること。
- 一、清潔であること。
- 一、向上心がある。

- 一、負けず嫌い。
- 一、わがまま。

仕事に対してはいつでも素直になれ、なにより清潔であることを心がける。これでよいということが絶対になく、まだ学ぶことがあると謙虚になりながら、誰にも負けたくない仕事に磨きをかけることを怠らない。そうして、わがままであるゆえに独創的な仕事を生み出すのだ。はじめの四つは、社会の組織ではメリットだが、最後のひとつは組織ではデメリットでも、職人仕事にこそ欠かせない資質である。



Diver of life — 探求者 — イチローと「次郎」職人仕事の手本のふたり 山本益博

10 農園歳時記 第4回 百姓遺伝子呼び覚ます触媒 中村顕治

## 03 特集1 “海を舞台に生きる” という選択

- 04 私鉄の車掌から離島の漁師へ「今、毎日が充実しています!」 長崎県五島市 マルセイ水産 鈴木聡太さん
- 05 「こんな生き方があった」沖縄の海で漁師を目指す 沖縄県与那原町 与那原・西原町漁業協同組合 内木亨さん
- 06 漁業就業支援フェアの歩き方
- 07 2007年度漁業就業支援フェア開催
- 08 漁業研修って、どういうもの?
- 09 漁業就業者確保育成センターを活用しよう!

## 11 特集2 東海・甲信地方のIJUライフ

- 12 師匠の背中を追いかけて 長野県宮田村 杉山栄司さん
- 14 「就農率100%」は仲間づくりの思いから 岐阜県白川町 竹川初美さん
- 15 祭りが取り結んだ地域との絆 静岡県浜松市 (有)アトップ 大村一弘さん
- 16 大規模農業法人で活躍中 三重県伊賀市 (農)伊賀の里モクモク手づくりファーム 長谷川広一さん 柳本もえかさん
- 17 OLから森の仕事に大変身 愛知県豊田市 豊田森林組合 池之嘉英子さん
- 18 一度決めた漁師の道 簡単には投げ出せない 静岡県浜松市 幸福丸 高俊浩さん
- 19 木の魅力を追い求め、木地師の里へ 長野県南木曾町 木地師の里ヤマイチ 吉田奈央さん
- 20 荒れる農地を守り次世代へつなぎたい 山梨県北杜市 安藤友彦さん
- 21 東海・甲信地方I・J・Uターン情報

## 25 農林漁業・ふるさと情報

- 26 自由な発想で経営の継続・発展を目指す 新潟県上越市 (有)アフコ 秋山直樹さん 由季さん
- 28 思いを現実にするには行動あるのみ 宮城県美里町 (有)ハニーローズなんごう 手塚光弘さん 佐々木真人さん
- 29 やればやっただけ成果が生まれる 兵庫県加古川市 (農)八幡宮農組合 菊池美香さん
- 30 トップランナーの視野【農業】 埼玉県小川町 霜里農場 金子美登さん
- 32 新・農業人フェア'07の歩き方
- 37 負けん気と人一倍の努力で歩む「海の男」への道 山口県長門市 松岡健史さん 表紙の人
- 44 脱サラでぶどう園経営 夫婦で年間労働3000時間 時給3000円を実現 宮崎県綾町 杉山経昌さん
- 46 暮らし、働かなかから見えてきた夢の形 佐賀県佐賀市 富士大和森林組合 永峯貴志さん 平城隆一さん
- 48 トップランナーの視野【林業】 茨城県石岡市 つくばね森林組合代表理事組合長 木崎真さん
- 50 島に新風を吹き込んだIターン者の挑戦 島根県知夫村 岩牡蠣屋 加藤二士さん
- 52 トップランナーの視野【漁業】 三重県熊野市 (有)恵洋水産代表 桑原清志さん
- 54 上達を実感する喜び 高知県南国市 (有)忠義鍛造 渡辺達哉さん
- 56 塾生とともに里山を保全する 福岡県黒木町 山村塾

- 41 サイエンス◎トマトはなぜ赤い?
- 42 馬産地だより
- 43 データで見る新規就農①
- 45 サイエンス◎自然のなかに魚を増やす
- 58 Voice iju info 読書コーナー
- 60 データで見る新規就農②

- 62 農業就業ガイド
- 64 林業就業ガイド
- 66 漁業就業ガイド
- 68 I・J・Uターンガイド
- 70 iju infoサポーター

### 広告

- 22 長野県新規就農相談センター
- 23 東海・甲信各県農業会議
- 24 わかばフーズ/妙高ガーデン
- 34 就農準備校
- 35 熊本県新規就農相談センター
- 36 やまぐち農林振興公社
- 38 チャイルドフラワー/藤田植物園
- 39 グリーンポートアグリ/新潟県農林公社
- 40 高知県立農業大学校/  
富良野地方サマーフェスティバル実行委員会



# 特集 1

Lives in the Sea

## ”海を舞台に生きる” という選択

太古の昔から営まれていた職業の一つ、漁師。

海の上での仕事は想像以上に厳しく、過酷で、

どんな覚悟も揺らいでしまうときがある。

それがわかっていても、漁師の魅力が薄れることはない。

だからこそ、知識も、経験も、人脈もないけれど、

なんとしても漁師になりたい”という人が後を絶たない。

”海を舞台に生きる”という選択。

この特集では、未経験から漁師になる方法を紹介する。



# Interview

## 私鉄の車掌から離島の漁師へ 「今、毎日が充実しています！」

長崎県五島市（久賀島） 五島ふくえ漁業協同組合所属  
マルセイ水産 鈴木 聡太さん



「漁師になって腕が太くなりましたよ」と笑う鈴木聡太さん

2003年度漁業就業支援フェア参加  
漁師4年目 乗組員系

網上げてって、  
こんなに重いんだ



「今日はブリが入っていないなあ」。定置網をうまく引上げるには、網の構造を頭に描くことも必要

早朝6時、蔵港。出航を告げる汽笛が鳴り響く。まだ暗い沖に向かって走り出すマルセイ水産の久賀丸（19ト）。乗組員8名のなかで舵を任されている漁師4年目の鈴木聡太さん（31歳）が、3mの高波を乗り越える。20分ほどで漁場に着くと、すぐに網上げの準備。漁労長の指示に従い、全員が持ち場についてきびきびと仕事をこなす。仕掛けておいた定置網を少しずつ絞りながら引上げていくと、銀の鱗を光らせたアジやイワシが勢いよく飛び跳ねる。

「網上げてって想像以上に力があるんですよ。ブリの大体だと1本15kgもありますからね。初めて網上げしたときは、あまりの重さに激しい筋肉痛になって眠れなかったほどです」

人生を一変させた  
漁業就業支援フェア

鈴木さんは横浜市出身で元私鉄の車掌。「でも、人ごみがあの苦手だったんです。田舎暮らしに憧れ、情報を集めるうちに、漁師になりたいと思うようになりました」

その希望をかなえたのは、2003年8月に参加した漁業就業支援フェア。「あまり遠くへ出ない漁業」という条件でブリスをまわるうちに、五島ふくえ漁協の定置網を知った。「五島は捕れる」という噂を聞いていたし、定置網への興味もある。「第一希望はここだ！」鈴木さんの熱意が伝わって、五島市久賀島にあるマルセイ水産の研修生となった。

島の土を踏んだのは9月中旬。台風あけだったため、最初の洋上研修では、避難させていた網を再び設置する作業を体験することに。

「波は高いし、いきなりハードな仕事だし、体がボロボロになって死ぬかと思いました（笑）。でも、絶対漁師になると覚悟を決めていたから、投げ出すわけにはなかった」

3カ月の研修で、ひとりの仕事を覚えてもらうなかで、鈴木さんはベテランでも難しいといわれる網縫いを短期間でマスターしている。そのやる気は社長の折り紙付きた。

自然のなかで働くって  
気持ちいい

会社が用意してくれた一軒家で一人暮



口は悪いが人情味のある先輩漁師とのチームワークもバッチリ

らしをしながら、漁師として経験を重ねてきた鈴木さん。初めは方言が分からず周囲と意思疎通ができなかったり、漁師仲間の言葉の荒さに「ついていけない…」と悩んだこともあったが、今では島の生活を楽しんでる。

「暗れた日にはきれいな水平線が見えて、心から気持ちいいなあって感じるんです」と自然のなかで働く満足感を語る。「五島は捕れる」という期待どおりではなかったが、それでもブリが一度に数千本という大漁を経験し、漁師のおもしろさも知った。

「漁師の仕事は、肉体的にも精神的にも慣れるまでが、かなりつらい。でも、それ乗り越えれば、新しい喜びが待っています」というその言葉から、日々の充実ぶりが伝わってきた。



# Interview 「こんな生き方があった」 沖縄の海で漁師を目指す

沖縄県与那原町 与那原・西原町漁業協同組合  
内木 亨さん



ソデイカを水揚げする内木さん（右）。漁場は沖縄本島のはるか東、大東島近海。漁船で片道1日かかる。時化（しけ）ると大東島の港に避難し何日も過ごすこともあるが、寝泊りはすべて船の上だ

2006年度漁業就業支援フェア参加  
漁師1年目 独立系

## 「ザ・漁師」が人生の転機に

沖縄本島南部の与那原・西原町漁協は、昭和60年ごろまで糸満に次ぐ規模の大きさを誇ったが、近年後継者不足に悩んでいた。しかし最近、ソデイカ漁で新規就業する若者が増えている。

内木亨さん（30歳）は昨年9月、研修生としてこの世界に飛び込んだ。秋には船を買って独立する予定。夢に向かって着実に地歩を築いている。

ソデイカ漁の船が10日ぶりに港に帰ってきた。15kgもあるイカが次々と水揚げされる。回転寿司のネタや刺身用として大阪など大消費地に送られるという。

2月に研修を終えた内木さんは、この航海でソデイカ漁の船を降り、しばらく与那原名産のヒジキ漁に専念する。

「秋のソデイカ漁までに船を買うので、乗り子より金になるヒジキ漁でがんばります」と、目を輝かせて語る。

昨年の春まで千葉で自動車整備の仕事をしてきた。30歳の節目を機に、ダイビングで通いつめた大好きな沖縄で暮らそうと決意。10年のキャリアがある整備技能で食える自信もあった。

しかし、沖縄では自動車整備工の給料が安い。船舶整備に切り替えようかと思つた矢先、偶然、大日本水産会のパンフ「ザ・漁師」を目にした。「こういう生き方もあるのか」と、昨年8月の漁業就業支援フェアへ。与那原町のブースで話を聞くうち、未来が開けるような気がした。



与那原・西原町漁協の瀬底さん（中央）。同漁協は今年も漁業就業支援フェアに参加する。内木さん（右）も同行予定で、研修と就業の経験話を仲間を募る（写真左）

ソデイカ漁は15年ほど前から盛んになった。獲物との駆け引きがなく、腕よりもやる気と根気がものをいう。価格がいいので、運がよければ1航海で100万円以上になることもある（写真下）

## マンツーマン指導で技術を習得

同漁協が県外から研修生を受け入れたのは昨年初めて。5月と8月の2回のフェアで7人を選び、いずれもソデイカ漁の船に乗せた。船長一人に乗り子として研修生一人。マンツーマン指導だ。

受入先によって異なるが、ここでは住宅と光熱費は漁協が提供、6カ月の研修期間中は月10万円が保障されることになっている。

「船酔いもせず、苦勞といえは方言が聞き取れないことぐらい」と、内木さん。しかし、一度漁に出れば10日は帰れず、時化でも待機を命じられる。休日はまだ1日もなく、ダイビング機材はしまったまま。それでも「遊びよりもまずは生活



です」と、自分に厳しい一面を見せる。

## ソデイカ漁なら独立できる

「ソデイカ漁はおもしろみがないけれど、漁法が簡単で1年経験すれば独立できるし、価格もいい」と語るのは、漁協職員の瀬底博也さん（27歳）。若い漁師を増やし港に活気を取り戻そうと奔走している。

新規就業のカギを握るのは船だ。瀬底さんは、高齢の漁師が手放す中古船を有志組合員と共同で買い取り、リースの形で安く提供する仕組みを作った。「面倒見のいい沖縄の気質が就業者を温かく受け入れている」とも語る。

内木さんは独立後、研修仲間と一緒に船に乗る。「一人だとまだ不安。二人でやると一人前です」と、笑顔を見せた。



# How To.

## 漁業就業支援フェアの歩き方



2006 年度第1回東京会場

漁師を目指す人を支援する全国漁業就業者確保育成センターが、漁業未経験者を対象に開催している漁業就業支援フェア。研修生募集を目的に、漁師になりたい人と、明日の漁師を求める漁業関係者が一堂に会し、積極的な交流が繰り広げられています。

大海原を舞台に生きる人生に魅力を感じたら、ぜひ参加してみよう！

## START

### 入口で、パンフレットとコミュニケーションカードを受け取ろう！



2006 年度第1回東京会場

パンフレットには会場マップやプログラムのほか、出展している漁協や漁業会社に関する情報が記載されている。漁業種類、研修条件、研修後の就業条件など、研修先・就業先を選ぶときの手がかりになることが書かれているので、念入りにチェックしよう。

### コミュニケーションカードに記入しよう！



2006 年度第2回東京会場

参加者と漁協・漁業会社が面談をする際に重要なツールとなるのがコミュニケーションカード。参加者が、研修希望地や自己PRなどを書き込めるようになっている。希望の研修先に「ぜひ、ウチで研修を受けてほしい」と思われるよう、しっかり自己PRを書き込んでおこう。

2006 年度大阪会場

### 出展団体の紹介を聞こう！



フェアのなかで行われる出展団体の紹介。各漁協や漁業会社の担当者たちが、仕事内容や地域について簡単に紹介しながら、参加者に向け熱烈ラブコール。心が動かされたら、迷わず次のステップへ。

### Check Point

フェアに出展する漁協や漁業会社は、事前に全国漁業就業者確保育成センターのホームページに掲載されている。漁法や魚種もさまざまなので、参加する前に情報収集しておこう。

独立して個人経営の漁師になりたいのか、それとも定置網船や巻き網船などの乗組員になりたいのかは、参加前にしっかり決めておきたい。

全国漁業就業者確保育成センター HP  
<http://www.fishworld.or.jp/fisherman/>

### Check Point

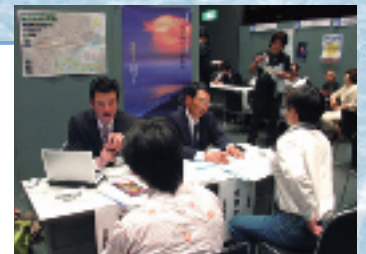
受入側はこの面談で研修生を見極めている。意中の研修先にきちんと自分をアピールできるよう、事前に自己分析をしておくべター。



### 漁業現場での研修

研修生として、受入先の各漁業現場で実地研修

### 相談会で担当者との面談しよう！



2006 年度第1回東京会場

出展団体の紹介の後に開かれる相談会。興味をもった漁協や漁業会社があれば、ブースを訪ねて担当者との面談しよう。

疑問に思ったことや不安なことを直接顔を合わせて確認できるのもこのフェアの魅力。遠慮しないで積極的に質問してみよう。研修を受けたいなら、コミュニケーションカードの提出も忘れずに。

## GOAL 就業



# FAIR 07

漁師の入り口、ココにあります！

# 2007年度 漁業就業支援フェア 開催



## 大阪会場 ▶▶▶▶▶

**6月16日(土) 13:00 ~**

梅田スカイビル スペース 36 会議室 L

〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中 1-1

最寄り駅：JR 大阪駅、梅田駅（阪急、阪神、地下鉄御堂筋線）



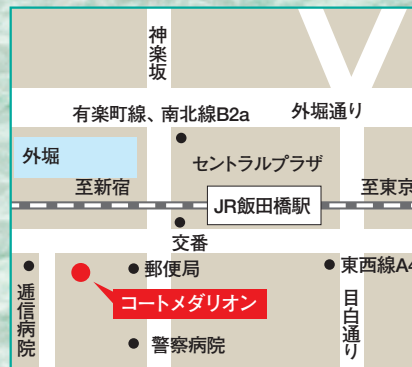
## 東京会場 ▶▶▶▶▶

**6月23日(土) 13:00 ~**

コートメダリオン (COURT MEDALLION)

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-10-28 フジボウ会館ビル 1F

最寄り駅：飯田橋駅（JR 線、東京メトロ東西線・有楽町線・南北線  
都営地下鉄大江戸線）



主催／全国漁業就業者確保育成センター（社団法人 大日本水産会）  
後援／水産庁

- 漁業就業支援フェアについてのお問い合わせ先  
全国漁業就業者確保育成センター  
TEL：03-3585-6319 e-mail：bird21@suisankai.or.jp



近日、リニューアル予定

今年度は東京・大阪会場以外の全国主要都市で開催予定。  
詳しくは、全国漁業就業者確保育成センターホームページ  
に随時掲載します。

全国漁業就業者確保育成センター HP  
<http://www.fishworld.or.jp/fisherman/>





# Q&A

## 漁師になるための一番の近道

### 漁業研修って、どういうもの？

いざ「漁師になろう!」と思っても、自力で就業先を探すのはかなり大変なものです。未経験で、いきなり就業することへの不安もあるでしょう。

そんなときに、ぜひ活用してほしいのが、漁業就業者確保育成センターが主体となって実施している漁業研修。毎年、この研修を受けて多くの新人漁師が誕生しています。2006年度の研修生111名も、全国各地で漁師デビューを果たしていますよ。



将来独立することを目指す洋上研修

#### 漁業研修とは？

地方自治体や各漁業会社などが独自に実施している漁業研修もあるが、ここで紹介するのは漁業就業者確保育成センターが実施している漁業研修。漁業就業支援フェアを通じて募集される。

昨年度までのフェアは東京と大阪の2会場で年2〜3回開催されていたが、今年度から開催地や開催回数を大幅に増やすことが決まっている。開催前には案内が出されるので、ホームページでこまめにチェックしよう。

#### 研修先はどうやって決まる？

研修を希望する場合は、漁業就業支援フェアで意思表示をしよう。研修を受けたい漁協や漁業会社があれば、そこで面談を受け、連絡先や自己PRなどを書いた「コミュニケーションカード」を提出する。研修生として採用されれば、後日、連絡が入る。

各研修先で受け入れられる研修生の数には限りがあるので、第一希望だけでなく、第二、第三の希望も出しておいたほうがいい。



楽しい研修のなかで、こんな楽しみも

うがいいだろう。

受入側に本気度を伝えるには、フェアに参加する前に、どんな漁師を目指しているのか、自分のイメージをきちんと固めておくことが大切。少なくとも、独立したいのか、乗組員になりたいのかは決めてから臨みたい。

#### 研修の内容は？

漁業は遠洋、沖合、沿岸という分類だけでなく、漁法や魚種、地域によっていろいろなスタイルがある。だから、研修内容は受入先によってそれぞれ違ってくる。

共通しているのは、本格的な実践研修に入る前に1週間程度でのオリエンテーションが行われるということ。ここで地域の特性やしきたり、漁協の仕組みや漁業権などについて講習を受けるほか、仕事をする上で一番大事な安全指導が行われる。

その後、受入先の漁師が講師となりロープの結びかた、網の手入れ法など陸上研修、網の入れたかたや引き上げかたなど洋上研修が最大6カ月間実施される。

#### 研修中の住まいや収入は？

研修地の住まいを自分で探すのは、思いのほか手間がかかるものだ。多くの場合、受入先が住まいの相談に乗ってくれる。なかには、寮が用意されていたり、家賃を負担してくれる受入先もあるの



巻き網漁船の乗組員を目指す洋上研修

で、事前にしつかり確認しよう。

また、研修中の収入として、研修3時間以外で作業をした場合、アルバイト料が支払われることもある。

#### 研修後は就業できる？

受入側が研修を行うのは、後継者を求めること。研修後は就業を期待している。研修期間はいわば試用期間。研修生にとっても就業先が決まるチャンスだ。

ただし、就業となるとその後の生活に大きくかわるので、勤務時間や給料、待遇などをきちんと確認しておきたい。

研修でしつかり自信をつけたら、漁師としての新たな人生の始まりだ!



# Q&A

## 経験ゼロから漁師を目指す人を強力バックアップ 漁業就業者確保育成センターを 活用しよう！

「大好きな海で働きたい」「海を舞台に自分の腕一本で生きていきたい」と漁師の道を志しても、何の知識も人脈もなければ、どうやってなったらいいのか、その入り口すら分からないもの。そんな人のナビゲーター役を果たしてくれるのが、漁業就業者確保育成センターです。

全国漁業就業者確保育成センター  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13  
三会堂ビル 8F (社) 大日本水産会  
TEL: 03-3585-6319  
FAX: 03-3582-2337  
e-mail: bird21@suisankai.or.jp  
URL: http://www.fishworld.or.jp/fisherman/  
担当: 中村、南家

### 漁業就業者確保育成センターとは？

漁師になりたい人を支援するために設けられている漁業就業者確保育成センター。明日の漁業を支える新たな担い手を育成しようと、国の補助を受けてさまざまなことを行っている。すでに紹介した漁業就業支援フェアの開催、漁業研修の実施だけでなく、漁法の解説や求人情報の提供、電話、面談での漁業就業相談なども受け付けている。

漁業就業者確保育成センターは、すべてを取りまとめる全国漁業就業者確保育成センターのほか、都道府県版のセンターもある。もし、目指す地域が決まっているなら、都道府県漁業就業者確保育成センターに直接問い合わせてもいいだろう。ただし、すべての都道府県にあるわけではないので、事前の確認が必要だ(都道府県漁業就業者確保育成センターについては67頁参照)。

### 漁師になるまでのトータルサポートとは？

漁業就業者確保育成センターでは、経験ゼロから漁師になるまでをトータルにサポートしている。

下のフローチャートにあるようにステップ1の「就業関連情報の提供」に始まって、ステップ2「漁業チャレンジ準備講習」→ステップ3「漁



全国漁業就業者確保育成センターで配布している「ザ・漁師」。これから漁師を目指す人にとって大いに参考になる情報がたくさん盛り。ぜひ手に入れておこう！ 入手方法の問い合わせは全国漁業就業者確保育成センターへ(上記掲載)

### 漁業チャレンジ準備講習って、何？

漁業チャレンジ準備講習は、漁業就業を目指す人が、働きながらでも漁業について学ぶことができる自由参加の講習会。夜間や土日を利用して漁業権や漁業経営、その他漁業就業に必要な知識について、専門の講師による講座が開かれる。座学だけでなく、漁村での漁師体験も実施する。

このような講習を受けることで、漁師の仕事についてより詳しく知ることができる。漁業就業支援フェアや漁業研修に参加する前に、参加してみてもいいだろう。開催地や開催時期については全国漁業就業者確保育成センターのホームページに掲載され、参加者の募集も行われる。興味をもったら、ぜひチェックしておこう！

## 経験ゼロから始めても漁師になるまでトータルにサポート

### ステップ 1

#### 就職関連情報の提供

- ・就業情報の提供
- ・就業相談

### ステップ 2

#### NEW 漁業チャレンジ準備講習(自由参加)

サラリーマンや学生が夜間や土日に参加できる、漁業就業のための講習や体験を実施

### ステップ 3

#### 漁業就業支援フェア

漁業就業支援フェアで就業希望者と漁協や漁業会社の面談(マッチング)を実施

### ステップ 4

#### 漁業現場での研修

漁業現場での実践的な研修を実施(最大6カ月)

就業

# 百姓遺伝子を 呼び覚ます触媒

中村 顕治



**暖** 冬としきりに騒がれる。どこも桜の  
開花が早い。暖かい冬はすっかり定  
着した感じ。満開の桜。母に手を引かれ  
る小学校の入学式。あの情景はもう消え  
てしまうのか。

少し寂しいか。しかし年取ると暖冬と  
いわれるくらいがちよいどいい。出荷の  
ために野菜を水洗いする。寒さ、冷たさ  
は濡れた手だけにとどまらず、全身が凍  
える。だから春を恋する気持ちは年ごと  
に強まる。4月の声を聞くだけでうれし  
い。ウグイスの声、ヒバリの声、コジュ  
ケイの声を聞けば心が浮き立つ。そして  
キウイの花、アケビの花、さらにその甘  
い香りが加わると春の役者はそろそろ。手  
にした鍬を仮想パートナーとし、僕はワ  
ルツを踊ったりする。



**僕** を百姓にしたのはヒバリの鳴き声だ  
ったかもしれない。35年前、農村風  
景を色濃く残す手賀沼畔の団地に住んで  
いた。日曜日ごと、沼を巡る長い道をラ  
ンニングした。頭上でしきりとヒバリが  
鳴いた。日本人の90%がかつては農民だ  
った。ゆえに多くの人の体には百姓遺伝  
子が潜んでいるといわれる。ただ、それ  
を顕在化させるには具体的な「触媒」が  
必要かと思う。職場での行き詰まり、健  
康の問題、食へのこだわり、明るく広い  
風景による脳へのUV照射。これら触媒  
の数が多いほど百姓遺伝子の顕在化は劇  
的。僕の場合、最初に得た触媒は日曜の  
午後聞いたあのヒバリの鳴き声だった  
気がするが、あなたの場合はどうか。

**風** が吹いて桶屋は儲かり、ヒバリが頭  
上で鳴いて僕は百姓になった。昭和  
59年4月、山羊、鶏、犬、猫とともにト  
ラックに乗り、この八街に移った。その春、  
子どもばかりでなく僕までも喜ばせたの  
は畑に鈴なりのイチゴだった。毎朝カゴ  
を手にして収穫した。しかしずいぶん小  
粒で酸っぱかった。後でわかったことだ  
が、あれは段々畑の土が流れないように  
する道具だった。前任者の目的は販売で  
はなかったのだ。

**イ** チゴが実る風景に最初に出合ったの  
は小学生のころ。同級生が町営住宅  
に住んでいた。どこも持ち家という昔の  
田舎で賃貸住宅は珍しかった。家は小さ  
いが明るくモダン。庭にイチゴがあった。  
母が植えたと同級生はいった。町営住宅  
にイチゴ。そのときは感じなかったが、  
これも僕を百姓に導いた一つの触媒だっ  
たかもしれない。



いまやイチゴの品種は覚えきれないほ  
ど数多い。甘さ、大きさ、花の色。すべ  
てにおいて昔とは比較にならない大改良  
がなされている。ピンクの花が咲く品種  
を僕が初めて入手したのは3年前だ。

**春** はあけぼの。平安の賢女に教え  
られるとおり、春の夜明けはいい  
ものである。冬はもちろんうに及ばず、  
夏、秋とても、この空気の柔らかさ、シ  
ットリ感はない。さらに百姓には、夏野  
菜の成長を眺める朝飯前の楽しみが加わ  
る。春は一年のあけぼの。

このビニールトンネルには促成栽培の

カボチャがある、トウモロコシもある。  
まだ冷たい風だ。しかし実りの季節に向  
かうこの春の朝の風は希望に満ちている。  
氷さえ張るころ、マルチとトンネルで種  
を落としたカボチャのツルは黒いマルチ  
の上に小さく横たわっている。  
東の林間が赤く染まる。早起き鳥の声  
がこだまする。百姓はその光と風の中  
でじっとビニールトンネルを見る。ヒバリ  
の声を触媒とし、隠れていた百姓遺伝子  
の顕在化という偶然の出来事を4月の朝  
に喜ぶ。

【なかむら・けんじ】昭和  
22年山口県生まれ。33  
歳で築50年の農家跡に  
移住。現在は千葉県八  
街市在住。典型的な多  
種少量栽培を实践。チャ  
ボを庭に放任飼育する。



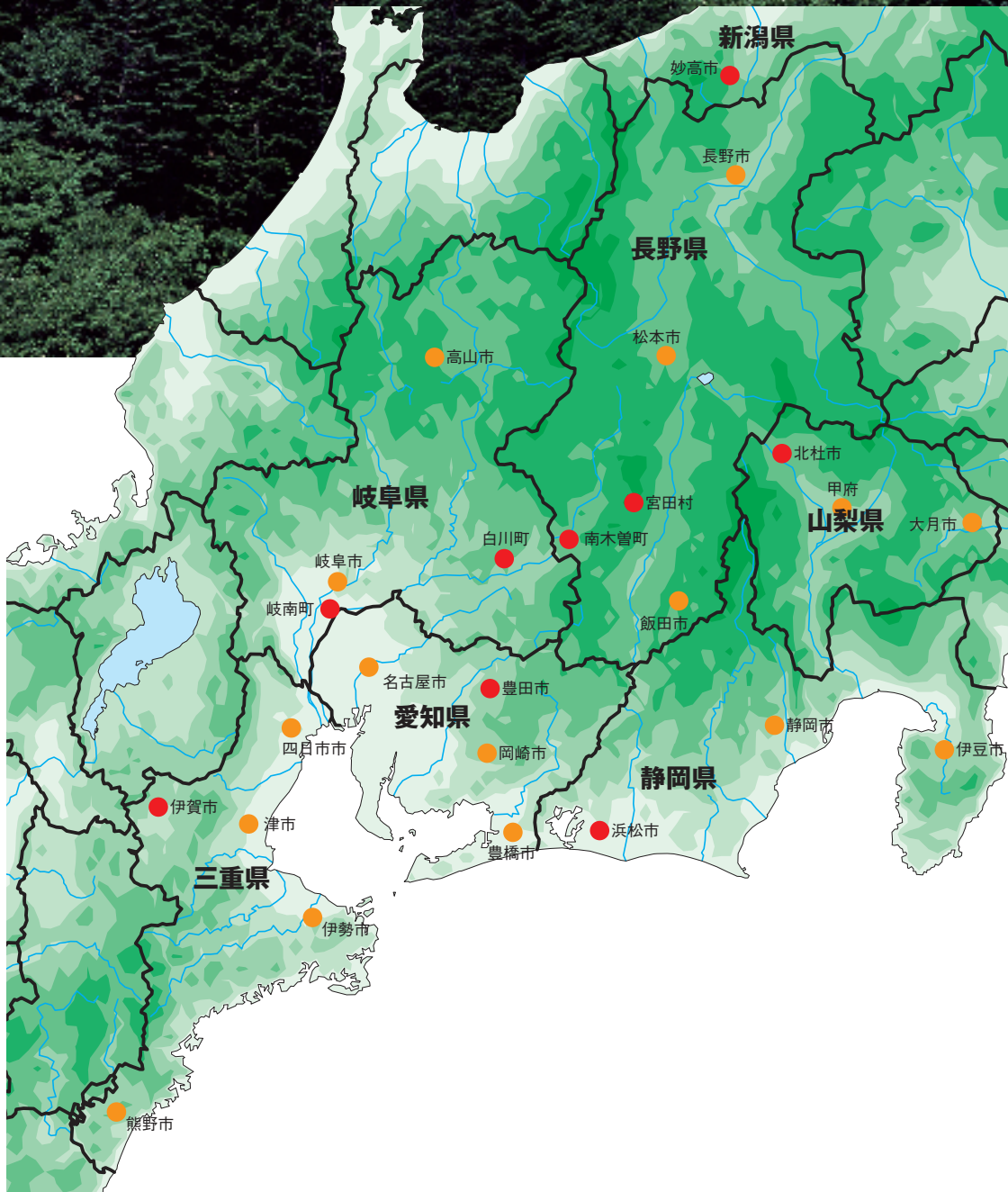


## 特集2

# 東海・甲信地方のIJUライフ

東海（岐阜・静岡・愛知・三重）、甲信（山梨・長野）地方は、Iターン希望者の移住地として人気のエリアだ。

人気の理由の一つは、地理的な条件。Iターン希望者の多い関東や関西に暮らす人にとって身近な地域といえる。そして、もう一つは、豊かな自然。アルプスに代表される美しい山々、沿岸部には美しい海が広がる。農林漁業、地場産業を仕事として移住した人、定年帰農した人などの事例をもとに、東海・甲信地方のI・J・Uターン事情を紹介する。







長野県宮田村  
杉山 栄司さん

長野県には、「新規就農里親制度」という、新規就農のサポート事業がある。この事業を通じて長野県に就農した杉山栄司さんは、新天地で二つのすばらしい出会いに恵まれた。「師匠」と慕う里親の小林吉彦さん、人生のパートナーである妻・久美さんだ。本格就農して2年目の春が、いま始まろうとしている。

# 師匠の背中を追いかけて



剪定は翌年の収穫を左右する冬場の大切な作業だ

## 長野でリンゴをつくらう！

杉山栄司さん(32歳)は、長野県の「新規就農里親制度」を利用して農業を学び、2006年4月、宮田村で独立就農した。杉山さんは岐阜生まれの大阪育ち。大

学では農業経済を専攻し、卒業するときも農業は職業の選択肢に入っていた。しかし具体的なイメージまでは結びつかず、大阪の飲食店に就職。3年間の勤務の後、就農を決意し、02年に退職した。新たな出発にあたって考えたのは、「自分の好きなものをつくりたい」ということ。リンゴが好物だったので、長野を移住地と定め、情報収集に動いた。

杉山さんが利用した新規就農里親制度は、長野県が03年に立ち上げた事業で、新規参入者を受け入れ、独立就農を積極的に支援したいと考えている熟練農業者を「里親」として登録し、独立就農を希望する新規参入希望者に紹介する制度だ。農業大学校での講義や実習、農家研修などで、目指す農業像を明確にする「里親研修前基礎研修」(1年間)を受けた後、里親のもとで実地に農業を学ぶ。

## 里親・小林さんは「師匠」

里親として杉山さんを受け入れてくれたのは、佐久市で農業を営む小林吉彦さん(70歳)。実は、里親制度を知る前に、知人を通じて小林さんを紹介されていた。だから、農家と就農希望者のマッチングを担当する県の就農コーディネーターも当初から、杉山さんの里親は小林さんと想定していた。しかしそうした思惑とは別に、杉山さんは里親前基礎研修でさまざまな農家をまわるなかで改めて「小林さんからリンゴづくりを学びたい」という思いが固まっていったのだという。「小林さんのつくるリンゴが自分のイメージにぴったりだった」と語り、「いろんな農





里親として杉山さんが研修を受けた小林さん

これから妻の久美さんとともに夢を実現させていく

家を見ることが出来る里親前基礎研修は、自分になりたい農家像を描くのにとてもいい制度だと思う」と答えてくれた。

そして研修中、杉山さんは小林さんを「師匠」と呼ぶようになった。

「最初のころは『小林さん』と呼んでいたのですが、研修するほどに尊敬の念が高まり、これは気軽に呼べないな」と

杉山さんのリンゴづくりは、「師匠から教えてもらったことがすべて」ときっぱり。今でも小林さんを「師匠」と呼ぶ。

小林さんから見た杉山さんの印象はというと、「彼は決して多弁ではないが、がんばりやで、夏の暑いときも、もくもくと働く青年だった」とか。研修中は、生活費は各自がまかなう。蓄えが多いほうではなかった杉山さんは、日中はリンゴ園で研修し、夕方からアルバイトで生活費を稼いでいた。「よくやってるなあ」と小林さんは感心していたという。

### 佐久から宮田村へ 就農地探しは軟着陸

研修中には、研修と平行して将来就農する土地や家探しも行う。果樹の場合、苗から育て、収穫できるようにするまでには何年もかかるため、その間の生活をどうするかも大きな問題だ。就農した年から収穫できる成木がある園を借りられるのが理想だが、そう簡単ではないのが現状だ。里親たちは県内中の農家仲間へ声をかけ、できるだけ条件のよい園に定着できるよう応援しているが、本人の希望するような場所にスムーズに定着するのは稀だという。「杉山君の場合は、ラ

ツキーなケースじゃないかな」と小林さん。就農コーディネーターが、宮田村でリンゴ園を引き継ぐ人材を探しているという情報を持ってきてくれたのだ。

「できれば佐久でと思っていたんですが、師匠を見て、『農業は場所ではなく技術』という確信を得ていた」杉山さんは、もう一人の師とおおぐ小林さんの長男・基博さんに現地を見てもらった上で、この話を受けることに。何より決め手となったのは、世話をしてくれたJA職員や家を貸してくれることになった大家さんの人柄。「こういう人たちがいる土地なら、初めてでもやっていけるかも」と思った。

### これからは二人で夢に向かって

JA上伊那では、管内での就農を前提にその間の生活費を補助する研修制度がある。05年、佐久から宮田へ移った杉山さんは、将来借りる予定の畑で実地研修をしながら就農に向けた準備を進めることに。そしてこの間にもう一つ、運命的な出会いがあった。地元紙が取材した「夢に向かって」という記事を見て、その姿に感銘を受けた一人の女性から、手紙が届いたのだ。後に伴侶となる久美さん(30歳)である。メールのやりとりから始め、実際に会ってすっかり意気投合した2人は、ほどなく結婚を決め、入籍。杉山さんが正式に独立した06年4月から、ともにリンゴづくりに取り組んでいる。

### 人生の転機にかかわる醍醐味

昨年、できたリンゴを持って訪ねてき



リンゴ団地の一角、約190アールが杉山さんのリンゴ園。JAや直売所に出荷するほか、宅配便による直接販売も行っている

た杉山さんを見て、小林さんは驚いた。「表情がいきいきとして、人が変わったかのように目を輝かせていた。農業によって彼の人生は大きく変わった。それにかかわれたことは里親の醍醐味です」

その後小林さんは新規就農の里親として、年代も出身地も前職もさまざまな人たちを受け入れている。「技術はやっていけば覚える。大事なものは、自然や生活の厳しさをどう受け止めるか、精神的な部分だ」と語る。

「とにかく、自分が大事にしたいものはなにかを明確にし、強い意思をもってほしい。そして、偏見をもちずに行政やJAを含め、周りのいろんな人の力を借りること。長く続けていくには、一人では限界があります」と杉山さん。技術のみならず、小林さんの思いはその弟子にしっかりと伝わっているようだ。

いま杉山さんが力を入れているのが土づくり。研修や講習会に積極的に参加し、冬季にもかかわらず忙しい日々を送っている。「そのせいで剪定作業が遅れていて」とまぶしそつにリンゴの木を見上げた。





# 「就農率 100%」は仲間づくりの思いから

岐阜県白川町 岐阜県指導農業士  
竹川 初美さん



標高700mの竹川さんの農場。竹川さん(中央)、吉澤さん(左)、馬場さん(右)

## <岐阜県主催「あすなろ農業塾」の概要>

参加資格：岐阜県内で農業経営の新規参入を目指す意欲がある人

定員：8名

研修期間と場所：1年間。受け入れ農家の農場など

研修内容：農業技術、経営管理方法の習得/地域活動への参加/農地や住宅の取得に関する情報収集/経営計画づくり

参加費用：無料(ただし教科書など実費負担あり)

問い合わせ先：(社)岐阜県農畜産公社 岐阜県青年農業者等育成センター

TEL:058 (276) 4601

\*ほかに、夜間講座や定年帰農者向け講座など、短期の研修コースがある。問い合わせは同センターへ

### 研修生は地域の仲間

竹川さんが研修生受け入れを考えたいきっかけは、グリーンツーリズムへの興味

岐阜県白川町は、アユが群れる清流に恵まれ、林業が盛んなほか、上質の茶の産地。高齢化率は県平均を上回る。この町の黒川地区でトマト、ホウレンソウ、茶などを栽培する竹川初美さん(56歳)は、就農を視野に入れた独自の研修を7年前から行ってきた。育てた新規就農者はすでに7人。地域に活力を吹き込む強力な原動力となっている。

だった。ちょうど各地で農業体験や農家民宿への関心が高まっていた時期で、竹川さんも東京などで開かれる講座や勉強会に積極的に参加した。

「地域を元気にするのが目的でした。ただここは冬の積雪がなくグリーンツーリズムには半端で、兼業農家が多い土地柄。農家民宿での地域起こしはむずかしいけど、研修なら農業の仲間を増やすことで活気がつくと思いい立ちました」

7年前、整備された研修制度は県内になかった。そこで竹川さんは次のような研修システムを作った。①トマトを主とする施設園芸。期間は2月から11月。②竹川さん宅(別棟)に住み込む。③宿泊も研修費も無料、そのかわり賃金も出さない。そうして、県から斡旋される研修生を年に1組ずつ受け入れてきた。

「研修生は仲間。そう心がけて家族同様に接してきました」という竹川さん。一緒に家業を支えてきた夫の達明さん(63歳)が、そと背中を押してくれた。

### 育った新規就農者は、兄弟同様

今年巣立ったばかりの吉澤嘉昭さん(41歳)と馬場慎也さん(35歳)を含め、竹川さんの長期研修修了者はすべて、黒川地区でトマト生産農家として新規就農した。今や地区の生産部会の過半数を占める勢力になり、部会長を務めるほどだ。

「まるで兄弟みたい」と、竹川さんが目を細める7人は、愛知、東京、大阪などと出身地が多様だ。年齢も定年後から30代までとまちまちで、家族構成もそれぞれ。3人の子連れで来て、研修中に4人

目を授かった一家もいた。

地域の人に仲間として受け入れられるよう、生産部会の定例会や勉強会、地域の行事には積極的に参加させる。土地と家探し、融資の相談も研修と同時進行。それが「新規就農率100%」の秘訣だ。

最近、町や県などの行政や農協が竹川さんのがんばりを支援し始めた。2005年には町の補助事業で研修用住宅4棟が建てられ、翌年度からは県の「あすなろ農業塾」の受け入れ農家に竹川さんは登録された。

### 仲間がいるから希望もてる

2月に研修を終えた2人は今、自分のパイプハウスを建設中だ。

吉澤さんは東京で会社勤めをしていたが、「自営で人のためになる仕事をしたい」と退職。ネパールの高地で米を作る日本人を訪ね、農業を志そうと決めた。

馬場さんは岐阜県南部の可児市の出身。トラック運転手をしてきたが、腕次第で成果が決まる農業にひかれ、県の農業大学で4カ月研修。その後トマトに絞って長期研修先を探して竹川さんに出会った。

「兄弟のような先輩がいるから、門出に不安はない。1年間は自分でトマトづくりのひとおりを精一杯やりたい」と、口をそろえて期待と抱負を語る。

竹川さんが育てた新規就農仲間たちは今、新しい農法を取り入れた付加価値のあるトマトづくりへと、チャレンジを始めている。「地域の若返りと活性化にますます弾みが付く」と竹川さんはうれしそうに語っていた。





# 祭りが取り結んだ 地域との絆

静岡県浜松市 有限会社アトップ  
大村 一弘さん

農業法人に可能性を見いだす

「30歳を前にして、このままでいいのかって思っちゃったんですよ」

大村一弘さん（38歳）が神奈川県川崎市のコンピューター関連会社から農業生産法人（有）アトップに転職して丸8年になる。

農業法人に就職したきっかけは、池袋で開かれたUターンフェア。日本農業法人協会のブースを見て、「農業にも法人があるのか」と思った。農業のことは全く知らなかったが、「自分で一からやるのは無理でも、法人でならできるかも」と考えた。

さっそくある法人で研修したが、そこは法人とはいえ家族経営的な組織で、「がんばってもずっと従業員のままで」と不安を持った。半年後、足を運んだ新・農業人フェアでアトップに出会う。役員四人に血縁関係はなく、家族にこだわら



地域に導いてくれた「浜松まつり」で愛娘を肩車する大村さん（中央）と妻の聖子さん（左）、徳井代表（左奥）



ネギにさわりながら水分や養分の状態をチェックする大村さん。「植物の声を聞いてよくいわれますが、まだまだです」とはにかむ



100棟余りのハウスと露地（委託含め3ヘクタール）で栽培した葉ネギは、スーパーや加工会社等へ納品される。栽培している葉ネギの種類は14アイテムにのぼる

ない方針に共感した。また、募集広告の「やらまいか」という言葉にも引かれた。『やらまいか』は遠州地方の方言で、「とにかく一生懸命やってみようよ」という意味。大村さんは、「そういつてくれるなら、やってみようかな」と笑う。「食べものをつくる仕事なら、一生できるかもしれない」とも思った。

## 地域からの信頼が生命線

アトップのもう一つの特徴は、「借地農業」であること。メイン作物である葉ネギ各種を栽培するハウス100棟あまりと露地のすべてが、近隣農家からの借地なのだ。「農家は農地を貸すには抵抗がある。気持ちよく安心して貸し続けてもらうには、地域から信頼される会社でなくてはならないし、従業員も周囲と積極的にコミュニケーションをとり、地域に出ていくことが求められる」と代表取締役の徳井厚夫さん（55歳）は語る。

大村さん自身も、初めての土地で、地元いかにとけ込むかに最も苦心したという。そんななか、入社したその年から、徳井さんが「浜松まつり」に連れ出して

くれた。「祭りではいろんな人と知り合い、『アトップの大村』を知ってもらうことができた。徳井代表には本当に感謝している」と話す。実は、妻の聖子さん（39歳）とも「浜松まつり」で知り合った。現在は2児のパパ。今年、会社からほど近い場所に家も持った。「いよいよ本当に地域の人間になったということ。これはすごい。地域からの信頼もより厚くなる」と徳井さんも目を細める。

「浜松まつり」には、長男の誕生を祝う「初凧」を揚げる習わしがある。「うちが女の子ですが、昨年、凧を揚げさせてもらいまして」と大村さんはうれしそうだ。

## 「やらまいか精神」でチャレンジ

3年前から大村さんは、葉ネギのハウス栽培管理を全面的に任されている。「重い責任を感じますが、でもやりたいことはやってみるといってもらっている。いろんなことに挑戦できるのは楽しい」と大村さん。正社員八人は生産部門と営業部門に分かれていて、出荷調整ラインには、たかさんのパートスタッフが働いている。大村さんが作る作物の出来によっては、営業部門や出荷調整担当から、きついクレームを受けることも。大村さんは「夜寝ていても、ネギが夢に出てきますよ」と苦笑いする。

これから就農を考えている人には、「農業は土地があつてこそ。地元いかに入り込んでいくかが重要です。『やらまいか』精神でチャレンジしてみてください」とアドバイスを。



毎週木曜日、レストランで季節の野菜ミニ講座を開く長谷川さん。生産者と消費者を結ぶさわやかな語り口が好評だ



今年から世話をするブルーベリー園。今年は春が早いので芽吹きが早く、木に作業をせかされる思いだという柳本さん



# 大規模農業法人で活躍中

三重県伊賀市 農事組合法人 伊賀の里モクモク手づくりファーム  
長谷川 広一さん 柳本 もえかさん

養豚農家が集まり、銘柄豚を原料にしたハム工房からスタートして20年。農事組合法人「伊賀の里モクモク手づくりファーム」は、食品加工と販売に加え、レストラン、手づくり体験、温泉と宿泊施設の運営など、農をベースに幅広く事業を展開している。昨年の売り上げは37億円。正職員は120人で、その1割が農業生産に従事している。求人にも200人もの応募がある人気法人で働くイタターの若者二人に、話を聞いた。

## 困難は多いが、やりがいもある

70歳代のパート3人に指示を出しながら、長谷川広一さん(27歳)は5畝の野菜畑を耕す。ここで働き始めて丸3年になる。京都府出身で実家は非農家。海外協力と貧困の問題に関心があり、大学卒業後はフィリピンの貧しい人々を支援するNGOで働いていた。

「農業に目覚めたのは、農が生活や経済のベースだと気づいたから。農業で生きていける仕組みを貧しい国でつくりたい」と話す。その支援のために大事なのは、「いかに売って経済基盤を築くか」だと考え、経営面で成功を収めている同園を修行の場を選んだという。

ところが、長谷川さんの就職と同時に野菜農場の担当者が退職し、先輩がいな。おまけに農場の位置づけが、珍しい野菜づくりからレストラン向けの安定供給へと転向したため、行政や農協の技術指導が受けにくかった。失敗続き、孤軍奮闘の3年間。まともに収穫できるようになったのはつい最近だ。「苦勞が多いけど、逆にそれがやりがいになっています」と笑う。

## ストレスを感じない毎日

一方、柳本もえかさん(29歳)は、名古屋にある大学の農学部大学院を出ている。浜松の祖父母が農家で、子どものころ夏休みを田舎で過ごした原体験から大学の進路を決めた。しかし案に相違して、大学では実験室にこもる日々。研究の疲れとストレスを癒すために同園を訪れてのんびり過ごしたのが、就職を考えるきっかけになった。

1年目は、予約イン

フォームションの担当だったが、志願して農場に移って4年が経つ。高齢の地域農家からの委託でブドウとカキをつくるほか、今年から新たにブルーベリー農園8反を任せられ、摘み取り体験の運営まで担当することになった。

委託農家から栽培のアドバイスを受けつつ一人で果樹園を切り盛りしているが、「農作業が好きなので、畑での仕事はストレスがまったくないですね。やりたいことを毎日やるので、ここに就職して本当によかった」と穏やかな笑顔で語る。

## 法人で研修を受けるメリット

これから農業を始める人へのアドバイスとして、二人とも法人での研修を挙げる。「農業で自立するなら、売る方法も最初にしっかり考えておかないと。法人で研修すれば販路のつくり方も勉強できる」と、長谷川さん。柳本さんは「研修を受けながら地域の農家さんや普及員の方と仲良くなるというですね」と話す。

そんな二人を見守る代表社長理事、木村修さんは、希望する社員像をこう語る。

「農業に夢とロマンと熱い思いを抱いている人。生産から加工や販売まで見渡せるバランス感覚のある人。コミュニケーション能力も必要ですね。年齢や性別、国籍は問わず、思いをもって農業を続けられる人を求めています」

どここの農村でも若者を求めているわけではないと、二人は感じている。「行政の仕組みや農協との関係を見極めたうえで、地域選びを」と勧めていた。





# OLから 森の仕事に大変身

愛知県豊田市 豊田森林組合  
池之嶌 英子さん

人生は一度きりだから

池之嶌英子さん(28歳)は、豊田森林組合で研修生として働く森林作業員だ。最初に参事の安藤賢治さんから紹介されたときは驚いた。女性だったからだ。森の現場に女性は少ない。「めずらしいですね」と、正直に聞いてみると「そう…かもしれないですねえ。でもあまりこだわってないんです」と、屈託のない笑顔で答えが返ってきた。

豊田市の中心街から車で1時間。同組合の本所は、宿場町の面影を残す古い町並みや、山里の美しい風景で有名な「足助」の山懐に抱かれた地にある。

池之嶌さんが夫婦でこの地にやってきたのは、2年前、2005年の秋。理由はあった。「名古屋でOLをやっていたけれど会社組織が合わなくなった」こと、「先に両親がこの地に移住していた」こと、そしてもう一つ。聞いた途端「えー?」と、いつてしまった理由があった。

「実は、父も同じ仕事なんです。あと、お姉ちゃんも」

その昔、足助に家族旅行で訪れた池之嶌さんのお父さんは、この地が気に入って週末農業などをやるようになった。転勤族だったので住まいは愛知県内を転々とした。そして数年前、早期退職をしてこの地に移住。森林作業員として組合の仕事をお願いするように。その後、お姉さんが、次に池之嶌さんが、ともに夫婦で足助に居を構え、父と同じ森の仕事を生業に選んだというのだ。

池之嶌さんは、この春で1年間の研修

が終了する。それを機に独立し、父と組んで個人として組合等から仕事を請け負う予定となっている。

「不安はあります。ケガしたら働けないし、その分の保障はないです。でも人生1回きりだから、好きに生きていきたいなあ…なんて」

そんな話をしていると、池之嶌さんの携帯が鳴った。どうやらだんなさんらしい。「ケーキ? 買ってきてくれるの?」などと聞くとはなしに聞こえてきたほえましい会話。その向こうには温かく心豊かな暮らしがあるに違いない。

## 市と共同で人材育成に注力

豊田森林組合では、池之嶌さんのように、国から組合等に助成がある「緑の雇用」の制度を利用し、多くの研修生を育てている。

一方、市からの要請により、趣味講座から一步踏み込んだ生涯学習として「とよた森林学校」を運営しているのも大きな特徴だ。

同学校の企画、立案、予算化は市が行う。講座は現在16講座。対象としているのは、①広く一般的に森林に興味がある人、②森林ボランティアに興味がある人、③林業のことを学びたい森林所有者、④セミプロとして林業に携わりたい人。

サラリーマン人口が多い大都市圏から近いこともあり、人気は上々だ。なかでも全14日の「セミプロ林業作業育成講座」や全3日の「天作川源流の森観察会」には募集人数の倍以上の応募があった。

まだ始まったばかりの取り組みだが、将来、この講座から多くのセミプロや森林マイスター、森の応援団が育っていくことだろう。



倒木処理の現場で一瞬だけ笑みを見せた池之嶌さん。斜面は片足で立たなければならぬほど急峻だ

「とよた森林学校」の講座風景







# 一度決めた漁師の道 簡単には投げ出せない

静岡県浜松市 浜名漁業協同組合所属 幸福丸  
高 俊浩さん



「現実の漁師の世界は厳しいですが、やりがいがありますよ」という高さん

文学部へ進むか、漁師になるか

「器の大きな人間になりたい」

大阪市出身の高俊浩さん(21歳)が漁師を目指した理由だ。

高校3年の半ばを過ぎて迷っていた進路。先生に太鼓判を押された文学部への進学か、テレビで見て以来ずっと心に引っかかっていた漁師への道か。人の輪の中で積極的に自分を表現するのが苦手だった高さんにとって、「海の上では厳しいが、陸に上がれば豪快に笑う」そんな漁師の姿は憧れだった。

分かれ道を決めたのは、クラス全員が各々、進路を発表したとき。とりあえず「漁師」と答えたことが発端だった。「漁師」という選択に、さほど親しくなかったクラスメイトから寄せられた驚きの声と応援の言葉。両親に相談すると「一番やり

たいことに挑戦しなさい」と背中を押してくれた。気持ちは固まった。

自信になったシラス漁の体験乗船

従兄弟が見つけてくれた静岡県立漁業高等学園は、2次募集で滑り込んだ。航海科コースを選択し、遠洋漁業で必要となる技術や知識を学びながら、海技士や2級海上特殊無線技士、溶接修了証などの資格を取得。乗船実習では県練習指導船でマリアナ海域まで出航し、約1カ月間、航行やカツオ釣りの訓練を受けた。

卒業後は大型漁船で遠洋マグロ漁を目指していた高さんがシラス漁を選んだのは、マグロ船の求人がなかったからだけではない。実習で体験したシラス漁があまりにも楽しかったのだ。

「受入先の船頭さんの計らいで、網上げをやらせてもらったんですよ。波が高い日でみんなメチャクチャ酔いしてたけど、すごくおもしろかった」

ベテラン漁師から「お前いい動きしてるな。いい漁師になれるぞ」と褒められたこともうれしかった。学園へ求人募集が来ていた幸福丸への就職が決まった。

「中途半端で帰ってくるなよ」

幸福丸は遠州灘を漁場に、シラス漁や小型底引き網でマダイなどを捕っている。乗組員は8名。ベテラン漁師に囲まれ、高さんは自分にできることから仕事を覚えていった。学園で学んだとはいえ、口の太さが違えば、巻き方も異なる。初めは「都会の子に務まるのか?」と

## さまざまな漁業技能の修得を目指す 静岡県立漁業高等学園

遠洋漁業の基地・静岡県焼津市にある同学園。静岡県が、次代の漁業を背負って立つ漁船幹部職員を養成することを目的に設立した職業訓練の学校である。

全寮制1年間のカリキュラムでは、海で働くためのさまざまな技術や知識を身に付けることができる。コースは主に操縦について学ぶ航海科と、エンジンについて学ぶ機関科の2科となっているが、3カ月間の沿岸漁業コースもある。

URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/nousei/ns-36/>

疑っていた地元漁師もいまでは可愛がってくれる。幸福丸の船頭で漁協の専務理事を務める内山さんからも「まじめで働き者。仕事の飲み込みも早い」と評価は高い。年間操業日数は180日〜200日。ほかの漁船に比べて多いが「その分、早く一人前になれる」と前向きに発想する。

やりがいを感じるのは大漁で水揚げ作業が忙しいとき。つらいのは、寒さに弱い体質で、かじかんだ指先が思うように動かせず魚の仕分けができないとき。正直、辞めたくなることもあるが、そんなときは卒業時のクラスメイトの言葉を思い出す。「中途半端で帰ってくるなよ」

これから漁師を目指す人へのメッセージをお願いすると「一度目指した夢を、途中で投げ出さないでほしい。夢を追えるのも、親や友人の協力があったことなのだから」と返ってきた。あどけない笑顔の奥に、海の男の魂が宿っていた。





# 木の魅力を追い求め、 木地師の里へ

長野県南木曾町 木地師の里ヤマイチ  
吉田 奈央さん



南木曾ろくろでつくった、吉田さんの作品。「木の魅力を伝えながら、現代人のライフスタイルに合った器をつくっていきたい」

長野県木曾郡南木曾町は、山深い木曾谷の南端。町の9割以上が森林で占められており、古くから木工のさかんな「木地師の里」として知られている。東京出身の吉田奈央さん(28歳)は、ここで古くから「南木曾のろくろ細工」を手がける「木地師の里 ヤマイチ」へ、2006年4月に入社。一人前の木地師を目指して奮闘中である。

## ネットで「木地師」への道を探す

吉田さんは学生時代、東京の多摩美術大学でガラス工芸を学んでいたが、卒業時点でガラスは一生やる仕事ではないと感じていた。それでも「素材を加工して何かをつくりたい」との思いは強く、卒業後は都内のプラスチック加工会社などでアルバイトに励む。そのうちに思い出したのは、学生時代に体験した木工の授業だった。

「磨けば磨くほど、内側からつやが出てくる。ガラスやプラスチックと違って、呼吸している。一生付き合っていける素材だと思いました」

木工技術を習得しようと神奈川県平塚市の職業訓練校へ通い、漆器で有名な小田原の工芸センターも訪ねたが、就職先が見つからない。そんなとき、インターネットの画面で「木地師」を検索するとヤマイチのホームページにヒットする。当時は求人を出していなかったが、吉田さんは単身現地を訪れ、「私は木地師になりたいんです。ここで働かせてください」と頼み込んだ。

ヤマイチは、昔ながらの茶托やお椀な



木の性質や硬さを見極めながら、一つひとつ刃物をあて、削り出していく

どの身近な食器から、一枚板を使った机、手の込んだ箆笥まで、幅広い木工品を製作。工房には総勢10名の職人がいて、とくに若手は美術工芸を学んだ他府県出身者が多い。熱意が伝わり、吉田さんもその一員に加わることになった。

## 木の器の新しい魅力を伝えたい

入社後は、先輩たちの作業の手伝いや補助のほか、ケヤキの皮でつくった一輪挿しなど、最初から作品づくりも担当させてもらう。木工は初めてではなかったが、南木曾へ来て初めて漆を扱った。仕上げに塗る作業を担当したところ、入社してまもなく手がかぶれてしまった。

「もう痒くて、痒くて、手がパンパンに腫れてしまいました。たとえ漆に直接触れてなくとも、ゴム手袋を通してかぶれるからすごい」

漆にかぶれると、あまりのつらさに夜も眠れなくなるといいうが、吉田さんの場合腫れは手だけで治まり、弱音を吐かなかったことで、「奈央ちゃんは我慢強い」と、先輩たちを驚かせた。

トチ、ケヤキ、センノキ……南木曾へ来て、いろいろな木にじかに触れられるようになった。同じサイズの茶托をつくるにしても、木によって見た目や感触、硬さ、出る木目が、まったく異なってくる。木の性質をいかすように、一つひとつつくっていくのがおもしろい。

ヤマイチの木工は丸太を仕入れるところから始まる。皮や端材も捨てずに活用し、そこから炭をつくる。

「その炭で火を起こし、鍛冶屋のようにろくろを引く刃物を鍛えるんです。丸太を余すところなく使うのがすごい」

入社2年目を迎えた今も、覚えることがいっぱい。まだまだ修業中の身。それでもいつか吉田さんは「木の新しい魅力を伝える器」をつくりたいと語る。そして、「いつか器のデザインと制作、使い方まで、トータルに提案できる。そんな木地師になりたい」と、夢を膨らませている。



丸太の製材から、デザイン、製造、販売まで一貫して手がける、ヤマイチの木地師たち





# 荒れる農地を守り 次世代へつなぎたい

山梨県北杜市  
安藤 友彦さん



今年の4月からトラクターを導入。年間約50種の野菜を栽培して、直売所で販売する予定

## 別荘地を求め、夫婦で武川村へ

遠く甲斐駒ヶ岳を仰ぎ見る、山梨県北杜市武川町（旧・武川村）へ、安藤友彦さん（64歳）・和代さん（62歳）夫妻がやってきたのは1994年。友彦さんは、事務機メーカー（株）リコーで、長年事務用ファクスの開発設計を担当していた。生まれも育ちも東京。早くから「定年後は田舎暮らしを」と考え、在職中から別荘地を探し歩き、新聞広告でたまたま目にした「南アルプスが見える別荘地」を選んだ。当初は別荘住まいをしながら週末農業を楽しみ、定年後は自給自足的な生活を楽しむつもりだった。ところが――。

## 近所の農家の人たちが栽培指導

農業経験のない安藤夫妻は、別荘ではなく、「武川に本格的に永住しよう」と決意して、30坪ほどの土地で野菜づくりを始めた。見様見真似でいろいろつくってみたが、最初から畝を立ててネギを植えようとしてみると、通りがかりの農家の人が「全部青いネギを食べるのかい？」。里芋を植えていると「それじゃ深すぎて芽が出ない。やり直し」。白菜の苗の植えつけは「根が弱いから、そっと赤ちゃんを扱うように」などと声をかけてくれる。そんな助言を素直に聞き入れ、交流を深めるうち、地元「組」への加入を認められた。都会からの移住者はほかにいないが、住民として認められたのは、安藤さん夫妻が初めてだった。

「移住するなら、都会の空気や常識を

持ち込まないことです。都会の人間には一見不合理に見える習慣にも、ちゃんと村の歴史と理由があるのだから」

種をまくときも、肥料を選ぶときも、必ず地元の人に相談して決める。そんな姿勢と、技術者特有の探究心が実を結び、野菜づくりの腕前はみるみる上達。いつしか「うちの畑を借りてほしい」と

いわれるまでに。20<sup>ル</sup>の畑で野菜をつくり、地元の直売所で年間50種もの野菜を販売するようになったが、なかでも「安藤さんのニンニク」は、評判が高いという。

## 63歳で農大へ。次の世代につなぎたい

週末農業からスタートして、05年に退職。地元の人たちに学びながら、栽培と出荷を続けていたが、06年の春から山梨県農業大学の新規就農希望者研修（基礎コース）への入学を決意した。

「値段をつけて野菜を販売するなら、もつとちゃんと勉強しなくては」

応募条件は「おおむね60歳未満」だったが、熱意が伝わり63歳で入学が認められた。大学校では土壌や機械、経営に関する講義のほか、週2〜3日は研修農家での実践がある。授業は月々金曜の朝8時30分〜16時30分と、かなりハードな力



暖炉用の薪割りもお手の物。「近所の方が間伐材を分けてくれるんです」

リキウムだが、安藤さんは無遅刻無欠席。在学中、けん引（農耕車限定）運転免許や、就農計画認定も取得した。

「有機肥料の過剰な投入は環境汚染につながるし、トウモロコシも好き勝手な品種を植えると、周りの畑と交雑して食味が落ちる。移住者が作物を出荷するなら、ちゃんと勉強するべきです」

周囲の農家は高齢化が進み、生産者の大半が70歳以上。後継者もなく荒廃した農地が広がっている。

「私が80歳までやり続けても、あと15年。お世話になっている農地を維持して、次の世代につなぎたい」

この春から借地を60<sup>ル</sup>に拡大し、山梨県から新規就農者としての認定を受け、補助金と自己資金を合わせて300万円で、トラクターや軽トラなどの資材を購入。いよいよプロの農家として、本格的に栽培をスタートする。





# 東海・甲信地方 I・J・Uターン情報

GIFU  
SHIZUOKA  
AICHI  
MIE  
YAMANASHI  
NAGANO

今号のエリア特集の対象地となっている東海（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）・甲信（山梨県・長野県）地方は、多くの読者の方にとって比較的身近に感じる地域ではないだろうか。

関東や関西からのアクセスがよく、地理的な条件や自然に恵まれ、Iターン希望者の移住地として人気のエリアだ。

I・J・Uターンし、農林漁業の就業した方、定年帰農した方、伝統工芸に就業した方を取材し、八つのルポタージュ記事として取りまとめさせていただいた。そこに至るまでの動機や経緯は本当にさまざま。

それぞれの事例から、分野ごとの職業の特徴、地域ごとの特徴をぜひ、読みとってほしい。

## アクションを起こそう

I・J・Uターンし、就業・移住を考える場合、希望する地域の就業や定住に関する支援実施機関にコンタクトを取るというだろう。

支援実施機関から情報を収集したり、実際に現地を訪ね、その窓口で相談をすることが、I・J・Uターンの近道だろう。自分がイメージしていたものと実際が大きくかけ離れていることもあるだろう。

し、思いがけない情報を手にすることもあらずだ。

選択肢は沢山ある。まずは、いろんなドアをノックして、情報を収集するなかで、自分の目指すべき方向を発見してほしい。そうすれば自分の適性を判断することもできるはずだ。

## 農業を始めた

東海・甲信地方で、独立して農業を始めたいと考えるなら、各県に設置されている新規就農相談センター（連絡先は63頁に掲載）で情報を収集したり、相談してみよう。

本特集の長野県、岐阜県の独立就農者の記事に見られるように、就農するための技術習得を支援する制度や就農を支援する仕組みなど、各県ごとに就農をサポートする制度が設けられている。

また、一部の市町村では、独自の就業支援制度を設けている。各県の相談センターから情報提供を受け、県の支援制度とあわせて、活用を検討してみるといいだろう。

なお、一般に農業体験レベルでは広く人を受け入れているが、1〜2年間の本格的な技術習得のための研修制度や資金面での支援制度を受けるには、一定の条

件があったり、定員が設けられ、選考がある場合もあることに留意してほしい。

## 農業法人に就職したい

このエリアで農業法人に就職したいと考える場合は、まずは新・農業人フェアを訪ねてみよう。また、各県の新規就農相談センターに従業員を募集している農業法人の情報について尋ねるのも一つの方法だ。

## 新・農業人フェアを訪ねてみよう

東京や大阪などで開かれる新・農業人フェアには、この地方の就農相談窓口、農業法人が出席する。相談員と面談するよい機会であるし、資料も収集できるので、同フェアに参加してみよう。

## 林業に従事したい

林業に従事したいと考えている人の相談窓口になるのが、各県に設置されている林業労働力確保支援センター（連絡先は65頁に掲載）。

各センターでは就業前に身に付けておくべき技術や知識をひととおり教えてく

れる「林業就業支援講習」（20日間程度）を実施している。実施時期やカリキュラムはセンターによって異なるので、内容や今後の実施スケジュールについては、それぞれの支援センターに問い合わせしてほしい。

## 漁師になりたい

漁業に従事したいと考えている人の相談窓口になるのが、漁業就業者確保育成センター（連絡先は67頁に掲載）。このエリアでは、静岡県、愛知県、三重県が設置している。

## 漁業就業支援フェアを訪ねてみよう

漁業就業支援フェア（「特集1 海を舞台に生きる」という選択参照）を訪ねれば、このエリアの人材を募集する漁業会社や就業相談窓口の担当者と面談できる。限られた機会なのでぜひ、同フェアを訪ねてみたい。

## 田舎暮らし（移住）したい

県段階で、Iターン希望者などの就業や定住をサポートする機関や制度が整備されてきている。

また、東京や大阪で各県の情報を提供してくれる窓口も設置されている。この地域に移住したい人はこれらの窓口を相談や情報収集にぜひ、活用してほしい（連絡先は69頁に掲載）。



# 大地に生きる

～信州で農業を目指す方を応援します～

## 就農相談窓口

就農を希望される方は、就農相談員、就農コーディネーター、農業改良普及センターへご相談ください。

就農相談員	長野県新規就農相談センター (社)長野県農業担い手育成基金、長野県農業会議 ☎026-231-6222 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2 県庁東庁舎 E-mail ninaite@nagano-ninaite.or.jp
就農コーディネーター	長野県農政部農村振興課担い手育成係 ☎026-235-7243 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2 E-mail syunou@pref.nagano.jp 長野県農業大学校研修部 ☎0267-24-5437 〒384-0807 小諸市山浦 4857-1 E-mail syunou@pref.nagano.jp
農業改良普及センター相談窓口	長野県ホームページをご覧ください。http://www.pref.nagano.jp/soshiki/soshiki2.htm#kairyu

## 就農相談会開催

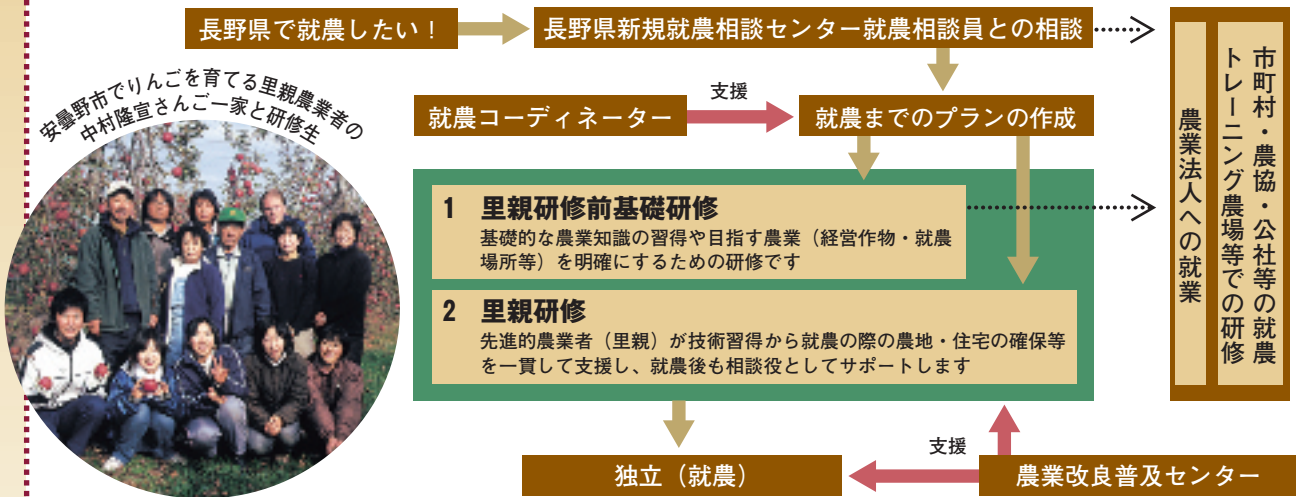
期日：平成 **19**年**5**月**19**日(土) / **6**月**30**日(土) / **7**月**22**日(日)  
会場：**東京都代々木 国際オリンピック記念青少年総合センター**

当面の予定です。  
※詳細については、就農相談員窓口までお問い合わせください。

## 新規就農里親支援制度

「新規就農里親支援制度」では農家の皆さんとともに、農業技術の習得等を応援します。

平成 15 年から  
これまでにこの制度で 47 名の方が  
長野県に就農しました。  
(19 年 1 月末日現在)



## アグリターン農業体験研修

さわやかな信州で、2泊3日の農業体験研修をしてみませんか！

期 日 (予定)	場 所	内 容	募集人員
第 1 回 5 / 25 (金) ~ 5 / 27 (日)	小諸市 農業大学校 研修部他	・農作業体験 (野菜、果樹等) ・先輩農業者からのアドバイス ・先進農業者のは場等視察 ・就農ガイダンス ・農作物の栽培技術等の講義 他	各回 15 人
第 2 回 6 / 29 (金) ~ 7 / 1 (日)			
第 3 回 7 / 27 (金) ~ 7 / 29 (日)			
第 4 回 9 / 21 (金) ~ 9 / 23 (日)			
第 5 回 10 / 19 (金) ~ 10 / 21 (日)			
第 6 回 11 / 16 (金) ~ 11 / 18 (日)			

注) 参加費、お申し込み方法等、詳細については農業大学校研修部又は県農政部農村振興課までご照会ください。

## お問い合わせ先

長野県 新規就農相談センター  
電話 **026 (231) 6222**  
FAX. 026 (231) 6255  
E-mail : ninaite@nagano-ninaite.or.jp

## 新・農業人フェア

東京 (6/9、9/15、11/17) 出展  
大阪 (5/26、12/22) 出展



Uターン・新規参入・後継者の皆さん

# 東海・甲信で就農するなら！ 農業者年金加入者の仲間になりませんか？

**Q** 夫婦で農業者年金に加入しようと考えているのですが、農業者年金は、経営主しか加入できないのですか。

**A** 新しい農業者年金制度には、次の加入要件を満たす者ならどなたでも加入できますので、経営主だけでなくご夫婦での加入も可能です。また、一定の要件を満たす者に対する政策支援についても、家族経営協定を締結することによって、世帯内で要件を満たす複数の方が受けられます。

<加入要件>

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業従事
- ③60歳未満

**Q** 農村は、平均以上に高齢化率が高くなっていますが、将来、少子高齢化の影響で年金がもらえなくなる心配

はないのですか。

**A** 自分の年金原資を自分で積み立てる、積み立て方式の確定拠出型年金です。加入者・受給者の数に影響されない安定した年金制度で、運用状況などで保険料が引き上げられることもありません。

●運用成績の推移 (単位：百万円、%)

	運用総額 ①	時価総額 ②	総合収益 ②-①	修正総合 利回り
平成14年度	23,512	22,948	△563	△4.65
平成15年度	40,483	42,335	1,852	5.99
平成16年度	58,740	60,430	1,690	3.40
平成17年度	76,017	82,619	6,603	9.80

※運用開始から資産の増加を考慮した通算利回りは年5.44%



- 新規就農者(新規参入・Uターン・後継者)の方で、認定就農者又は認定農業者で青色申告すれば、保険料の国庫補助や税制上の優遇措置が受けられ、少ない負担で将来に備えることができます。また、農業者年金加入者のネットワークなど、地域とのつながりもできます。
- 新規就農と農業者年金加入をセットで考えましょう!!

●農業者年金に関するお問い合わせは、東海・甲信各県の農業会議までお問い合わせ、お待ちしております!!

山梨県農業会議 ☎055(228)6811  
愛知県農業会議 ☎052(962)2841

岐阜県農業会議 ☎058(268)2527  
三重県農業会議 ☎059(259)0860

静岡県農業会議 ☎054(255)7934  
長野県農業会議 ☎026(234)6871

## 全国農業図書

### みんなで食育

食を育み、  
農・命・未来を育む

砂田 登志子 著



おいしく食べて、スクスク元気に育つ「食育」は、自分の健康は自分で守り、つくっていく生涯学習です。現代の日本では飽食や過食が社会問題となっており、いまこそ、「食べる」ことの大切さ、「どう食べるか?」ということを真剣に考える必要があります。

「食育とは何か?」「なぜ食育が大切なのか?」

健康長寿の知恵を次世代へ伝承するための「漢字で食育」、子どもたちをひきつける具体的なアプローチなどの取り組みを、イラストを用いながらわかりやすく説明しています。

コード番号17-63、A5判・58頁、  
定価 350円(税込) 送料実費

### 実践型農業マーケティング

フィールドワークに基づく、  
実践的な  
マーケティング手引書!!

マーケティングプロデューサー  
平岡 豊 著



「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)

農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な事例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べる。

コード番号18-20、新書判・179頁  
定価 800円(税込) 送料実費

発行 全国農業会議所  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34M Tビル  
TEL. 03 (5251) 3907 <http://www.nca.or.jp/tosho/>



## 全国新規就農相談センター

# 農業を仕事にするための総合イベント 新・農業人フェア'07

開催時間 10:30~16:00 [全会場共通]

### 東京会場

6/9 (土)、9/15 (土)：池袋サンシャインシティ・ワールドイン  
ポートマート A2、A3ホール

11/17 (土)：東京しごとセンター

### 大阪会場

5/26 (土)：梅田スカイビル・タワーウエスト 10F梅田アウルホール

12/22 (土)：OMMビル2F展示ホールA、B

※会場の案内図は32頁に掲載

### ●農業法人等合同会社説明会

農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集している経営者と面談できるブースを設置します。

### ●新規就農セミナー

新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農業法人就職者による事例発表などを行います。

### ●新規就農相談会

受け入れ希望都道府県・市町村ごとのブースなどを設置し、農業を始めるための個別相談に応じます。

### ●農業インターンシップ

農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のためのブースを設置し、相談に応じます。

### ●田舎暮らし相談会

田舎暮らしを希望する人のためのブースを設置し、相談に応じます。

### ●チャレンジ!ファームスクール

合宿形式による農作業実習の概要について説明します。

●入場無料 ●入退場自由 ●服装自由 ●履歴書不要 ●家族・友人連れ歓迎

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

お問い合わせ

全国新規就農相談センター ☎ 03 (3507) 3088

## 農業生産法人 わかばフーズ(株)

### 募集情報

募集人数▶3名

募集職種▶農産物生産業務、一般製造業務・出荷作業、営業、一般事務

応募資格▶18歳~30歳位まで

給与▶初任給/高卒16万円、短大卒16万5000円~18万円、大卒18万円~20万円

待遇▶健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険加入

勤務時間▶9:00~18:00

休日休暇▶週休2日、夏期休暇、冬季休暇、リフレッシュ休暇(年間休日108日)

勤務地▶岐阜県羽島郡岐南町

### 会社情報

設立▶1992年

資本金▶2,000万円

従業員数▶約200名(パート含む)

年商▶20億2,000万円(平成17年度)

事業内容▶代表取締役社長 三浦茂雄

業務用カット野菜、刺身用大根つま(ケン)の製造販売、大葉・パセリなどの契約販売、その他鮮魚で使用する野菜全般、農産物生産会社の紹介▶世界に3台しかない大根のつまを作

る機械を所有。ニーズの多様化に対応し、毎年前年比120%の売上を目標にしています。

代表より▶生命を育む大地作りから吟味された食材作りまで、一貫したシステムで農業経営を進めています。土との触れ合いを通して、農作物への愛着と一緒に育てていきたいと思いますか。

### 暮らし情報

広大な濃尾平野の北部に位置し、なだらかな平坦地に広がる岐南町は、名鉄名古屋から特急で岐南まで25分、岐南から徒歩で15分。

### 応募情報

応募方法▶電話連絡の上、履歴書(写真貼付)を郵送してください。または、ホームページの求人情報: エントリーフォームからも応募できます。いずれの応募方法でも、追ってこちらからご連絡いたします。

☎ 058 (247) 9590

担当/三浦茂雄

〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋4丁目156

FAX. 058 (246) 2613

URL <http://www.wakaba-f.co.jp>

私たちは岐阜県初の株式会社形態の農業法人であり、岐阜市の認定を受けた認定農業者です!



岐阜県内だけでなく、三重県、静岡県、山梨県の125㊦のほ場で野菜を生産しています。いろんな土地で働いてみたいという行動的な方、お待ちしております。

生産管理ができる  
人材を募集中。  
私たちが一緒に会社を  
成長させませんか!

## (株)妙高ガーデン

### 募集情報

募集人数▶2~3名

募集職種▶栽培管理業務

応募資格▶18歳~35歳位までの健康な人

給与▶初任給/15万円、但し、農業系の短大・専門学校卒16万円~18万円、大卒(農学部系)18万円~20万円

待遇▶社会保険(健保・厚生)、労働保険(雇用・労災)、作業着等貸与規定、寮完備(1K)月/12,000円

勤務時間▶8:00~17:00(実働8時間程度)

休日休暇▶シフト制による年間休日105日

勤務地▶新潟県妙高市

### 会社情報

設立▶2005年9月

資本金▶9,500万円

従業員数▶社員18名(内出向者4名)、研修生3名、パート55名

売上高▶5億円(平成18年度)

事業内容▶代表取締役 山下光明

大葉(青じそ)、ハーブの栽培生産

会社の紹介▶農業を使わない生産者にも消費者にも体にやさしい農業です。

安全な農産物のブランドづくりに取り組んでいます。ハーブはハウス食品のブランドで、大葉はVOXのブランドで販売しています。

代表より▶安全な農産物を消費者が求めています。おいしいものを食べるとみんな笑顔になります。あなたも笑顔の生産者になってみませんか。

### 暮らし情報

JR 信越本線関山駅(長野から45分)すべて車で7分。大型ショッピングモールまで30分。コンビニまで1分。総合病院まで15分、診療所まで8分。夏は日本海まで30分、冬はスキー場まで30分のアウトドア派にも最適です。

### 応募情報

応募方法▶問い合わせ、大歓迎です。詳しい内容はお問い合わせください。

### 新・農業人フェア

東京(6/9)出席

☎ 0255 (81) 1103

担当/山下、猪野

〒944-0332

新潟県妙高市大字大原新田310番地

FAX. 0255 (81) 1166

E-mail [mg@myoko-garden.jp](mailto:mg@myoko-garden.jp)

URL <http://www.myoko-garden.jp>



## 自然豊かな妙高で 一緒に新しい農業スタイルを 確立してみませんか!

私たちは、「自分たちが安心して食べることができる農産物を消費者にも届けたい」という思いで、農業を使わないで栽培しています。今後栽培面積を増やしていくにあたり、新規就農者を募集します。これからの日本が直面する食糧問題に対応するためにも新しい農業スタイルが必要です。若者がやりがいを持って働ける環境、収入が明確に見える農業、定年後の第二の人生として取り組める農業、障害を持った方でも働ける環境、国や性別に関係なく皆が楽しく生きる事を感じられる、そんなコミュニケーション的な農業を目指してがんばっています。



農林漁業  
ふるさと情報





# 自由な発想で経営の 継続・発展を目指す

新潟県上越市 有限会社アフコ 秋山直樹さん  
由季さん

## 「コメ業界の急速な変化を予測

「大学卒業のころ、農をとりまく世界が大きく変わるのではないかと思った」というのは、(有)アフコ代表取締役の秋山直樹さん(38歳)。埼玉県の非農家出身。

1990年前後に世界で起きた数々の出来事——中国の天安門事件、日本のバブル崩壊、ヨーロッパのベルリンの壁崩壊など、世の中の情勢は大きく変化していた。当然、それにもなつて日本の経済や産業も生まれ変わろうとしていた。

「今までの枠組みで計れないことが起きそうな予感がしたんです。古来からあつてほとんど変動していない業界が一番変わりそうかなと。そういう意味で、農業という世界で新しい波に乗って、おもしろい事業ができないかなと思つたことが就農のきっかけでした」

早稲田大学を1年間休学し、日中友好20周年記念事業の一環でタクラマカン砂漠に滞在したりしているうちに、秋山さんの農業への興味はさらに加速していった。そのころ、自由貿易の拡大を目指す

多角的貿易交渉・ウルグアイラウンドや、戦後最悪の凶作によるコメの緊急輸入などが起こつたため、農業のなかでも「稲作」に着目するようになる。そこで新規就農ガイドセンター(現・相談センター)の門を叩き、「稲作をやりたい」と告げる。すると「資金も技術もない者がいきなり独立するのは難しい」ときつぱり諭された。そこで、まずは農業法人に就職し、技術と経営を学ぶことにした。

## 経営継承の予定が二転、独立へ

秋山さんは94年の大学卒業と同時に、長野県の穂高町農業生産組合に就職した。最終目標は、もちろん独立就農。技術と経営の基礎を貪欲に学んでいった。

それから2年後、後継者を探していた上越市の大規模農場を紹介される。経営継承をスムーズに行うため、農場側は有限会社を起こした。共同経営という名目で、株式譲渡してもらおうという計画だったが、諸事情により実現しなかった。

「相手の事情もさることながら、農地法に無知だったたり、当時を思い返せば、自



このあたりは、遠くに見える妙高高原に季節風があたるため豪雪地帯となり、夏はフェーン現象で気温が上がる独特の気候(写真上)

秋山農場のコシヒカリは、プライベートブランド「Riki Saku」として生産・販売。減農薬で育てた特別栽培米だ(写真中)

主にホームページの運営や通販の発送業務などを担当している由季さん(写真下)





農業を一つの職業ととらえる二人。これからはコメ以外の農産物の企画・仕入れ・販売を拡大させていきたいとのこと



分の準備不足はいなめません。第三者が参入して農業を経営継承するには、当時は難しい問題がかなりあったんです。10年経った現在、法律のほうがやっとな追いついてきたという感じですね」

結局、経営継承をあきらめ、耕作農地のうち10畝の権利を譲ってもらい、98年に独立という形で板倉町(現・板倉区)に秋山農場を発足。機械は機械利用組合から借りて経営をスタートした。自分で開拓して米屋に直接卸したり、ホームページを立ち上げて通販を始めたり、販売に関しては独自のやり方を展開してきた。一人で奔走している秋山さんのもとへ00年、滋賀県出身の由季さん(34歳)が嫁いでくる。彼女はタクラマカン砂漠行きのスタッフ時に知り合った間柄。農業にもインターンにも気後れすることなく飛び込み、秋山さんを支えてきた。

「たまたま結婚した人が農家だっただけ。この職業が特別なわけでないし、とくに深刻な問題ではなかったですね。地元の人との交流だって、都心部の近所付き合いと同じですよ。土地柄が違うから少々ルールが違うだけ」と語る由季さんを、頼もしそうに見つめる秋山さん。二人三脚でやってきた絆がうかがえた。

### 販売の強化を目指して法人化

技術と経営——このバランスを保つことが難しいと感じ始め、秋山さんは04年に(有)アプロを設立。生産部門と、販売・企画部門を分割しようというのが法人化の狙いだ。その際に、目標を二つ掲げた。一番目は、販売力の強化。「新規就農

者で『自然に囲まれて仕事ができよかった』とそこで満足してしまう人がいますよね。でも、売れなげやダメなんです。夢をかなえる＝農業経営ということですから」と就農が目標でなく、農家として経営を続けていく重要性を説く。

二番目は、新商品の開発。現在はコメのほかに大豆をつくり、みそ、みそ漬けなどの加工品、仕入れは別途だが果物や野菜などの販売も行っている。

三番目は、海外業務の推進と国際化。「商品も、人材も、これからは本当にいいものが国境を越えて流通する時代が来るはず。うちのコメを海外で販売したり、アジアやオセアニアなどの近隣国と技術交流をしたい。外国人の方がうちの社員になる日がいつか来れば」と目を輝かす。

また、「個人の農家よりも、法人のほうが外部のスタッフを集めやすいんですね。地域の受け入れ具合や、資金調達の際の信頼感も変わってきます」と法人としてのメリットを語る。

「伝統を受け継ぐのはいいことだけど、先人たちと同じことをしても進歩がない。頭を柔らかくし、固定観念をなくし、自由な発想で新しいことをやらないと、楽しくも上げることが大切」という秋山さんは、実業家の顔つきになっていた。





# 思いを現実にするには 行動あるのみ

宮城県美里町

有限会社ハニエローズなんごう

手塚 光弘さん

佐々木 真人さん



芽かき作業中の手塚光弘さん（左）と佐々木真人さん

いくつもの屋根が連なる温室は、じつに2畝以上。「棟続きのハウスとしては国内で1、2の広さ」と、(有)ハニエローズなんごう代表取締役の佐々木正俊さんは誇らしげだ。同社は、佐々木さんら宮城県泉南郷町（現・美里町）のバラ生産者4人が出資して1998年に設立。ここに手塚光弘さん（34歳）、佐々木真人さん（31歳。以下、真人さん）が研修生として入社したのは、04年のことだ。

## 農業はなぜか気になる存在だった

二人とも宮城県の生まれ。就職した仙台市内の会社は、いずれも農業とは無縁の仕事だった。ただ以前から「漠然とだけ、なぜか農業が気になっていた」という二人。財団法人みやぎ担い手基金の紹介で短期研修から入ったのは同じだが、そこに至る経緯は若干異なる。

「農道をドライブするのが好きだった」という真人さんは、転職決意後、当時の上司にも相談し、勤務しながら情報収集や農家見学に行くなど、少しずつ行動した。「決心してから2、3年くらいありま



真ん中は佐々木正俊代表。2ヘクタールにおよぶハウスでは、34種13万株のバラが栽培されている

したかね」と当時を振り返る。一方手塚さんは、長いこと農業への思いを抱きつつも、仕事が忙しく、また周囲に相談できる人もいなくて、なかなか自由に動ける環境ではなかった。「身動きが取れないジレンマ」に苦しみ、ついに退職して時間をつくるしかないと思い立った。それからの動きは素早く、「退職してからここに来るまでは1カ月くらい」と手塚さん。二人とも実体験から、現場を訪ね、人と会うなど、行動することの大切さを強調する。

## 植物に愛情を注げることが条件

朝8時、ハニエローズなんごうの仕事は、バラの収穫から始まる。パート労働の女性も含め、総動員で収穫適期の花を見極めながら切っていく。その後、選花や結束など出荷のための作業をし、一時予冷庫へ保存。週3回、仙台や八戸（青森）、東京の市場へ出荷するというのが大まかなサイクルだ。周年栽培だが、季節

によって出荷本数は異なり、冬季は1回5000本、夏場は2万本にもなる。二人は昨夏から、パート労働の人たちに指示し、まとめる役目を任されている。「仕事内容やバラの特性が理解できてきたので、そろそろ指導役もできるかなと思っただけ」と佐々木さん。二人を採用したのも、若手の担い手と期待してのことだった。「農業は生きものを扱う仕事。植物に愛情を注げる人であることが採用の条件」と佐々木さんはいふ。

短期研修中、まじめに花と向き合う二人の仕事ぶりを見て、「本格的にもう1年研修し、よければその後、従業員として働くことを考えてみないか」と持ちかけた。「研修期間はお見合いのようなもの。その間にお互いの適性を判断すればいい」というのが佐々木さんの考えだ。

## 自分磨きに専心中

ハウスといえど、天候に左右される難しさは同じ。「明日これをやろうと計画しても、そのとおりにはいかないことが多い」と苦笑する真人さんだが、「友だちが花を注文してくれ、送ったらとても喜んでくれた。あのときはうれしかったなあ」と顔をほころばす。また手塚さんは、「バラづくり一つとっても、農業はとてつもなく奥が深く、これで終わりということがない。失敗もするけど、自分で工夫して試すことができるのが魅力」とか。

「いつかは経営する側に…」との希望を抱きつつ、いまは多くの人と働く楽しさを味わいながら、技術を、そして人間としての自分を磨くことに専心中だ。



# やればやっただけ 成果が生まれる

兵庫県加古川市 農事組合法人・八幡営農組合  
菊池 美香さん

## 大規模法人に就職

兵庫県加古川市は県の南東に位置し、神戸市にもほど近いエリア。農事組合法人・八幡営農組合は、その加古川市八幡地区の六つの集落営農組織をまとめて一つの組織にした大規模な農業法人経営である。組合員数642戸、関係水田面積331畝。数字だけ見ても、その規模の大きさがわかる。

役員は、理事長の芦原安男さん（63歳）以下理事6人、正職員4人、ほかにパート職員約40人。

菊池美香さん（23歳）は、正職員の一人である。大規模な農業法人・八幡営農組合が誕生したと同時に、2005年5月、就職した。

## 達成感がある仕事

菊池さんの仕事は、事務を手伝うほか、主に野菜づくり。稲作や麦作などの大型機械作業の補助的な仕事もこなす。

「事務の仕事よりも、野菜づくりの農作業が好きです。野菜づくりには、達成感があるから」とうれしそうに語る。



「今後も規模拡大が続く」という八幡営農組合の芦原安男理事長（左）と

「土に触れ、野菜（作物）を育てる。よいものをつくり、できた野菜を食べてもらって喜んでもらえるのが、うれしい。よいものができるように世話すれば、世話しただけの成果が生まれる。ほっばらかしにしたら、ほっばらかしにしたら、ほっばらかしだけの野菜しかできない。だから、よい野菜ができるように、世話



大麦の畑で

## 子どものころの原体験が 農業に向かわせた

菊池さんはサラリーマン家庭の出身だが、県立農業高校と農業大を卒業した。卒業後、市の外郭団体の公園管理事務の臨時職員をしていた。花などに関係する仕事だったが、やはり農業でなければと、農業法人に就職した。

「小さいころから、祖父母が自給農園で米や野菜をつくるのを見てきた。休みのたびに行くと、帰りがけに、これ持ってきい、と野菜を持たせてくれる」。そうした小さいころからの体験が、菊池さんを農業に向かわせたのだろう。

## 米麦など150ヘクタール経営

八幡営農組合の経営（全作業）



「農作業が好き」という菊池さん

受託面積は、水稲作39畝、大麦64畝、大豆22畝、種子用小麦15畝、ソバ5畝、野菜が7畝。水稲作の部分作業（耕うん・田植え・収穫）受託も37畝ある。

野菜は、JA直売所で直売するほか、一部市場出荷するが、多くは八幡営農組合直営の加工所と食堂で、弁当・惣菜に加工、販売する。ソバも加工して、食堂の食材に使う。設立当初から直営の地産地消の複合・多角経営を目指し、パート職員約40人の地元雇用も実現している。

芦原理事長は、「高齢化が進み、営農組合が引き受ける面積はこれからも増える。この4月、新卒男子職員を一人採用したが、今後も職員を採用していきたい」という。





# 有機農業 第2ステージへ 日本農業に 新たな展望を開く

埼玉県小川町 霜里農場 金子 美登さん



「有機のイチゴはそれはおいしいですよ」と、有機農業 35 年の金子美登さん（埼玉県小川町の霜里農場で）



トラクターの燃料は廃食用油から精製したバイオディーゼル燃料を使っている。「天ぶらのにおいがするでしょう」

## 農

林省の農業者大学校（東京・多摩市、現・独立行政法人農業者大学校）の一期生として1971年に卒業し、ここ埼玉県比企郡小川町で「生態系的農業」を始めました。

「生態系的農業」とは、有機農業のことです。私が始めたときには、言葉がなかったの、「生態系的農業」と呼びました。一楽照雄さんが多肥・多薬の無機的農業を大きく有機に揺り戻そうと「有機農業」という言葉に決め、その一楽さんたちが提唱して、日本有機農業研究会がその年（71年）10月に発足しました。私は、研究会の発足と同時に入会して、以来35年間、有機農業を実践してきました。

## 私

の「霜里農場」は、水田1・5畝、畑1・5畝、合計3畝です。ほかに乳牛3頭、地飼いのニワトリ200羽、水田除草を兼ねてアイガモ100羽がいます。畑では年間約60品目（季節ごとに約20品目ずつ）の野菜をつくり、現在、約40軒の消費者と提携して、顔の見える関係のなかで生産者・消費者の提携をしています。

70年代では、有機農産物は市場で認めてもらえず、買ったたかれました。そこで、75年、米を基本にして消費者10軒と提携して、自給農場づくりを会費制（のちにお礼制）で始めました。81年からは消費者30軒を加え、米プラス野菜・卵を中心に、一袋野菜として月3〜4回提供するかたちになりました。

こうして日本の有機農業は、生産者と消費者の提携運動として発展しました。

水田は米が1畝、集落内のブロックロ





地飼いのニワトリは200羽。  
有機農業は有畜農業でなければならない

いま提携する消費者は40軒。野菜などのセット  
をとりよせた消費者の一人と談笑する金子さん



プロフィール  
金子美登(かねこ・よしのり)

1948年埼玉県小川町の300年続く農家に生まれる。「霜里農場」代表。58歳。71年、農林省・農業者大学校を卒業と同時に「生態系的農業」(後の有機農業)を始める。同年10月、日本有機農業研究会の発足と同時に、入会。75年、米を基本に消費者10軒と会費制(後にお礼制)で提携し始める。81年、プラス野菜・卵の一袋野菜で消費者30軒と提携。95年、仲間14人と小川町有機農業生産グループ結成。97年から就農準備校有機農業専門コース(小川教室)開校。02年「NPOふうど」発足。06年、町環境基本計画によるバイオガス新プラント1号機稼働。

1 テーシヨンの転作大豆・小麦が0・5  
鈴です。20年前から地場の造り酒屋と提  
携して有機米の「おがわの自然酒」づく  
りを始めました。現在、地場のとうふ屋  
2軒、しょうゆ醸造会社1軒などに転作  
の大豆、小麦を提供しています。

**有** 機農業推進法が06年12月、超党派  
の議員立法で成立、施行されまし  
た。これは、100年に一度の文字どお  
り「農政の大転換」といえます。国と自  
治体に、農業者と消費者の協力を得なが  
ら、有機農業を推進する責務を課した画  
期的な法律です。

超党派で結成された有機農業推進議員  
連盟は、会長・谷津義男衆議員(自民)、  
事務局長Ⅱツルネン・マルティ参議員(民  
主)、事務局次長Ⅱ段本幸男参議員(自民)  
ですが、丸2年で10数回の勉強会と現地  
調査を重ねてきました。有機農業団体も  
一本化して事にあたるため、全国有機農  
業団体協議会を結成し、私が代表を務め  
てきました。これまでの政策の積み重ね  
では越えられなかった壁を越え、人類と  
地球の行く末を考えた国会議員の先生方  
の見識と事の重要性とによって、ダイナ  
ミックな転換が図られたのです。

これまでの35年間で第1ステージとす  
るなら、これで日本の有機農業は新たな  
時代、第2ステージに入りました。

**私** たち地域の有機農業は、造り酒屋、  
とうふ屋、しょうゆ屋、納豆、ソ  
ーセージ、ニンジン・トマトジュース、  
きな粉、麦茶と地場の食品産業と結びつ  
いています。

96年に始まった小川町自然エネルギー  
研究会は、02年にNPO法人小川町風土  
活用センター(NPOふうど)に発展し  
ました。消費者世帯から生ゴミを分別回  
収し、畜ふん尿と合わせてバイオガスを  
発生させ燃料として利用。その後、液肥  
として利用するプラントをつくっていま  
す。92年に有機農家にバイオ1号機が導  
入され、私のところには94年に7号機を  
導入しました。町の環境基本計画に続い  
て小川町地域新エネルギービジョンに盛  
り込まれ、06年に500世帯用のバイオ  
プラント1号機が事業費800万円で導  
入され、稼働しています。同計画では、  
1000世帯用3基、500世帯用8基  
が各地区に設置される予定です。

私たちの地域では、ようやく集落全体  
の転換が手に届くようになりました。

**農** 場では有機農業に取り組む仲間を  
育てるため、研修生を79年から受  
け入れています。当初は年1人ずつでし  
たが、現在は年10人ずつを受け入れてい  
ます。

研修生は10歳代後半から50歳代後半ま  
で幅広い年齢層ですが、全国各地で活躍  
しています。

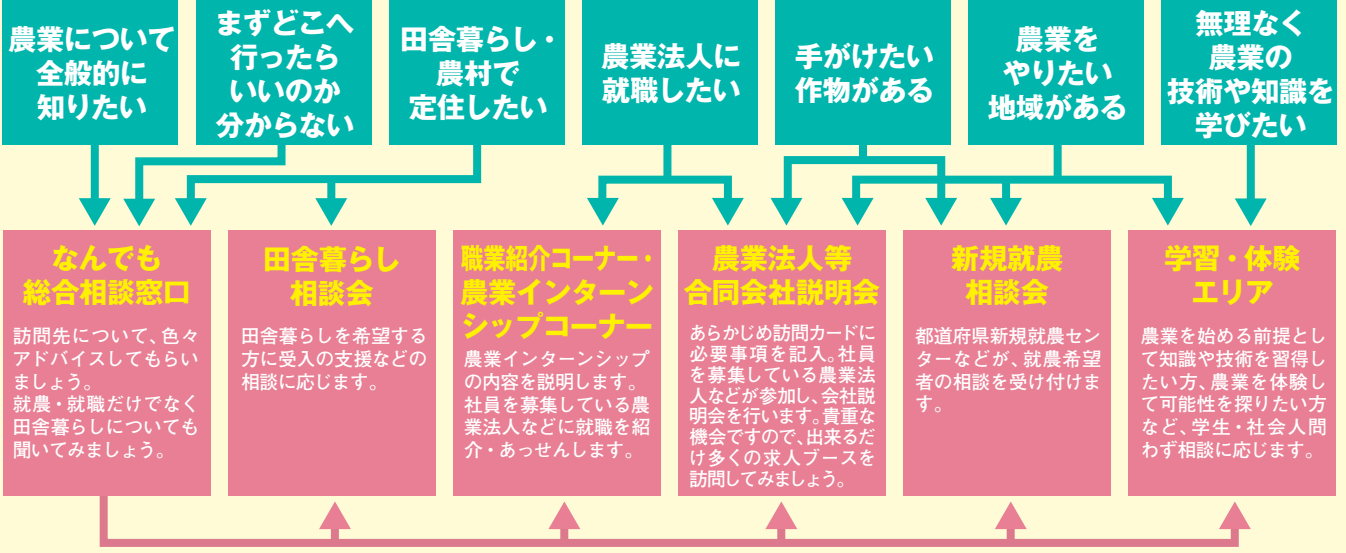
有機農業運動が第2ステージに入り、  
集落・地域ぐるみの取り組み、転換が進  
むなかで、これを引き継いで広げてくれ  
る人たちを育てなければならぬと考え  
ています。各地に入った研修生も地域ご  
とに根づいて地域を変える原動力となっ  
てきており、これをさらに広げていくこ  
とが、これからの課題です。

# 新・農業人フェア'07の歩き方

**記入・筆記コーナー**  
まずブース訪問カードに自己PRを記入します

**入口**  
パンフレット、会場マップ、アンケート、ブース訪問カードを受け取ります

## あなたのタイプは…？



### 新規就農セミナー

就農するためのガイダンスや就農者の  
体験発表などが行われます。

### 新・農業人ネットワーク 相談コーナー

新規就農セミナーで体験を発表した就農者が、  
直接来場者の質問に答えます。

### 資料コーナー

パンフレットや書籍など、様々な資料があります。  
情報収集のためにお役立てください。

- 東京会場 池袋サンシャインシティ・ワールド  
インポートマートA2・A3ホール  
6月9日(土)、9月15日(土)、2008年3月15日(土)  
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号



**出口**  
(アンケートを提出してお帰りください)

開催時間：10：30開場 → 16：00終了  
※札幌会場のみ17：00終了

- 東京会場 東京しごとセンター  
11月17日(土)  
東京都千代田区飯田橋3-10-3



- 札幌会場 ロイトン札幌  
2月16日(土)  
北海道札幌市中央区北1条西11-1



- 大阪会場 OMMビル  
12月22日(土)  
大阪市中央区大手前1-7-31



- 大阪会場 梅田スカイビル・  
タワーウエスト10F 梅田アウラホール  
5月26日(土)、2008年2月24日(日)  
大阪市北区大淀中1-1





## フェアに行ってみよう

「新・農業人フェア」は、新たに独立して農業を始めたい人、農業法人に就職したい人、野菜など自給農産物を作りながら田舎で定住を考えている人などのための総合イベントです。

このフェアは、1997年度から毎年開催されて、これまでに延べ約5万人の来場者を迎えています。

最近では、「農業にビジネスチャンスを感じる」という若者が増え、農業が職業の選択肢の一つとして認知されるとともに、農業法人においても他産業の有能な人材を雇用する動きが出ています。また、これらの社会的ニーズに加え、団塊世代の大量定年、国民の食の安全、環境に対する関心の高まりなどから、農村・田舎暮らしに関連した情報も求められています。

こうしたことから、全国農業会議所・全国新規就農相談センターでは、広く一般の方々を対象に新規就農の実態や方法



新規就農セミナー

などについてのPRと就農希望者の相談に応えるため、年数回、「新・農業人フェア」を主要都市において開催しています。

具体的には、「新規就農相談会」（都道府県・市町村など就農支援対策を持つ自治体・機関などの窓口相談）、「農業法人等合同会社説明会」（従業員、研修生を求める農業法人の相談窓口）、「新規就農セミナー」（新たに就農するためのガイダンス、新規就農者・就職就農者など経験者からの事例発表会）、「農業インタースHIPコーナー」（農業法人で就業体験を希望する人のための相談に応じる）などに加え、「田舎暮らし相談会」（自給自足など田舎暮らし希望者のための個別相談）も開設しています。

### 会場に入りましょう

まず受付で、出展している農業法人や自治体・機関の情報を掲載した「パンフレット」「会場マップ」「アンケート」などの資料と「ブース訪問カード」を受け取ります。ここでどんな法人や自治体・機関が出展しているのか目をとおしてみましよう。

会場案内図で、出展者の配置も確認しましょう。つぎに「記入・筆記コーナー」で、入場時にもらった「ブース訪問カード」に記入し、ブースに行つて名刺代わりに提出し、就農相談をしてください。会場によって多少の違いはありますが、「農業法人等合同会社説明会」や自治体等の「新規就農相談会」が各都道府県ごとに並んでいます。ほかにも農業の学校やインターシップを案内している「学

習・体験エリア」、田舎暮らしや農村定住の実情や支援策が聞ける「田舎暮らし相談会」があります。

これらのほかにも「なんでも総合相談窓口」「新・農業人ネットワーク相談コーナー」「職業紹介コーナー」「農業インタースHIPコーナー」があります。漠然と農業をやりたい、農村にあこがれている方々は、このコーナーで相談するのも一つの方法です。

また会場中央のステージでは、「新規就農セミナー」として相談センターの相談員からの「新規就農ガイダンス」、新規就農者や就職就農者の経験・体験などの事例発表が行われ、農業法人での就業体験を希望する方々には「農業インタースHIPコーナー」も行われます。先輩

求人エリア



就農相談エリア

たちの経験談やアドバイスを聞くことも重要な情報収集となります。

各ブースに訪問する合間には、「資料コーナー」で各都道府県・市町村、法人の資料を収集するのもよいでしょう。

来場者の方々は、それぞれ「どんな農業をしたか、稲作か、野菜か、はたまた畜産か」、あるいは「どこの地域が希望か」などさまざまな目的を持っていきます。また、自治体・機関、農業法人もいろいろな支援策や経営形態があります。まずは、じっくりと情報を集め、相談を重ねることが大事です。そして、希望する現地を訪ねることが必要でしょう。

フェアは、来場者の方々に多くの情報を持つて帰っていただく場です。そして、面接や試験ではなく、あくまでも就農・定住に関する総合イベントですので、お気軽にご参加ください。

最後に、このフェアをさらに充実させていくため、お帰りの際には「アンケート」の記入・提出にご協力ください。



総合相談窓口

## 就農準備校・(社) 全国農村青少年教育振興会

就農準備校は、農業に興味がある方、将来農業をしてみたい方が、農業についての基本的な知識や技術を学べる学校です。

大都市圏に働くサラリーマンの方、一般の方でも夜間、土日など無理のないスケジュールで学べ、将来の就農のための準備として役立つように、農林水産省の支援で開校しています。東京にある就農準備校本部を含めて、全国に6校開校しています。

(社) 全国農村青少年教育振興会

[就農準備校本部]

〒114-0024

東京都北区西ヶ原1-26-3

電話03-3949-3332 FAX03-3949-3301

日本農業実践学園

〒319-0315

茨城県水戸市内原町1496

電話029-259-2002 FAX029-259-2647

八ヶ岳中央農業実践大学校

〒391-0112

長野県諏訪郡原村17217-118

電話0266-74-2111 FAX0266-74-2382

全国愛農会

〒518-0221

三重県伊賀市別府740

電話0595-52-0108 FAX0595-52-0109

大阪テクノ・ホルティ園芸専門学校

〒584-0021

大阪府富田林市中野町2-518-2

電話0721-24-5147 FAX0721-25-0726

福岡地区職業訓練協会

〒813-0044

福岡県福岡市東区千早5-2-24

電話092-671-6831 FAX092-672-2133

### 就農情報資料

「就農準備校副読本(農業一般、野菜、花き)」  
頒布価格：各冊1部 1,000円  
(消費税込み)、送料別途

#### E-mail塾(入門コース)

全国どこからでも学べる通信講座  
(農業一般、野菜、花き、果樹、有機農業)  
<http://www.ryeda.or.jp/emailjuku/>

#### 農業eラーニング講座(専門コース)

全国どこからでも学べる通信講座

●野菜：①果菜類

●野菜：②葉菜類

●養鶏：平飼い

<http://www.e-nogyo-koza.net/>

#### 新・農業人フェア

東京(6/9、9/15、11/17) 出展

大阪(5/26、12/22) 出展

#### 就農準備校本部

☎ 03(3949)3332 担当/伊丹・藤田

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3

農業技術会館 2階

FAX. 03(3949)3301

URL <http://www.ryeda.or.jp/>

あなたの仕事として農業を考えてみませんか？

はじめの一步、  
応援します。 **就農準備校**

#### [就農準備校コース説明]

※交通費・食事代・宿泊費は実費となります。

■体験コース/日帰り、又は1泊2日で「就農準備校」の実習を体験するコースです。

■入門コース/農業に興味があるが今までに農業の経験がない方のコースです。

■専門コース/今までに農業経験のある方が、本格的に農業を勉強するコースです。

■実践コース/農業を本格的に勉強し、将来就農を希望する方のコースです。

## 全国農業図書

農業体験農園主が  
そっと教える  
**菜園コツの  
コツ**

加藤 義松 著



あなたもおいしい野菜が作れます。

「野菜作りは難しい」という家庭菜園愛好家の声をよく聞きます。野菜作りで「手抜き」「自己流」は失敗のもと。きちんとした手順を踏んで確実に作業する事が失敗しない野菜作りの極意です。

はじめて野菜作りに取り組んだ人でも、野菜作りに失敗せず、おいしい野菜を栽培するポイントと基礎知識、栽培の手順、作業の要諦を紹介しています。

コード番号16-18、新書判・161頁、  
価格700円(税込)、送料実費

## 実践的な農業入門書

はじめよう!  
**有機農業**  
確かなくらしが  
見えてくる

有機農業入門書編集委員会 編



有機農業の実践的入門書

実際に有機農業で新規就農した人、実践的な研究をしている人が書いた有機農業の入門書です。

実践的な畑作・稲作技術、自然農法の雑草対策、アイガモ稲作、自然養鶏のノウハウをまとめています。

新規就農に関するQ&A、収穫物の活用方法、加工方法などもわかりやすくまとめられています。

コード番号11-54、B5判・219頁、  
定価1,800円(税込) 送料実費



# 熊本の緑の豊かな大地で 農業にチャレンジ しませんか。

新・農業人フェア  
東京 (6/9、9/15、11/17) 出展  
大阪 (5/26、12/22) 出展

## 熊本県の 農業は

熊本県では豊かな自然を活かし、多彩な農産物の生産が行われています。

その中でも、い草、トマト、不知火(デコポン)、甘夏みかん、宿根カスミソウの品目は、全国で1位。その他にも、いちご、なす、すいか、くり、メロン、葉タバコ、トルコギキョウ、肉用牛、酪農などの主要な品目の生産量も上位を占め、全国有数の農業県です。

## 新規 就農者へ の支援は

これから農業をはじめようとする方々への支援体制!

熊本県、熊本県農業会議、(財)熊本県農業後継者育成基金、市町村、農業委員会、熊本県内の農業団体等の関係機関が、熊本県内での就農支援のため連携をとって支援しています。

### ① 就農相談

熊本県新規就農相談センター(熊本県農業会議、(財)熊本県農業後継者育成基金)、熊本県各地域振興局農業普及指導課、熊本県内48市町村農政担当課では就農相談窓口を設け、就農に関する色んなご相談・ご質問にお答えしています。

### ② 農業体験・ 農業研修

熊本県立農業大学校の新規就農支援講座(農業経営コース・農業基礎コース)や就農支援セミナー又は就農アドバイザー(農外から就農した農家)の農家において農業に対する体験や研修を受けることができます。

また、研修受け入れを行っているNPO法人阿蘇エコファーマーズセンターや、JA熊本中央会・連合会営農生活センター、熊本県農業法人協会での研修受入、



新規参加者で構成する「くまもと耕畦会」は、先輩としての経験を活かし、就農相談、農業体験、研修生の受け入れ等就農支援を積極的に行っています。

## 無料職業 紹介事業 のご案内

熊本県新規就農相談センター(熊本県農業会議、(財)熊本県農業後継者育成基金)では、熊本県内の農業法人等へ就業を希望される方に対して無料職業紹介事業を行っています。

求人・求職の登録を!!

- 熊本で農業をやりたい方
  - ・将来独立を目指し、農業法人・農家で働きたい方
- 人手が足りない農家・農業法人等も募集しています。
  - ・経営規模拡大で人手がたりない等。

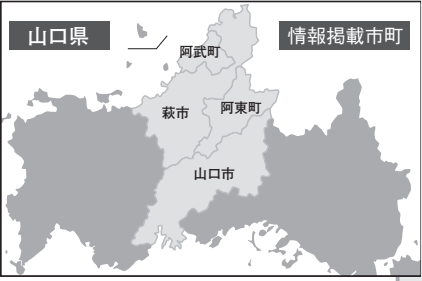
### お問い 合わせ先

#### 【就農相談窓口】

熊本県新規就農相談センター((財)熊本県農業後継者育成基金、熊本県農業会議)  
熊本市水前寺6丁目1番1号県庁8階(農業会議内)

地区就農相談窓口(県内11の農業普及指導課)でも就農支援をしています。

☎ (096) 384-3333  
☎ (096) 384-1111 内線 5829  
FAX (096) 385-1468  
E-mail: 43kikin@nca.or.jp



# 山口県は、意欲的に農林漁業に取り組む方を求めています

## やまぐちの豊かな自然の中で夢を実現しませんか

**新・農業人フェア**  
 東京 (6/9、9/15)、大阪 (5/26、12/22) 出展

### 自ら農業を営むことを希望される方へ

(財) やまぐち農林振興公社では、技術を習得するための研修や資金、農地取得等、さまざまな支援制度について紹介を行っています。

■ **支援1 就農への意思決定から早期の経営安定まで一貫した支援体制が整備されています。**

就農現地で新規就農者と意見交換するバスツアーの開催、先進農家における体験研修農場の設置、営農・生活等の身近な相談者として現地就農アドバイザー等の配置などを行っています。

また、インターネットを活用した「体験・援農支援システム」により、農作業体験等の情報や場の提供を行っています。

HP・・・http://taikennou.y-agreen.or.jp

※ご利用には、事前にシステムの会員登録 (HP上で可、会費無料) が必要となります。

■ **支援2 月額15万円 (上限) の研修費助成制度があります。**  
 農業経営を開始するに当たって、農業経験が無く研修を希望される方

に対して、一定期間の研修費を助成する制度があります。

■ **支援3 無利子・低利の資金が借りられます。**  
 就農支援資金や県単独の新規就農資金など、有利な資金制度があります。

■ **支援4 農地を無償で借りられます。**  
 農地を契約期間の1/2の期間 (5年間を限度)、無償で借りることができる制度があります。

■ **支援5 農業機械・器具のリース制度があります。**  
 研修のための施設・機械や、経営開始に必要な機械・器具のリース制度があります。

※これらの支援を受けるためには、一定の要件を満たす必要があり、また、要件を満たしても、県や市町の予算等の関係で支援を受けられない場合がありますので、ご注意ください。

### 農業法人や林業、漁業への就業を希望される方へ

公社では、山口県農業会議と連携し、農業法人への無料の職業紹介事業に取り組んでいます。

また、林業については山口県森林整備支援センター、漁業については山口県漁業協同組合と連携し、就業を希望される方の相談に応じます。

## お知らせ

### ◎山口県で花き経営を始めたい方を応援します

平成18年4月より、花き振興の総合拠点として、山口県花き振興センターがオープンしました。センターでは、花きの実証展示や研修、情報の収集・提供を行います。現在、県内において花き経営での新規就農に向けて研修を希望される方を募集しています。



#### ■研修方法

専門研修温室を使用して、研修生が主体的に生産から出荷までを行います。

研修品目：カーネーション・キク・草花・球根類、鉢物等

※露地ほ場 (2,000㎡) や新品種等の実証展示施設 (13棟) は見学もできます。

■研修期間 2年以内 ■募集人数 5名以内

■問合せ先 山口県農林総合技術センター農業技術部花き振興センター TEL 0820 (24) 1801

### ◎山口県は他産業に従事されている方や定年後農業を始めたいと考えておられる方 (定年帰農希望者等) も応援します

(財) やまぐち農林振興公社では、定年帰農希望者等を対象として就農相談を受けたり、新規就農者を訪問し、経営状況の見学や意見交換を行う「就農現地見学会」の開催を予定しています。

また、県では、将来農業を職業としたい方や、今までの職業経験を生かして退職を機に本格的に農業に取り組もうとされている方たちを対象に、基礎から農業を勉強するための体験型の研修「やまぐち就農支援塾」を開講しています。

さらに、県下の農業協同組合 (JA) 等では、座学や実践研修で地域の推進作物の栽培技術が習得できる「地域営農塾」を開講しています。



### 萩市 (うち、旧田万川町・旧むつみ村・旧須佐町・旧福栄村)

#### ●農業の概要・特徴

気候は、沿岸部では対馬海流の影響を受け比較的温暖で、中山間部は盆地特有の気候であり、変化に富んだ自然豊かな環境を有しています。主要作物は水稲ですが、野菜ではハウスイモ、ダイコン、キャベツ、タマネギ、トマトの指定産地、キュウリ、ブロッコリー、スイカ、ナス、キュウリ等の認定産地があり、キク、シクラメン等の花き、ナシ、モモ、ブドウ等の果樹産地と、地域条件を活かした産地が数多くあります。

#### ●就農支援の特徴

- ①研修期間中は、研修費の助成制度 (月額15万円、2年以内) があります。
- ②研修生専用住宅のあっせんや、近隣の住宅等の情報提供を行います。
- ③経営を開始するために必要となる農地の確保や施設・機械の導入等についても、県の事業等を活用して、積極的な支援を行っています。

#### ●就農受入れ情報

- ①田万川地区…果樹 (モモ、ナシ、クリ、ブドウ、リンゴ等)

- ・平山台果樹生産組合が指導・支援します。
- ・現在栽培中の果樹園をあっせんします。

#### ②むつみ地区…トマト

- ・山口あぶトマト生産者 (全員エコファーマー) の指導のもと、ほ場を活用しながら実践的な研修を行います。
- ・研修滞在施設があります。
- ・中古ハウスのあっせんもします。

#### ③須佐地区…キク

- ・先進農家のもとで栽培研修 (別途研修費支援有り) 後に、キク専用の花き研修施設で、法人からの指導を受けながら、本格的・実践的な研修を実施します。

#### ④福栄地区…ブドウ

- ・現在1名を募集。要件：50歳未満で、ある程度の自己資金が準備できる方

#### ⑤福栄地区…ブドウ

- ・平原台農業生産組合の農家から指導を受けながら、ブドウの栽培研修を行います。
- ・潜在研修施設があります。
- ・現在栽培中の観光ブドウ園をあっせんします。

等を活用して、積極的な支援を行っています。

- ④現在、チャレンジ農場では、平成17年4月から1名、10月から2名が研修中です。このため、平成19年度からの研修生を募集しています。
- ・原則として、研修開始年度の4月1日において18歳以上50歳未満の方
- ・研修終了後、地徳地域に居住し、専業農家として就農される方
- ・自己資金を500万円以上確保できる方



### 阿武町

#### ●農業の概要・特徴

県の北部に位置し、水稲を中心に野菜、果樹、畜産等の組み合わせによる複合経営が行われ、近年は施設野菜の栽培が盛んになっています。特に、標高が約400mある内陸山間部の福賀地区では、集落を単位とした農業経営の法人化が進んでおり、平成9年から3つの農事組合法人が設立され、地区全体の6割が法人経営となり、地域営農の新たな取り組みとして注目されています。

#### ●就農支援の特徴

- ①作物は、ハウレンソウ、スイカ、ナシが中心で

各作物部会のバックアップ体制のもと、先進農家をトレーナーとして配置しています。

- ②研修期間中に、先進農家・JA・農林事務所からの指導を受けながら、栽培・経営管理技術等を習得後、本格的な栽培に取り組みます。

- ③新規就農者滞在施設があり、研修費の助成や、農地の無償貸付制度を受けることができます。

### 阿東町

#### ●農業の概要・特徴

県の北東部、中国山地の西端に位置し、町域は293km<sup>2</sup>と県内の町のうち最大です。標高も平均300m前後と、夏涼しく、冬の寒さが厳しい高原性の気候を呈しています。農業は、この気候を利用して収穫される阿東米「コシヒカリ」を中心とした水稲の他、西日本一を誇る観光りんご園や、肉用牛の生産が盛んで、近年は夏期の冷涼な気候を活かしたトマト、ハウレンソウ等の施設野菜や施設花きの生産も盛んになっています。

#### ●就農支援の特徴

- ①就業に当たって、十分な本人の意向確認・面

- ②研修期間中に、先進農家・JA・農林事務所からの指導を受けながら、栽培・経営管理技術等を習得後、本格的な栽培に取り組みます。

- ③新規就農者滞在施設があり、研修費の助成や、農地の無償貸付制度を受けることができます。

#### ●就業受入れ情報

- ①嘉年地区に、就業可能な農地があります。
- ②新規就農者滞在施設 (阿東町嘉年上字なめきわ)
  - ・木造瓦葺平屋2DK・2世帯・月額15,750円
  - ・町立嘉年保育園・嘉年小学校まで徒歩4～5分

## 財団法人やまぐち農林振興公社

〒753-0083 山口市後河原150-1 (県分庁舎2階)  
 TEL: 083 (924) 8900 FAX: 083 (924) 5719  
 Mail: yashuno@y-agreen.or.jp URL: http://www.y-agreen.or.jp

### 農林漁業・農山漁村での就業・定住、お手伝いしています

(財) やまぐち農林振興公社 定住就業企画推進協議会





# 負けん気と 人一倍の努力で歩む 「海の男」への道

山口県長門市 山口県漁業協同組合川尻支店所属  
松岡 健史さん

「本物の海の男になりたい」

漁師への強いあこがれを胸に、兵庫の都会育ち、23歳のサーファーは日本海沿いの漁師町に飛び込んだ。それから6年。「まだ半人前」とはいうものの、松岡健史さん(29歳)は立派に自分の船を持ち、結婚して子どももできた。地域に根を張り、息子と漁に出る日を夢見ている。

## 研修1年目に漁船を購入

サーファーの実兄、寺戸寛史さん(34歳)が漁業のアルバイトをしながらカフェや海の家を経営していたのが縁で、松岡さんは長門市油谷川尻にやってきた。

目的は一つ、漁師になること。「正社員だったガス配管工の仕事を辞めて、とにかく来てしまった」という松岡さんに、運よく漁業研修の話が舞い込んだ。漁協と県、市町が一体となって進める「ニューフィッシャー確保育成推進事業」だ。漁業指導士のもとで2年間研修して自立を目指すというもので、研修期間中は月15万円と住宅の支援がある。

「15万円が出るうちに自立の基礎を作らんといかん」と考えた松岡さん。研修1年目に借金をして中古船を買い、師匠の船に乗って見習うだけでなく、苦い失敗を繰り返しながら体で覚える、より厳しい研修を自らに課した。

「毎日本当につらかったけどがんばれたのは、もともと負けん気強いのと、『辞めたら帰るしかない、絶対に引き返せない』と思いつけたことかな」と、松岡さんは最初の数年を振り返る。

## 腕を磨いて次の目標はクロマグロ漁

松岡さんを「タケちゃん」と呼び母親のように見守る、漁協川尻支店長の中村加奈江さんは「漁師は気難しいとこ



ろがあって、農村よりも溶け込むのが難しいと思います。タケちゃんは相当な苦勞と努力をしていますよ。本当に偉いです」と感心しきりに語る。松岡さんのあとに二人研修生を受け入れたが、いずれも研修半ばで挫折したという。

漁の主な魚種は4~5種類のイカと地の魚。「一本釣り漁師として一人前になるには、あと10年かかるかな」と松岡さん。次の目標は腕を磨いてクロマグロ漁に挑戦することだ。「格闘って感じでしょう」と語る目が輝く。

漁業のやりがい、自分の腕と運次第でサラリーマンの月収分を1日で稼いでしまうことだという。しかし売値が安いこともあるし、捕れないときは落ち込む。「他人には勧められないです」といいながら、生後5カ月の建晋君と将来一緒に船に乗るのがいちばんの大きな夢と語る。

### 山口県の支援事業

山口県では、①募集、②研修、③着業、④定着の各ステップに応じた新規就業者確保の支援事業を行っている。具体的には次のような内容だ。「①募集」は相談窓口の設置と受け入れ体制の整備、短期研修の開催など。「②研修」は着業を前提とした2年以内の長期研修で、月最大15万円の支援がある。「③着業」は漁船など基盤整備のリースに対する補助で額も大きい。「④定着」は自治体が希望者にあっせんする空き家住宅の修繕費補助。

なお、問い合わせは、山口県水産振興課経営普及班(電話083・933・3546)、山口県漁協内「山口県漁業就業者確保育成センター」(電話0832・31・2212)まで。

## 藤田植物園

### 募集情報

募集人数▶2008年新卒の方、若干名  
募集職種▶幹部候補生、生産、営業  
応募資格▶まじめ、一生懸命、研究心のある方。  
とにかく3年間やりとげられる方  
給与▶15万円以上  
待遇▶厚年給、雇用保険、労災  
勤務時間▶8:00~17:00(実働8時間程度)  
休日休暇▶毎週日曜、冬期・夏期休暇  
勤務地▶本社 大阪府八尾市京都農場 京都府  
相良郡南山城村童仙房

### 会社情報

設立▶1964年6月  
従業員数▶15名  
売上高▶3億円(平成18年度)  
事業内容▶代表取締役 藤田善富  
花きの種苗生産及び販売、輸入卸  
会社の紹介▶主な取引先である大手種苗メーカ  
ー、ガーデンセンター、売店へ種苗、鉢花を供給  
しています。

### 暮らし情報

八尾本社は街中です。京都農場は山中で近隣より  
通勤。

### 応募情報

研修生歓迎です。詳しい内容はお問い合わせくだ  
さい。

### 新・農業人フェア 大阪(5/26) 出展

☎ 072 (949) 4718  
担当/専務 藤田善敬

〒581-0037 大阪府八尾市太田6-302  
FAX. 072 (920) 2085  
URL <http://www.nursery-garden.com>  
E-mail: yoshinori@nursery-garden.com

当社は「童仙房ナーセリー&ガーデ  
ン」と日本ハイドラランジャーブリー  
ダース協会」という2つのブランド  
を柱に、種苗・鉢物を提供、提案す  
る花文化創造企業です。

# 花文化の創造



## (有) チャイルドフラワー

### 募集情報

募集人数▶2~3名  
募集職種▶生産管理部門及び在庫管理、入出庫  
管理者  
仕事内容▶花苗の生産、在庫、入出庫の管理  
応募資格▶要普通自動車免許。概ね35歳までの  
男女。トラックの運転できる方歓迎  
給与▶月給195,000円(試用期間3か月)  
待遇▶厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保  
険加入。賞与年2回。事前研修、試用期間中は寮  
が利用できます。  
勤務時間▶基本7:30~17:00まで(休憩1時  
間半)。気候や植物の成長状況により変動  
休日休暇▶週1日(農閑期は週休2日あり)。年末  
年始、お盆、夏休み各1週間程度  
勤務地▶下記農場のいずれかに配属  
本 場：千葉県千葉市緑区平山町1048  
八街農場：本場から車で20分  
第2農場：本場から車で5分

### 会社情報

設立▶1994年  
資本金▶1,000万円  
従業員数▶37人

事業内容▶代表取締役 横田剛  
主に草花4株連結カットバック苗を大量・安定  
生産し、全国のホームセンターへ出荷・販売して  
いる農業法人です。売上高2億2千万円。

### 暮らし情報

車で10分ほどの所に新興住宅街があり、ス  
ーパー、レストラン、大型量販店も近くにありま  
す。

### 応募情報

応募方法▶問い合わせ大歓迎。電話かメールで  
連絡ください。新卒の場合、第1次締め切り6  
月末、7月に面接を行います。

### 新・農業人フェア 東京(6/9) 出展

### 問い合わせ先

☎ 043 (291) 1299  
担当/佐保、青木

〒266-0002 千葉県緑区平山町1048番地  
FAX. 043 (226) 9419  
URL <http://www.child-farm.com/>  
E-mail [childflower@child-farm.com](mailto:childflower@child-farm.com)



花の子供たち  
「チャイルドフラワー」  
心をこめて  
栽培しています。

低迷している園芸業界ですが、  
チャンスはたくさん転がっています。  
私たちと一緒にチャレンジしませんか!!  
冒険心のある方、リーダーシップの取れる方  
お待ちしております。

## 全国新規就農相談センター

# 農業を仕事にするための総合イベント 新・農業人フェア'07

開催時間 10:30~16:00 [全会場共通]

### ●東京会場

6/9(土)、9/15(土): 池袋サンシャインシティ・ワールドインポートマート A2、A3ホール  
11/17(土): 東京しごとセンター

### ●大阪会場

5/26(土): 梅田スカイビル・タワーウエスト 10F梅田アウラホール  
12/22(土): OMMビル2F展示ホールA、B

※会場の案内図は32頁に掲載

### ●農業法人等合同会社説明会

農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集し  
ている経営者と面談できるブースを設置します。

### ●新規就農セミナー

新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農  
業法人就職者による事例発表などを行います。

### ●新規就農相談会

受け入れ希望都道府県・市町村ごとのブースなどを設  
置し、農業を始めるための個別相談に応じます。

### ●農業インターンシップ

農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のた  
めのブースを設置し、相談に応じます。

### ●田舎暮らし相談会

田舎暮らしを希望する人のためのブースを設置し、相談に  
応じます。

### ●チャレンジ!ファームスクール

合宿形式による農作業実習の概要について説明しま  
す。

●入場無料 ●入退場自由 ●服装自由 ●履歴書不要 ●家族・友人連れ歓迎

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

お問い合わせ/全国新規就農相談センター

☎ 03 (3507) 3088



平成19年度にいがた農林業

# ちょっと体験研修 参加者募集中

新潟県で、新たに農林業を始めたいと考えている皆さんを対象に、  
ファームステイを中心として、  
新潟県の農林業の実態や農村生活などを体験し、  
手がかりを得ていただくためのちょっとした体験研修です。

### 募集情報

期日▶【農業コース】  
平成19年6月28日(木)～6月30日(土)  
【林業コース】  
平成19年7月18日(水)～7月20日(金)  
研修コース▶農業(稲作部門、園芸部門、畜産部門)と林業のコース  
募集人数▶農業コース20人、林業コース10人程度  
対象者▶農林業に魅力を感じ、新潟県で農林業に従事しようと考えている概ね20歳以上45歳以下の方  
参加費▶5,000円

### 日程

- 集合/◆農業コース：新潟駅前  
◆林業コース：新潟県森林研究所(朝日村)
- ガイダンス(新潟県農林業の概要、就農、就業などについて説明します。)
- 施設見学(農業大学校、または森林研究所の施設、及び農場などを見学)
- 交流会(新規就農者、関係者を変えて交流会を行います。)
- 農林業体験研修(ファームステイ)  
コース・部門別に新潟県内の農家・林業施設等で農林作業や暮らしを体験します。...
- 朝食後、各受け入れ農家等を出発
- 意見交換、就職ガイダンス後解散。  
就職ガイダンスでは農業法人合同求人説明会へ参加を予定しています。

### 申し込み及びお問い合わせ先

社団法人新潟県農林公社  
〒950-0965  
新潟県新潟市新光町15-2 県公社ビル  
E-mail : ikusei@niigata-inet.or.jp  
URL : http://www.n-naic.com/

### ●青年農業者等育成センター

TEL. 025 (281) 3480  
FAX. 025 (281) 3481  
(担当：高橋)

### ●林業労働力確保支援センター

TEL. 025 (285) 7711  
FAX. 025 (285) 5070  
(担当：鈴木)

新・農業者フェア  
東京会場(6/9) 出展

### 研修生募集情報

研修内容▶有機野菜の栽培技術習得  
応募資格▶①20歳以上55歳までの方  
②農業教育施設等で農業の基礎を習得した方  
③健康保険に加入している方  
④研修中の生活が可能な自己資金を有する方

資本金▶300万円  
将来ビジョン▶成田国際空港株式会社と協力し、空港周辺の農地の活用を図り、地域農業の発展及び自然環境の保全に貢献していきます。  
研修生受入人数▶5名程度

### 暮らし情報

芝山鉄道芝山千代田駅より、車で3分。周辺にアパートがあります。

### 応募情報

☎ 0476 (34) 5946・5630  
担当/成田国際空港株式会社 植木・宮村

下記HPを確認の上ご連絡下さい。

〒289-1601  
千葉県山武郡芝山町香山新田45番地4  
URL : http://www.naa.jp/jp/agriculture/index.html

研修場所▶千葉県山武郡芝山町荻田地区  
研修時間▶08：30～17：00  
休日休暇▶原則週1日(雨天時休み有)  
研修期間▶1年間(原則)

研修条件▶①農機具：農機一式を用意  
②資材：種、堆肥等必要資材を用意  
③費用：研修費及び農地、資材等にかかる費用については無料  
待遇▶①給与・住居の支給はありません  
②傷害保険加入

### 会社情報

設立▶2005年

### 新・農業者フェア

東京会場(6/9、9/15) 出展



成田空港の農地で  
有機農業を  
学びませんか!

有機農業を実践する地元農業者など  
農業のプロ達が、有機農業技術を習得したい  
あなたを待っています。  
空を飛ぶ航空機の真下で  
有機農業を学んでみませんか!

## 全国農業図書

### 新規就農

# ガイドブック

—自治体等の受入支援情報付—

全国新規就農相談センター 編



## 新規就農の入門書

## 市町村の受け入れ支援事業を追録

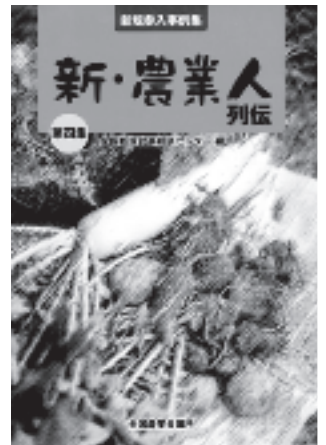
「農業をやりたい」「農業法人に就職したい」という夢を実現するための必要なことを中心に、新規就農した先輩たちの事例、各種制度、相談窓口や都道府県・市町村の受け入れ支援事業などをまとめた最新版です。

今回の改訂では、都道府県・市町村の受け入れ支援事業の一覧を更新したほか、コラム「知っておきたい保険・税・移住の手続き」を加えました。

コード番号：18-51、A5判・240頁、  
定価1,200円(税込)、送料実費

## 新・農業人 列伝 第四集 新規参入事例集

全国新規就農相談センター 編  
コード番号18-34、A5判、95頁  
定価700円(税込)、送料実費



## 新・農業人の奮闘記を綴った就農マニュアル

本書では、29人の新規就農者の就農の動機、農地や技術の習得、資金や住宅の確保など、就農するための取り組みを掲載。自分の体験をもとにした就農希望者へのアドバイスなどを余すところなく紹介しています。

農業を始めるにあたって、また、始めた後にぶつかった問題を、どう乗り越えていったのか、それぞれの経験が語られています。

### 新・農業人列伝 第参集

—新規参入事例集— 全国新規就農相談センター 編  
コード番号17-47、A5判、162頁、定価1,000円(税込)、送料実費

絶賛発売中!!

## 富良野地方サマーフェスティバル実行委員会

# 2泊3日の 出合いのツアー 北海道 富良野地方の青年と交流する 「サマーフェスティバル」開催

北海道の観光地としてスッカリ知名度上げた富良野地方は、農産物のデパートと言われるくらい新鮮な野菜が食べられます。また香り豊かなラベンダーにつつまれながら、テレビドラマで有名な「北の国から」のロケ地を素敵な彼と散策できるサマーフェスティバルは今年で28回を数えます。7月7日(土)～9日(月)温泉に浸かり観光地を巡り充実した3日間のパカンスを楽しんじゃおう!道内外から大勢の花嫁さんを迎え地域に根を下ろしています。お便りお待ちしております。



### ツアー要領

**日程▶7月7日(土)～9日(月)**  
**1日目(7/7):**JR旭川駅(11:15)集合、係員が出迎える。道外からの参加の場合、羽田空港9:30集合、出発10:40、旭川空港到着12:15、大型バス乗車、美瑛町へ昼食、パッチワークの丘・写真家 前田真三さんの「拓真館」見学、バターづくりに挑戦、ハイランドふらので交流・交歓会・宿泊。  
**2日目(7/8):**ファーム富田・日本画家 後藤純男さん 美術館見学、大型農業機械試乗体験、野外バーベキューで昼食、記念写真、パークゴルフ又はボーリング大会 (景品用意)、テレビドラマ「北の国から」ロケ地見学、白金温泉入浴、交流・交歓会・宿泊。  
**3日目(7/9):**早朝散歩、旭山動物園自由散策(昼食)、旭川駅解散・旭川空港 14:20頃出発(コース及びイベントの内容は、天候等の都合で変更する場合があります)

### 応募要領

**参加資格▶**22歳以上35歳までの未婚女性で、将来富良野地方の青年と結婚してもいいと考えている  
**募集人数▶**20名(最小催行人員15名)

**参加費▶**JJA旭川駅または旭川空港から参加の場合5,000円、東京・羽田空港からの参加の場合30,000円  
**参加費内訳▶**航空券・バス代(損害保険料込み)宿泊費・食事代など、集合場所までの諸経費は自己負担(道内の参加者は旭川駅・旭川空港、道外の参加者は東京・羽田空港までの交通費など)  
**公募方法▶**ハガキまたはEメール・FAXで郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し応募先▶〒076-8555富良野市弥生町1番1号 富良野市農業委員会内「富良野地方サマーフェスティバル実行委員会C」宛

TEL...0167(39)2323  
 FAX...0167(23)2122  
 Eメール...agri@furano.ne.jp

**締め切り▶**平成19年5月30日(水) 必着  
 申込者には参加に必要な書類が届くので、必要事項を記入の上、返送を。多数の場合参加者を実行委員会で選考  
**企画主催▶**富良野地方アグリパートナー協議会  
**「富良野地方サマーフェスティバル実行委員会」**  
**旅行主催▶**(株)農協観光

## 高知県立農業大学校 研修課「窪川アグリ体験塾」

	高知県新いなかビジネススクール	就農希望者長期研修
内容	新いなかビジネススクールは、「農業にチャレンジしてみたい」「農業の勉強をしたい」という就農を希望する方のために、高知県が実施しています。新たに農業を始めるために必要な知識・技術をインターネットで学ぶことができます。卒業要件には、現地スクーリング(農作業体験研修・先進農家視察等一回15名まで)への参加が必要です。	1・Uターン就農を目指す方に、宿泊しながら自主的に学べる好評のメニューです。目的や希望(施設野菜・水稲・果樹他・農業機械等)に応じて、主体的に研修できます。栽培実習を中心に、農業大学校(いの町)での聴講、先進農家や農業技術センターでも研修できます。新たに、熟年コースも設けました。お気軽にご相談ください。
定員	50名	20名程度
受講料	受講料:無料 スクーリング参加費:1日480円	研修費:1日480円 食事代:朝食200円、昼食400円、夕食400円
期間・日程 回数	今後のスクーリング日程: 2007年 5/23(水)~25(金)、8/23(木)~25(土) 9/27(木)~29(土)、11/30(金)~12/2(日) 2008年 1/25(金)~27(日)、3/13(木)~15(土)	研修期間:3ヶ月コース 6ヶ月コース 12ヶ月コース ※要面接。
URL	<a href="http://www.pref.kochi.jp/nousei/newinaka/">http://www.pref.kochi.jp/nousei/newinaka/</a>	<a href="http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/agri/index.html">http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/agri/index.html</a>

長期研修生、  
新いなかビジネススクール受講生

平成19年度生募集中!!



ビジネススクール校長(橋本高知県知事)を囲んでの記念写真

## 高知県立農業大学校 研修課

☎ 0880(24)0007 担当/川瀬、松下  
 〒786-0042 高知県四万十町黒石665  
 FAX. 0880(24)1272

### 新・農業人フェア

東京(6/9、9/15、11/17) 出展  
 大阪(5/26、12/22) 出展

## 全国農業図書

# 日本農業の 実際知識

元農林水産省農政部長  
羽多 實 著



## 日本農業に対する誤解を解く好著

日本の農業・農政に対する誤解が多々あります。例えば、「日本農業は過保護だから効率化されない。保護を止めれば効率化する」「日本の農業は全体として小さい農家が効率の悪い農業をやっている」などです。

筆者は、日本農業を理解する鍵は、多様に分化しながら変化しつつある農家の姿＝「農家の分化」という実態を理解することであり、「農家を平均で見ているはほとんど何も理解できない」と主張します。

コード番号17-42、新書判・155頁、  
定価800円(税込)、送料実費

## 農業の理解に役立つ書籍

## 新規就農に 役立つ一冊!

全国新規就農相談センター 編



## 新・農業人の奮闘記をもとにした 就農マニュアル

各地でがんばっている新規参入者それぞれの農業への思い、就農前から現在に至るまでの取り組みをまとめたもの。農業を始めるにあたって、また、始めた後にぶつかった問題を、どう乗り越えていったのか、その経験が語られています。

29人のそれぞれの経営概要と経営の発展過程、就農の動機、農地や技術の習得・資金や住宅の確保など就農するための取り組み、自分の体験をもとにした就農希望者へのアドバイス、作付体系などがまとめられています。

コード番号17-47、A5判・162頁、定価1,000円(税込)、送料実費





# 馬産地だより

「これからが一番忙しいシーズンです」  
とにこやかに話す佐藤俊文さん（28歳）。  
北海道浦河町の牧場でサラブレットの  
生産・育成の仕事をしている。

佐藤さんが働く浦河町の(有)地興牧場・  
(有)丸幸小林牧場を訪れたのは3月の中  
旬。折しもこの冬2度目という寒波が来  
襲して猛吹雪。馬の蹄鉄の打ち替えのた  
め、浦河町内にあるJRA日高育成牧場  
から戻ったところで話を聞いた。

佐藤さんは宮城県丸森町の出身。高校  
時代からサラブレットに魅せられ、夏休  
みを利用しては、浦河町の牧場で寝泊ま  
りしながら牧場の仕事を手伝ってきた。

同級生の多数が地元に残るなか、卒業  
と同時に牧場に就職。今年で10年になる。

「10年といってもまだまだです。馬の  
ことは死ぬまで勉強がこの世界の基本で  
す」。サラブレットは競馬にデビューす  
ることが、まず第一関門。このため「強  
い馬づくり」には、生産・育成の一貫し  
た対応が必要だ。毎日の体調チェックで  
は、馬の体調異変をいかに察知できるか、  
が求められる。育成段階では、馬の性格、  
気性を理解することが重要となる。馬も  
人と同様に一頭、一頭、性格が異なる。  
とりわけ「牝馬は難しいですね」と独身  
の佐藤さんは笑いながら話す。

毎日の体調チェックでは、例えばよく  
ある症例として、馬の腹痛のことを「疝  
痛」と言うが、一般的に馬は疝痛になる  
と厩舎内で前脚を何度もかき込むとい  
う。「腹が痛いよ」と人に知らせるため  
の仕草だという。こうしたことをいち早

く察知することはもちろんだが、獣医の  
診断による疝痛の原因を確認して、未然  
に防ぐための知識や工夫も必要になる。

そんな佐藤さんの一日のスケジュール  
は、朝4時起床。夜10時就寝で、その間  
食事を除いてはほぼ一日中、馬の世話をす  
る。飼葉は1日3回与え、放牧・馬房の  
掃除、検温や馬体のブラッシングなどの  
体調チェック、馬の状況を見ながら作業  
は続く。育成馬には乗運動やマシンによ  
るトレーニングなどがある。出産シーズ  
ンとなると、睡眠もままならなくなるの  
が実情で、やはり体力勝負といったところ。  
このためか、一頃のような牧場で働  
きたいという若者が減ってきている。

浦河町農業委員会の高松事務局長は  
「浦河町のサラブレット牧場は昨年段階  
で158戸。バブル全盛の頃から比較  
すると毎年サラブレット牧場は減少して  
いるのが現状。昔は牧場で働きたいとい  
う若者が毎年たくさんいたが、今はそん  
なになくなった」と語る。

昨年の皐月賞・日本ダービーの2冠を  
制したメイショウサムソンは浦河町で生  
産された。佐藤さんにこれからの夢を聞  
いてみたところ、「やっぱり自分が世話  
した馬がデビューして勝つとうれしい。  
大きなレースを狙えるようになればなお  
さらです」と目を輝かせた。

馬産地、浦河町は出産のシーズン。厳  
しい勝負の世界に生きる馬がまた一頭生  
まれてくる。佐藤さんの仕事も睡眠不足  
とともに忙しさが増してくる。



(有)地興牧場・(有)丸幸小林牧場  
北海道浦河町 佐藤 俊文さん



4月 8日	桜花賞・阪神競馬場	5月 20日	オークス・東京競馬場
4月 15日	皐月賞・中山競馬場	5月 27日	日本ダービー・東京競馬場
4月 29日	天皇賞(春)・京都競馬場	6月 3日	安田記念・東京競馬場
5月 6日	NHKマイルカップ・東京競馬場	6月 24日	宝塚記念・阪神競馬場
5月 13日	ヴィクトリアマイル・東京競馬場		

協力：日本中央競馬会



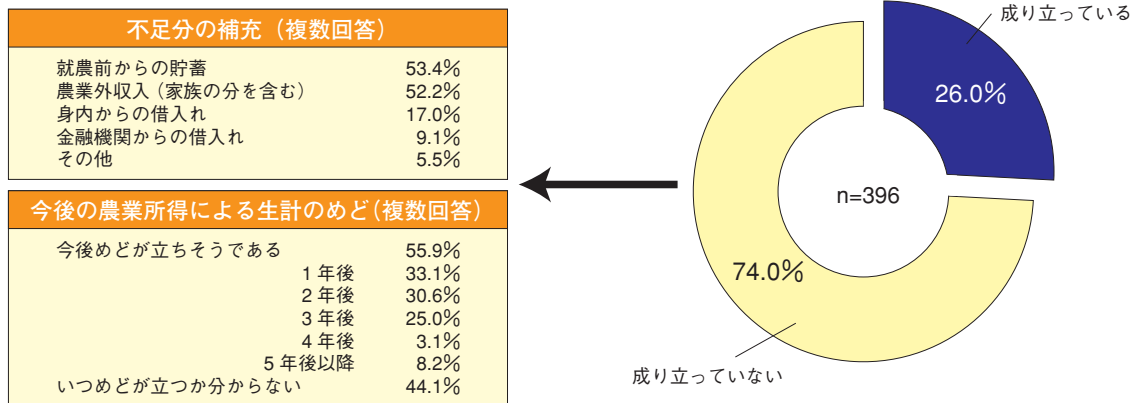
# 生計の成り立ちから見る新規就農

農業を仕事にと考える人にとって就農後の生計の問題は、とても気になるところです。全国農業会議所が行った新規就農者へのアンケート調査結果（平成 13 年度実施・回答 413 人）から就農後の生計の実態を紹介します。

農業所得で生計が「成り立っている」と回答した人は 26%です。

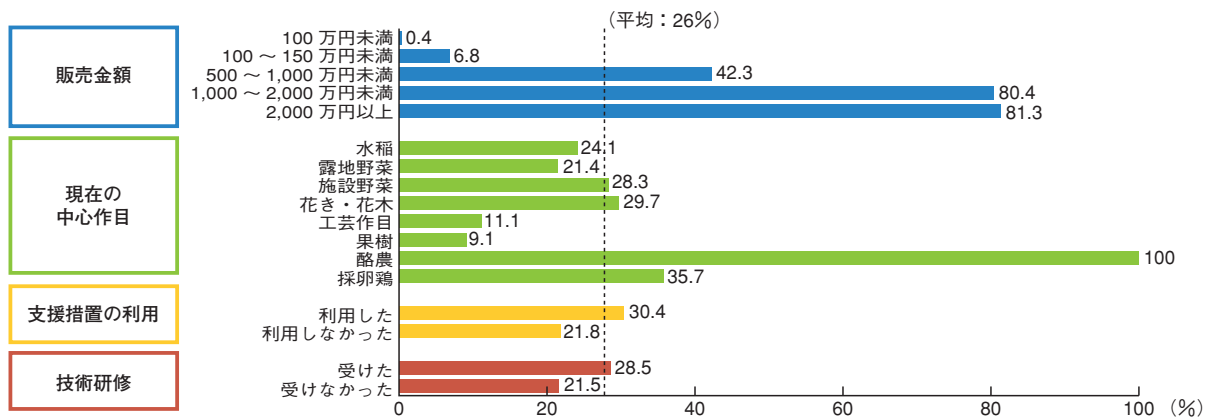
「成り立っていない」とした人のうち、「今後めどが立ちそうである」とした人は 56%で、めどが立つのは平均で 2.3 年後となっています。

図表 1 農業所得による生計の成り立ち



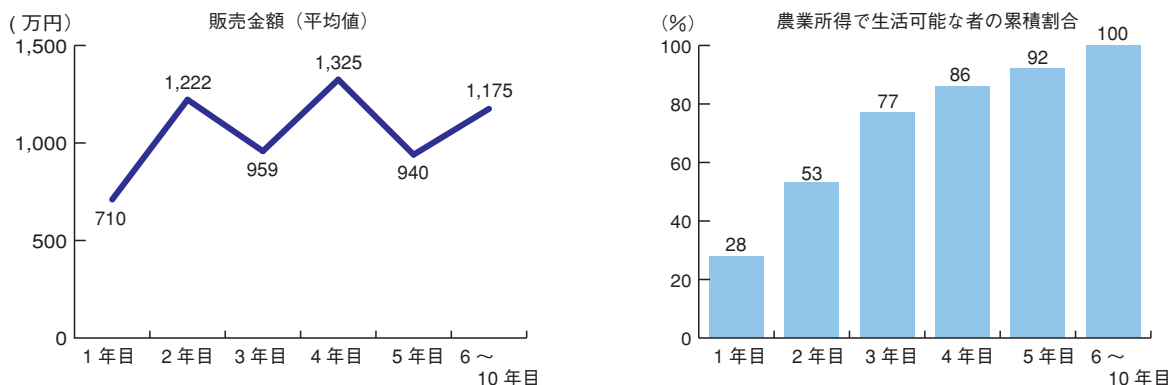
次に生計が成り立っている人を農業所得で見ると、販売額が 1,000 万円以上になると 80% 以上の方が成り立つと答えています。また、作目別に見ると酪農が飛びぬけて高く、100% の人が生計が成り立つとしています。

図表 2 農業所得で生計が成り立っている者の割合



そして、農業所得により生計が成り立っている人の生計が成り立った時期の累積割合を見ると、3 年目が 8 割、5 年目で 9 割になっています。そのときの販売金額（平均）は、1,000 万円程度の水準になっています。

図表 3 就農経過年ごとに見た農業所得で生活可能になった者の累積割合とそのときの販売金額の平均値





# 脱サラでぶどう園経営 夫婦で年間労働 3000時間 時給3000円を実現

宮崎県綾町 杉山 経昌さん  
つねまさ

## もう企業戦士は嫌だ

「もう企業戦士で命をすり減らしてポツクリ死ぬのは嫌だ。悠々自適のお百姓さんをやりたい」——そういって、杉山 経昌さん(68歳)一家は1990年2月、千葉県から宮崎県綾町に移り住んだ。

杉山さんは、外資系半導体メーカーの営業マンだった。「給料の80%はどれだけストレスに耐えているかで支払われていた」というほどのストレス生活だった。「資源も使い捨て。人間も使い捨て」そこで、冒頭のような言葉になる。自然環境を守りながら、自然環境のなかで仕事をやる。

「地球を壊さない——そんなお百姓さんになろう」

これが、杉山さんが農業を始めた理由である。以来17年、ストレスとは無縁の楽しい農業・農村生活を送っている。

## 週休4日を実現した

「葡萄園スギヤマ」は、ブドウ・モモ

等1鈴、畑30<sup>ア</sup>。

観光ぶどう園である。ブドウ(品種ブラック・オリンピアほか)のもぎとり体験と直売が経営の核。7月末から8月末までの約1カ月の開園期間に、年間の売り上げのほとんどを稼ぐ。モモは9品種を22本栽培。つまり、うまく収穫期をずらしてモモの実をならせて、お客さんへ呼ぶプラス・アルファの商品にしている。トウモロコシも同様である。

夫婦二人の年間労働時間は3000時間。一人1500時間は、年間にならば週休4日になる計算である。

農業を始めたころの労働時間は、二人で6000時間を超えた。たとえば、園内の草とり。腰をかがめて二人で草をむしって、ひと渡り園のなかを終わると、最初にもむしった場所は草がもう生えている。これでは、何時間あっても足りない。ブドウの木を仕立てを、樹間を広くして、1本の木から枝を長くのばし、空間を広げた。草は、乗用モア(草刈り機)で「刈る」。これだと、果樹園1鈴の除草

が1日で終わる。

土壌中の水分やPHは、測定器で測り、自動かん水の装置を付けたり、元肥を抑える工夫をしたりしている。

電話は、園内や住まいの何カ所にもある子器で受けられる。

圧巻は、地下室。応接小屋ともいえるコムシャック(交流小屋)の地下に室をつくり、小麦やソバなどの保管・貯蔵に使っている。低温貯蔵庫とちがって、もちろん、電気代はいらない。

科学的なコスト低減。考え方の基本は、土地生産性でなく、労働生産性を追求するという姿勢がある。週休4日、時給3000円(うち収益2000円)以上の農業という考え方である。

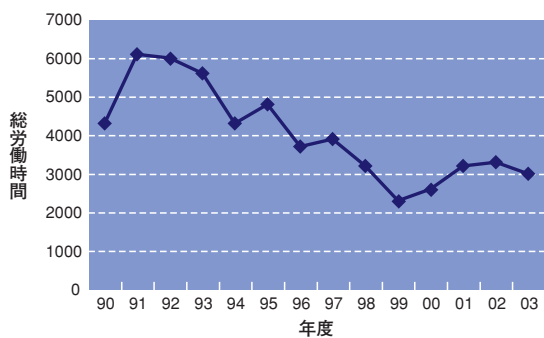
## 農村生活という楽しさ

観光農園の開園期間が終わると、秋から春までは充電・次への投資の期間だ。閉園すると、ブドウのせん定を済ませ、杉山さん夫婦は視察を兼ねた旅行に出かける。

「応接スペースを兼ねたコムシャックには、近くから仲間たちが、ときに遠くから友人・知人たちが集まる。ベジタブルパーティーの始まりだ。とくにカバシコ(もち系の香り米)の「チマキ・パーティー」は好評だとか。

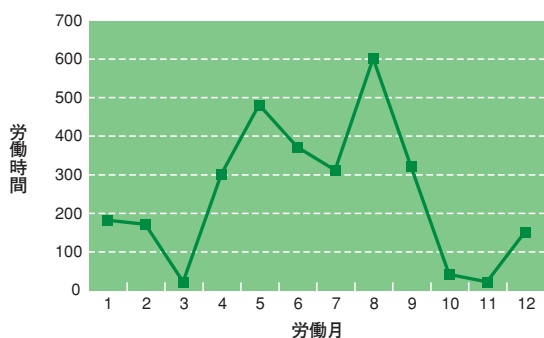
コムシャックの隅にハーモニカが置いてあった。聞けば、奥さんたちが開く「読み聞かせの会」に杉山さんたちも参加して、音楽を演奏するのだという。豊かなゆとりの農村暮らしがある。

年間総労働時間の推移をみよう



年間労働時間は夫婦二人の合計で、作物を栽培している時間(趣味などの園芸はのぞく)。就農初年度は2月後半から始めたため、新生活を始めるにあたっての環境整備のため少ない。

月別の労働時間はどうなっているか



観光農園開園中の8月が最大で、秋から春の半年はじゅうぶん時間がある。





漁業



# 自然のなかに魚を増やす

## 人口的にふ化させ放流

サケは、朝食や弁当のおかずとしてなじみの魚ですね。サケは、川で生まれ、海を回遊しながら大きく育ち、また川に戻って産卵することから、遡河性(さつかせい) 回遊魚と呼ばれています。

今のようにサケが一般的に食べられるようになったのは、サケの性質を利用して人工的にふ化させ、放流によってサケを増やしてきたことによります。人工的に育てた魚や貝を海や川に放すことを種苗放流といいます。卵から稚魚になるまでは、自然のなかで生き残る力が弱いので、そこを人の力で助けているのです。種苗放流が行われるまでは天然の魚を

捕るだけでしたので、乱獲によって魚が減少してしまいました。このため、サケを人工的にふ化させて河川に放流することが、100年くらい前から行われるようになりましたが、初めのころは放流した稚魚は大きくなる前に死んでしまい、ほとんど戻ってきませんでした。戻ってくる

魚の割合を上げるために、魚の育て方や放流の仕方を研究し、現在では放流した稚魚の3割くらいが戻ってくるようになりました。数で表すと、日本では20億尾が放流され、6千万尾もの人工生産されたサケが戻ってきていることになりました。

## 今は100種類で研究中

ところで、サケのほかにも、マダイ、

ホタテガイ、クルマエビなどが人工ふ化・放流され、天然の魚や貝などが減らないように人が手助けしており、現在では、100種類が研究されています。魚や貝などの性質や育て方は、種類によって違うため、それぞれの性質にあった育て方や放流の仕方が日々研究されています。

最近の研究では、ヒラメ稚魚に貝、エビ、カニなどに多く含まれているタウリン(血液のコレステロールを下げたり、肝臓の働きを助けたりする役割をもっています)という栄養素を与えると動きが素早くなり、ほかの魚に食べられにくくなるのではないかとということもわかってきています。このほかにも、どのくらいのおおきさの魚をいつ頃、どういう場所に放流すれば一番生き残るかといったようなことも研究されています。

このように、人々は海の恵みである魚介類をこれまでのように捕るだけでなく、増やす技術によって海の幸を守り、育てているのです。



Presented by  
**全国農業新聞**

2007年2月2日号掲載記事

就農希望者に役立つ情報満載  
詳しくは裏表紙裏をご覧ください

文・農林水産省農林水産技術会議事務局  
絵・荻原由紀

# 暮らしし、働くなから 見えてきた夢の形

佐賀県佐賀市 富士大和森林組合 永峯 貴志さん

平城 隆一さん

夢は「クワガタ園」OPEN!

「富士大和森林組合には『クワガタ君』と呼ばれているUターンの人がいてクワガタの話をして止まらないんですよ」

とは、全国森林組合連合会が各地の森林組合を舞台に主催する「林業見学・交流ツアー」の取り仕切り会社でマネージャーを務める人からの話だ。

同組合事業課長の勝山正弘さんにその話をする、笑いながらうなずき「私なんて面接で1時間もクワガタの話聞かされたんですよ！ こっちが質問する側なのに」

そんな話をしながら到着した現場は、木材を運び出す道路を整備しているところだった。作業の一団から一人、白いタオルを巻いた頭をなでながら近づいてきた人がいた。クワガタ君こと、永峯貴志さん（32歳）だ。

東京のIT企業で3年ほどプログラマーをしていたが、父が倒れ、地元、北九州に戻った。ほどなくして昔趣味だった昆虫採集を始めた「はまってしまった」



数百匹のクワガタと山の一軒家で暮らす永峯さん



組合の直売所「こだまの里」で販売されている永峯さんのクワガタ



「間伐材を利用したプランターづくり」は勝山さん自ら子どもたちに指導

という。そんなときに母から「新聞広告で見た」と、先ほどのツアーのことを知らされた。

「こういった仕事なら、クワガタの近くで暮らせるかもしれない」

ツアー参加がきっかけとなり、組合で職員募集の際、連絡があった。面接での様子は前述のとおりだ。

後で勝山さんに「採用の決め手は？」と、聞くと「強い動機がある人は、辞めないから」とのこと。納得の回答だった。

就業から2年。永峯さんにはいま、夢がある。循環型の「クワガタ園」を開こうというのだ。クヌギの苗等を育てながらクワガタを売る。シーズンオフはキノコを売る。アイデアは尽きない。

趣味のクワガタ、森の仕事、山での暮らし。そのなかから見えてきた「夢」。照れながら語るその表情は輝いていた。

## 夢は森の代弁者

平城隆一さんは、とつとつと思いを語るところが印象的な53歳。森の縁まで歩いてきたとき「座りましょうか」とうながされ、車座になった。

前職を聞くと、下を向いて「まあ、いろいろですよ」と、ニヤリと笑う。「最初はいわゆるファッションコーディネーター。服の販売ですね。その次は美容師か。直近は、造園を10年くらいかな」と教えてくれた。森林の仕事に就いたのは環境への興味からだという。

「でも、若い人への仕事を勧める自信はないなあ。来てほしいのはやまやまだけど給料が安いからなあ。経済的な側面



以外に価値観を見出さないと。私の三人の子どもは、一人は今年大学卒業で一人は新年度から留学。育英資金などでなんとかやっています。だからこの仕事に転職できたともいえます。子育て中だったらとても：」

林業が抱える問題は、国政レベルで考えていかなければと説く平城さん。

「林業はいま、木材を供給するという使命だけでなく、環境への貢献でも注目されているでしょう。これは本来、国が担うようなことです。なのに、森の仕事をする人間があまりにも軽んじられている。フォレストというたら、北欧では消防士と並んで子どもたちが憧れる職業と聞かれています。もちろん一概には比べられません。でも、地域の組合が自力で何とかできる範囲はわずかなものです。国からもっと手厚い補助があつていいんじゃないか。古湯にやつて来て、森の仕事に就いてから、こういう思いがだんだん強くなってきたんですよ」

そのためにできることは何か？ と考えたとき、政治への関心がわいたという。平城さんはいま、地域の世話人や佐賀市審議会の委員などにも参加している。けれども「意見をいうだけの立場」ではなかなか思いは届かない。「ならば」というわけだ。

「皆の不満や希望を形にしたい」と単身で暮らし、森で働くうちにつのってきた思い。静かに、しかし熱く語る視線の向こうに平城さんの「夢」が見えた。

## 攻めの姿勢でビジネス展開

先も触れたが、二人が勤める同組合は、



北九州から単身赴任の平城さん。  
週末は奥さんとスキーや山歩きを楽しむ



本誌5号を見ながら高性能機器の話題で盛り上がる職員の人たち



間伐材を切る平城さん。  
こうして間引きを行って森に光を入れ「育てる木」を守る

### <富士大和森林組合の概要>

所在地：佐賀県佐賀市富士大和大字古湯 2794  
TEL：0952 (58) 2031  
URL：<http://www.fujiyamato-mori.or.jp/index.html>  
組合員数：1,622人（平成17年8月末）  
●森林組合の直売所「こだまの里」  
所在地：佐賀市富士町大字古湯字矢櫃 3-1  
TEL：0952 (58) 2022  
定休日：火曜日  
取扱商品：山菜、きのこ、森林香、イチヨウの木のみな板、イス、テーブル、すのこ、プランターカバーなど

職員を募集する際に、過去の「林業見学・交流ツアー」参加者に声をかけるなど、地元出身以外の人材を積極的に受け入れているのが特徴だ。冒頭のマネージャーが「富士大和森林組合は、I・J・Uターンの人が多いんですよ。みんな個性的で明るい職場ですわね」といっていたことを思い出す。

代表理事組合長の松原さんにそのあたりを聞くと、職場の雰囲気や、新人や班長の育成方法などには気を使っているという。「危険をとまなう仕事ですから、その点をきちんとケアしないとイケない。それが安全につながります。毎日みんなが無事に現場から戻ってきてくれるまでは心配なんですよ」と話してくれた。

また同組合では、直販所「こだまの里」を設けて間伐材を利用した木工製品を販売するほか、小学校用のイスと机を地域の家具メーカーと開発するなど、積極的に事業の多角化を図っている。

地域のイベントで「せひやつてほしい」とひっぱりだこという、間伐材を利用した木工教室や、子どもたちを対象とする森林教室など、林業の啓蒙も兼ねた活動にも意欲的だ。

事業で中心となるのは先述の勝山さん。サポートするのは、新卒として組合に就職した川埜ゆかりさんだ。大学で森林環境などの専門知識を学び、森林教室では「川埜先生」となって子どもたちに森や山の仕組みを教えている。

佐賀市内から車で1時間。古湯の里は、森を守り、森を生かす新たなエネルギーに満ちていた。



## 林

業に、いまようやく希望の光が見えてきたと、私は思っているんです。遅すぎたくらいですが、国をはじめ多方面にずっと訴え続けてきたかきがありました。国の方針が「森林整備に重点を置く」という方向に変わってきたからです。大きな流れが変わったのだから、林業が置かれた状況そのものも変わっていくでしょう。

今後はいままでのように木材の利用価値を高めていくといった考えから、森そのものが果たす「環境への貢献」や「共生の森づくり」を中心に考えていくべきだと考えています。

そして何より、これらの課題を果たすためには「人材の確保・育成」が重要になっていくのではないのでしょうか。

## 環

境の問題と林業の課題は、切り離せない関係にあるんです。輸入材によって木材の価格が崩壊したことで、日本中に放置林が増えたことはご存知ですか？

環境の悪循環は、木が過密状態になることで生じます。木が密集した山に雨が降るでしょう。枝が混みあっているから雨水が土に届かない。そうすると保水率が低い山になってしまう。これが鉄砲水の原因をつくるのです。また、枝だけでなく根も浅くしか張ることができない。



# 情報の収集と分析が大河の流れる先を導く

茨城県石岡市 つくばね森林組合代表理事組合長 木崎 眞さん



### プロフィール

木崎眞 (きざきしん)

大正13年1月15日生まれ。陸軍士官学校卒業後、終戦により農林業に従事。長年にわたり意欲的に農林業複合経営に取り組んでいる。八郷町助役、八郷町副議長、八郷町農協組合長などを歴任。茨城県森林組合連合会理事等を経て現・会長。1995年農林水産大臣賞、96年第15回農林水産祭内閣総理大臣賞、97年勲5等瑞宝章叙勲、04年茨城県知事表彰(林業功労)など受賞多数。

表土に粘りがない状態になってしまっ、こっちは土砂崩れの原因になる。このような状況は主に放置林に見られます。針葉樹だから災害を招くのではなくて人工林を放置したから災害を引き起こしてしまっわけです。これ以上放置林が増えたら本当に日本の山は危険なことになってしまっます。

もちろんこういう状態になったらもう材を採る森としては再生できません。悲しいことですね。我々は何十年も山に入ってきたから、山の悲鳴が聞こえますよ。木が「苦しくてしょうがないんだ」といつているのがわかるんです。

かしこういった放置林でもね、一方で環境に貢献をしているんですよ。なにかという「炭酸ガスの削減」です。おもしろい試算がありまして、人間一人が出す炭酸ガスは、30〜40本の木が吸収する炭酸ガスの量と同なんです。緑のほかに炭酸ガスを吸収してくれるものなどない。例えば放置林でも「京都議定書」でも定められた、国に対する課題を直接的に果たしているんです。

ですから防災の問題にしても、炭酸ガス削減問題にしても、山はとても公共性が高い存在だということがいえるでしょう。その経済的価値は80兆円とも試算されています。ですから我々森林組合が核となっ、国に対しその見返りを訴え続けてきました。

それが、いまようやく形になろうとしています。内閣が変わり、環境保全などに予算をかける方向に向かいつつあるからです。希望が見えてきたというのはそ



うということなのです。

## 今

後は環境保全型の間伐が進んでしまった我々としては寂しいことで、「今まで何のためにやってきたのか」というやるせない気持ちもありますが、これは、どんな森林組合でも今後考えていくべき方向性ではないでしょうか。

課題は人材の確保ですね。林業は長いあいだ冬の時代が続いていたため、若く優秀な労働力を育てる余力がありませんでした。致命的な事態です。どうしたらいいのか。難しいことですが、これからは、多くの、さまざまなタイプの人材育成を急がなければなりません。

## 森

に入ったことはありませんか？ 手入れされた森は、地面まで太陽の光が届くから明るくてね。山は本当にきれいなんですよ。こうした美しい場所が、地域の「資源」となるんですね。

そこで森林組合がとるべきもう一つの道として考えられるのが「共生林」への取り組みです。これは先ほどの「環境への貢献」と並行して考えていけることです。森を観光資源としてとらえ、都市部の人を呼び込んで地域活性化の中心的役割を果たしているというものです。

つくばね森林組合では、以前からオートキャンプ場などを経営してきましたが、昨年は「しし鍋祭り」のイベントを開催したんですよ。しし鍋はこの地域独特の「漁師鍋」で、それを猟友会が2日間かけて煮ま

木崎邸。八郷にはこうした茅葺き屋根の民家が70数軒も残されており、いま、町を挙げて観光誘致に力を入れている



した。それに特産の新そばとコシヒカリ。おいしいですよ、このコシヒカリは。絶品だ。おかげさまでとても好評で、用意しておいた人数の倍の人に来ていただきまして、鍋はすぐになくなってしまいました。

そのほかの事業として森林セラピーの開催なども模索中で、いまいろいろ調査を行っているところです。

事業のアイデアですか？ 突然思い浮かぶわけではありません。いろいろな情報を集めて分析し、いま世の中がどう動いているのかを把握するよう努めています。そうすると見えてくるんですよ、次になにをすればいいのか。

大河はどこへ、どう流れていくのか。それを把握しておかなければ時代から取り残されてしまう。流れの行く先を見据えていくことが重要なんです。

## 八

郷はいいところでしょう。驚きませられてきたか。東京から1時間半で来られる距離にこんな桃源郷が残されていたなんて……。この地域には地磁気の研究所がありましてね。工場など大きな振動を出す企業を誘致できないんですよ。高圧線さえ通せない。商業開発ができなかったんですね。

このことが結果的に、昔ながらの風景の保全や「茅葺き民家」の保存へとつながり、いま、八郷の資源になっています。奇跡のような日本の原風景が「ここ」にはあります。

私はこのすばらしい地域資源と森とを「山里」として一体にとらえ、今後も八郷の将来を考えていきたいと思っています。



# 島に新風を吹き込んだ Iターン者の挑戦

島根県知夫村 漁業協同組合JFしまね浦郷支所所属

岩牡蠣屋 加藤 二士ふたしさん

移住者には  
雌牛か漁船を差し上げます！

東京デイズニリーゾートの13倍ほどの広さに約750人が暮らす、隠岐諸島の一つ知夫里島。島一番の高台である赤禿山あかぼしからは、エメラルドグリーンエメラルドグリーンの海に浮かぶ近隣の島々や島根半島を一望できる。

信号機もないこの島で、加藤二士さん（42歳）が家族とともに新たなスタートを切ったのは、小さな新聞記事がきっかけだった。「移住者には雌牛か漁船を差し上げます」過疎化に頭を悩ませていた知夫村が打ち出した苦肉の策に、全国から大きな反響があった。問い合わせ200件のうち80組の家族が島を訪れ、そのなかから最終的に加藤さんを含む5組が選ばれた。

加藤さんは横浜市生まれ。船乗りにあって進学した水産高校を卒業後、航海士として運搬船や商船に乗り込み、世界の海を渡ってきた。22歳で結婚、二人目の子どもの誕生を機に船を降り、大手物流会社「フオアマン（荷役監督）」となった。責任ある職務をこなし、それなりの地位

も得たが、仕事に明け暮れる毎日で、子どもたちと話す時間すらない。

「家族との時間を大切にしながら、自然のなかで暮らせないだろうか？そんな思いを強くしていたときに、知夫村の記事を読んだんです」

縁もゆかりもない知夫里島だったが、実際に訪れ、人々と触れ合ってみて、心と同じくしていた奥さんとともに「ここならやっつけていける」という確信を得た。

## イワガキ養殖に見出した一筋の光

希望を胸に知夫里島の住民となった加藤さんは、約束の漁船のほか、住民登録と同時に与えられた漁協の準組合員資格により漁業権を手に入れた。だが、操船技術はあっても、漁の経験がない。

「島の漁師が行う『かなぎ漁』を見よう見まねでやってみましたが、なかなか思うように捕れませんでしたね」

かなぎ漁は箱メガネをのぞきながら、先端に金属の付いたモリのような器具を使って海底のアワビやサザエを捕る。一人でやる漁だから水揚げに限界がある。水

揚げなし収入なし。島に来てすぐに働き始めた奥さんの収入に家族5人の生活を頼る日々が続いた。「このままではいけない！あせる思いで訪れた島根県漁業栽培センターで、運命的ともいえる出会いを果たしたのがイワガキ養殖だった。

カキというと冬のイメージが強いが、イワガキは夏に捕れる。知名度はまだ高くないものの、食通には垂涎すいぜんの的。希少価値があり、東京あたりの店で食べると1個800円が相場という。従来、天然ものしかなかったイワガキだが、島根県内では養殖に成功していた。島根県漁業栽培センターからその話を聞いた加藤さんは、事業の可能性を見出し、新たな挑戦に向け



イワガキの苗を植えつけるための原盤となるホタテの貝殻。一つひとつ穴を開けてロープでつなぐ

生育中のイワガキは1本のロープに50個ほどかける



で動き出した。

## ネットショップ「岩牡蠣屋」オープン

イワガキは貝殻に付着して成長する。加藤さんはまず、貝殻を海中に垂らし稚貝が付着するのを待つ天然採苗という方法を試みた。だが、なかなか付着しなかったため、人工的に稚貝を付着させる人工採苗に切り替えた。ここからは、ゆつくり時間をかけて天然育成していくこととなる。その期間およそ3年。捕る漁と違って、つくり育てる養殖には時間が必要だ。

加藤さんはイワガキを育てる一方、販路の開拓にも乗り出した。目を付けたのはインターネット。

「知夫利島は消費地からすごく遠いというハンディを背負っていますし、漁協を通じて販売ルートもありませんでしたからね。インターネットを活用しない手はないと思いました」

専門書と格闘しながらなんとか自力でインターネットショップを立ち上げ、さらにサーチエンジンで上位に掲載されるにはどうしたらいいか、アクセスを購入に結びつけるにはどうしたらいいか研究を重ねた。

そのかいあってか、出荷に合わせてオープンしたインターネットショップ「岩牡蠣屋」には予想を上回る反響があった。「粒の大きさに驚きました!」「味が濃くておいしかったです!」個人からの注文もさることながら、料理店など食のプロからもオーダーが入る。出荷時期となる春先から初夏までは、対応に追われてうれしい悲鳴を上げるほどだった。このとき加藤さん

35歳。島で生活を始めてから7年の月日が流れていた。

その後、「岩牡蠣屋」の成功に影響を受け、知夫利島のみならず隠岐諸島全体でイワガキ生産者が増加。生産量が増えた隠岐のイワガキは、県の特産品ブランドとして認定されるまでになった。

## 島外出身ながら漁協の組合長に

ほぼ順調に出荷を続けている加藤さんだが、現在の年間出荷量約1万5千個を、今後は増産していきたいという。イワガキの出荷は1年のうち約3カ月しかないため、それ以外の時期に出荷できる漁獲物も模索中。これらを実現するためにも、後継者となる人材の育成に力を入れていきたいと意欲を燃やす。かつて自分がそうであったように「この島での暮らしに魅力を感じ、ともにイワガキ養殖をはじめ漁業を引っ張っていつてくれる若いパワーがほしい」。漁業就業者確保育成センターなどを通じて研修生も受け入れている。

離島という閉鎖的だったたり保守的なイメージがあったりするが、この島には新しい人や新しいことを受け入れる懐の深さがある。島外出身者でありながら、地元の人に請われ知夫利漁協組合長を2年間務めた加藤さんが、身を持って実感したことだ。もちろん地元の人々のなかに積極的に飛び込んでいき、地道な努力を続け、着実に信頼を得てきた加藤さんの姿勢が認められた結果でもある。

島外出身者であっても島を愛する気持ちは島内出身者と同じ。Iターン者が吹き込んだ新しい風が、島の明日を切り拓く。



透明度が高い隠岐の海は清浄海域となっていて、イワガキの育成に適している



貝殻に付いたフジツボなどは出荷前にグラインダーで削るだけでなく、生育期間中も形を整えるなどして手をかけている



加藤さんが現在所有するイカダは全部で7基



# 衰

退が危惧される日本の漁業。これからの漁業者は、ただ魚を捕って出荷するだけでは生き残れなくなっています。消費者が求める安心・安全な食料、その供給者として、漁業に携わる我々も具体的な基準を示していかなければならない。その一つとして関心が高まっているのが、国際基準の食品衛生管理手法であるHACCPです。

今までの食品衛生法では工場など製造工程だけが衛生管理の対象となっていました。HACCPでは原料の段階から衛生管理が求められます。漁獲物であれば、最初に捕る漁師が、まず衛生管理の意識を持たなければならぬということになります。

このような時代のニーズを察知し、私指針を執る恵洋丸は、早い段階でHACCPに対応してきました。漁船としてHACCPの基準をクリアするため、水槽と甲板への特殊抗菌塗装や、海中のバクテリアや大腸菌などを殺菌できる紫外線殺菌装置、海水から安全な貯蔵用水をつくり出す滅菌冷海水製造装置を装備しています。網上げた魚はすべて分厚い断熱水槽に入れ、ゴムパッキン付きのふたをきっちり閉める。こうすることで、外気にふれず0〜2℃の水温を保ちながら、安全な状態で漁港まで運ぶことができます。

衛生管理への取り組みは、自らも消費者の立場に立てばやるべきことが見えてきます。それは魚市場でも同じことです。恵洋丸が水揚げする熊野漁協木本魚市場は徹底した衛生管理で、(社)大日本水産会の「優良衛生品質管理市場認定」を受

けています。衛生管理の領域を明確にするため市場内の作業区域は床面を地面より60cm上げ、専用容器に入れた漁獲物は冷海水で洗浄して計量した後、専用台に載せてようやくセリにかけることができます。関係者全員に長靴、帽子の着用を義務化し、風邪をひいていけないかなどの健康チェックも毎日行います。タバコ禁止、関係者以外の立ち入り禁止。

それまでのやり方をガラッと変えて、かなり厳しいルールを取り入れるわけですから、最初はきちんと守れるか不安もありましたよ。でも、自分たちの漁獲物を自信をもって消費者に届けるために、漁師も、仲買も、市場職員も、一致団結して実行しています。

# 消

消費者に安心・安全な食料を提供する一方、経営者としては安全に働ける環境づくりにも配慮しなければなりません。

4年前につくった船では、腕利きの船頭のアドバイスも受けながら、どうすればより安全になるか徹底的にこだわりました。時化でも揺れにくい安定した船体、障害物をなくし広い面を確保した甲板、その甲板のすべり防止マット、あえて5カ所も設置した緊急停止ボタンなど、至るところに安全のための工夫をほどこしているんですよ。

災害自主訓練は年に数回実施し、操業中は10分に1回、皆で声をかけ合って安全を確認します。もし誰かが危険なことをしたらすぐにエンジンをストップさせ、全員集合で怒鳴りつけることもしばしば。危険が伴う仕事に、緊張感は欠かせませ

## 伝統の知恵や技術を守りつつ積極的にチャレンジする精神を

三重県熊野市 熊野漁業協同組合所属 有限会社恵洋水産代表 桑原 清志さん



プロフィール  
桑原清志 (くわはら・きよし)

1965年、愛媛県生まれ。大学卒業後、大阪で1年間の商社勤務を経て1988年、婚約者の実家が経営する(有)恵洋水産への就職と結婚を機に、1ターンで三重県熊野市へ移住。定置網漁船・恵洋丸の一漁師として経験を積む。1999年には、義父の跡を継ぎ熊野市議会議員選挙に立候補し、当選。2003年までの4年間、最年少議員として議会に新風を巻き起こし活躍した後、“地域の基幹産業である漁業で自分がやるべきことをやりたい”と漁業に専念。地域漁業の牽引役として、日々、漁業発展に向けた挑戦を続けている。熊野漁業協同組合理事。



“仕事では厳しい”とおそれられる反面、よき兄貴として慕われている桑原清志さん



んからぬ。

**漁**業の衰退をくいとめるには、後継者育成も重要な課題です。

熊野漁協が「体験漁業」に取り組み始めた6年前から、恵洋丸では新規漁業就業者として若い乗組員が増えています。今では総勢17名のうち20代と30代が半数以上。私は彼らに年間目標を立ててもらい、貯金を奨励しているんですが、それは計画性を持った人間になってほしいからです。自然相手で不安定な要素がある



男前集団(?)として地元でも一目置かれる存在の“チーム恵洋丸”。漁が終われば、クラブ活動のビリヤードで集中力と判断力を養う

から、きちんとした計画性を持たせることで、自信と安心につなげてあげたい。

漁業の後継者育成に本気で取り組んでいくには、国や地方自治体のなかに専門の担当者を置く必要があると思います。学校の進路相談のように、漁師になりたいという意欲を持った人の要望や適性に合った受け入れ先を探し、糸口を見つける。そういう仕事に生涯、情熱を傾ける人がほしい。漁業界を変えていくには、じっくりと腰をすえて地道に取り組んでいくしかないのではないのでしょうか。

**私**は妻の実家が漁業を営んでいた縁で、Iターンをして漁師になりました。

未知の世界に飛び込んだわけですから、知識や経験を身に付けることにがむしゃらでした。ほかの大型定置網漁船に頭を下げて乗せてもらい、自分たちにはない優れたところを学んだこともいい経験になりました。

私は仕事に取り組むときの姿勢として、ただ漠然と作業をするのではなく、本当にそれがベストなやり方なのか、常に疑問の目を持つようにしています。もっと安全な方法、もっと効率的な方法はないかと。

いい方法があれば積極的に取り入れてみます。実際にやってみて「違ったな」と反省することもありますけど、違っていたら軌道修正すればいいんです。大切なのはチャレンジする精神。ウチの乗組員たちにも、いい考えがあればどんどん提案するように呼びかけています。なかにすごいアイデアがあったりすると「それいいじゃないの! 今からやってみよう」ということもありますよ。

何か新しいことをしようとしても「漁師の世界では、昔からこうだから」という理由で受け入れられないことも多いものです。でも、守りの姿勢だけでなく発展は望めません。代々受け継いできた素晴らしい漁師の知恵や技術を守りつつ、新しい人や新しい考え方にも心を開き、積極的に取り込んでいく。そういう姿勢で臨めるかどうか。今後の漁業発展の鍵は、そこにあると思います。



漁獲物を入れる容器は高さ60cmの専用台に載せ、床面から跳ねた水で漁獲物が汚染されないよう配慮されている



水揚げした漁獲物は市場へ卸す前に丁寧に選別。作業は防鳥ネットの下で行われる



魚に一番大切なのは温度管理。恵洋丸では魚槽のすべてが断熱水槽となっている



地面より床面が60cm上げられた市場内部。洗槽で足を洗浄しなければ、ここへ上がることは許されない



# 上達を実感する喜び

高知県南国市 有限会社忠義鍛造 渡辺 達哉さん



親方(手前右)に教わる渡辺さん(手前左)。それを温かいまなざしで見つめる南国市商工会の堅田元さん(左奥)と山本和仁さん(右奥)



## <(有)忠義鍛造の概要>

代表取締役：戸梶忠義  
所在地：高知県南国市稲生芦ヶ谷 1137-6  
従業員：3人（ほかパート2人、研修生1人）  
事業内容：打刃物（包丁、鎌、ナイフ、鉋鉾など）の製造  
URL：<http://www.geocities.jp/tosahamono/>

生まれも育ちも東京という渡辺達哉さん(21歳)。地元の大学で地理学を専攻していた大学一年のとき、インターネットで「下駄屋が使う刃物の鍛冶屋に後継者がいない」という記事に目をとめる。ずっと心にひっかかっていたため、全国でも有数の刃物産地である新潟県三条市に電話してみると、高知県香美市が後継者育成に力を入れていることを教えてくれた。もともと幼少より工作が大好きな渡辺さんは「そんなに鍛冶をやる人が少ないのなら、自分がやってもいいのではなにか」と思い立つ。大学を中退することに反対されるかと思ったが、意外にも母は「好きなことを仕事にしないさ」と快く高知へ送り出してくれた。

## ふと目にした記事に心奪われて



## 周囲の協力を支えに

しかし、実際には香美市で受け入れ可能な研修先が見つからず、同じく打刃物が盛んな隣の南国市商工会が受け入れ先を探してくれることに。そこで市内に約20軒ある打刃物業者のうち、(有)忠義鍛造(戸梶忠義代表取締役)が研修先として名乗りを挙げる。包丁やナイフなど生活に根差した刃物から、腰鉋や鎌など農作業や山林作業に使う道具まで、幅広く打刃物を扱う鍛造業者だ。育成事業の技術指導所、研修生とも助成を受けるための諸条件をクリアし、渡辺さんは研修生という形で一年間の研修をスタートした。

「知らない土地で、土佐弁もわからない。心細いなか、商工会の堅田さんと山本さんには本当によくしてもらいました。もちろん、研修先の親方にも最初から親切にしてもらいましたね」

通いやすい場所にアパートを見つけてくれた堅田さん、研修後に何度も工場に様子を見にきてくれた山本さん、通勤のためにお古の50ccのバイクをプレゼントしてくれた親方……そうした周囲の人々の協力なしではやってこれなかったと、渡辺さんは感謝する。

## 伝統工芸を伝える者、受け継ぐ者

親方である戸梶忠義さんは「前に、隣町で同じように研修生を受け入れたことがあったが、志半ばで帰ってしまいました。職人の世界は厳しいと説いてばかりいても後継者は育たない」と真顔で語る。



## <南国市 伝統産業研修生について>

募集目的：打刃物、珊瑚、和紙に関する伝統産業の後継者育成

募集人員：年間2名以内

応募条件：下記①～④の要件を満たす者

- ①原則として満40歳未満とする。
- ②研修期間は、原則として1年以内とし、市内で2年間は就業または事業を行うこと。
- ③履歴書、誓約書、保証書、その他事業所が必要とする書類を事業所に提出すること。
- ④その他、南国市商工会の定める規約を守ること。

※詳細は南国市商工会へお問い合わせください。

南国市商工会

高知県南国市大桶甲 1623-5

TEL：088（864）3073



磨き終わり、柄を付けて包丁が完成



くもりがけの機械。この装置の中で粉を吹き付ける



親方の言葉に真剣に耳を傾け、すべてを吸収しようと貪欲な渡辺さん

最初のうちはできないことだらけで当たり前。それを忠義さんと息子さんたち三人がかりで見本を見せたり、不完全なものを手直ししたり、根気よく手ほどきしていったという。

渡辺さんが最初に教わったのは「くもりがけ」という仕上げの作業。刃のほうに鉄の粉のようなものを吹き付けて磨き、見た目をきれいにするというものだ。いまでは同じ仕上げの作業でもニス塗りを任されている。この4月でちょうど丸2年が経つが、まだ刃を叩いたり、削ったりする作業は教わってない。でも、「仕上がったものを見てもらい、親方に『満点

じゃ!』といわれるときが一番うれしいですね」と顔をほころばせる。

すると親方から「あんまり叱ると東京に戻ってしまうんじゃないかと思って」と、冗談とも本気ともとれる言葉が飛び出した。全国各地の伝統工芸関係者の多くは、同じように後継者育成に頭を悩ませている。だが、決して不当に褒めたりしているわけじゃないと忠義さんはいう。

「彼の評価すべき点は、まじめで丁寧だということ。あまりにも丹念に作業するので、10年経験を積んだ者より上手なものを作ることもある。ただし、プロになるためには早さも必要。今後の課題はス

ピードアップ」と親方。プロになるには最低でも10年かかるといわれるこの世界で、独立して巣立っていくその日まできちんと面倒を見るといふ親方の覚悟と愛情が、その言葉に見え隠れする。

それを受けて、渡辺さんも奮闘する。「技術がすぐに身に付かないからこそ、挑戦がいも、やりがいもある。でも、上達したと実感できる喜びは自分だけのもの。そのうれしさを忘れず、親方の教えをいつも全身で受け止めたい。いつ、独り立ちできる日がくるかわからないけど、それが親方への恩返しだと思う」



# 塾生とともに 里山を保全する

福岡県黒木町 山村塾

## 体験が家族の絆を深める

福岡県八女郡黒木町は、福岡市中心部から高速を利用して車で約1時間半。清流・矢部川が町の中央を流れ、緑豊かな山々に囲まれている。八女茶やイチゴ「あまおう」の産地としても有名だ。

豊かな自然を残すこの土地に1994年、里山環境を守ることを目的にした山村塾が発足した。荒廃した棚田の復旧と環境保全型農業の実践を行う稲作体験コース、風倒木被害地における広葉樹の植林などを行う山林体験コース、この2コースをメインに活動している。

受け入れ農家は、稲作が椿原寿之フアミリー、山林が宮園福夫フアミリーの2軒。会員は家族単位を基本とし、2006年度は104口の家族、個人、団体が登録している。「家族ぐるみで年間を通じて参加する」スタイルを推奨しているのは、自宅に帰ってから家族のコミュニケーションを増やすため。黒木町のお米や野菜を味わいながら、体験したこ

とを分かち合う……それは得難い貴重な時間になると参加家族は語る。

## 移住には準備期間が必要

現在、山村塾で事務局を切り盛りしている小森耕太さん（31歳）は、福岡市内からイターンでこの地に移住して丸7年が経つ。九州芸術工科大学（現・九州大学）で里山保全を研究する重松敏則教授の研究室に入ったことがきっかけで、国際里山・田園保全ワーキングホリデーに参加し、その関連で大学時代に山村塾へ通っていた。卒業後、同塾が事務局スタッフを募集していることを知り、自ら希望したという。

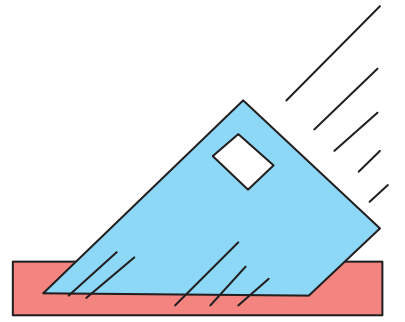
2000年から4年間、椿原家に併設した「四季菜館」に住み込み、行事やイベントの企画や運営、「山村塾通信」という会員誌の作成、広報活動など、あらゆる事務局の仕事をこなした。「条件不利な農地に対して中山間地直接支払助成金が始まったところで、それを利用してスタッフを常駐させるのが椿原さんは初めてだ

3月4日に開催された山林体験コースの植林イベントでは、1日でクヌギとコナラ1050本を植林した。参加者に里山保全の大切さを話す椿原寿之さん（右上）、山仕事のことを楽しそうに語る宮園福夫さん（左上）









# Voice iju info

## 読者コーナー

### 私 も菜園を楽しんでいます

岩手県 F・Sさん 49歳

こういう雑誌があるということを知り初めて知りました。新聞等ではいろいろ情報は見聞きしてはいても、雑誌として見るとまた違ったものがあります。私も菜園を楽しんでいます。新規就農者のみなさん、くじけずガンバッテください。

### 私 は専業農家の一人娘です

長野県 Y・Mさん 19歳

今春短大を卒業予定です。外で勤めた後に父の仕事を一っしょにやってみようと思っています。U・ターンしてみなさん頑張っていますが、私もやってみようかどうかすごく不安です。家にもいろいろな人が働きに来ますが、3年もしないうちにみんなやめていってしまいます。ほんとうに好きでないと続かないと思います。大変だと思いますが、私も頑張ります。

### いきいきした姿に勇気づけられます

東京都 今さん 63歳

純農村地帯出身の私は農村での野菜づくりが夢であったので、ijuをいつも楽しく読んでいます。登場人物がみないきいきとしている姿に勇気づけられます。農園歳時記を書いている中村顕治さんの物の考え方、文章のうまさには感激しています。

### きちんとした考えを持たないと長続きしない?

神奈川県 藤本 秀さん 30歳

弘前市のゆめりんごの入社試験に小論文もあつたそうですね。農業もきちんとした自分の考えを持っていないと長続きしないということもあるからなのでしょう。か。「リスクを負って育てるからには若い人にはそれに応えてくれる人じゃない」という代表者の言葉は重いですね。

### 誌を読んで得たヒントを使っています

大阪府 T・Aさん 65歳

若い人たちが相手に進路の相談に乗っています。時々農業をやってみようという者もあり、貴誌を読んで得たヒントを使わせてもらっています。私自身が田舎に戻って農業をやりたいような気持ちにさせられます。これから参考になる記事をよろしく願います。

### 元 気ももらいました!

長崎県 M・Hさん 40歳

今回のなかで益子町に移住された小野さんの記事、興味深かったです。私も中学高校、そして今も趣味で陶芸をしているので、バイタリティあふれるこの方から元気がもらえました!

### 勇 気を与えてくれる冊子だと思います

岐阜県 柳さん 48歳

私自身は畑仕事に縁のない人生を送ってきたのですが、今回初めて読んでみて

### 田 舎暮らしに必要なもの

東京都 市川真紀さん 43歳

中国地方のIJUライフに登場した森田さんの記事を読み、田舎暮らしには農業以外にも消防団や人形劇など生活を充実させてくれる楽しみがあることを知りました。

### 読んでいてすがすがしい気分になります

宮城県 谷さん 28歳

色々な記事がエネルギー感を感じて、読んでいてすがすがしい気分になります。記事に載っている様な人達が農業を担ってくれると思うと頼もしいです。充実した内容、色々な紹介を期待しています。

### 若 者を積極的に取材されていきますね

岩手県 遠藤さん 29歳

様々な分野で活躍する人々の声が聞けて、良い情報誌だと思います。若者を積極的に取材されていて、地方のいろいろな情報が掲載されていて楽しめました。

### 高 校卒業後に農業関連の仕事に就きたい

大阪府 木村隆哉さん 16歳

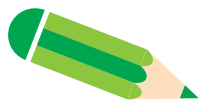
高校1年生の男子です。卒業後、農業関連の仕事に就きたいと思っています。大阪市内在住のため、なかなか情報がありません。書店で入手し、読ませていただきました。定期的に送っていただければうれしく思います。

### 心 の通う本づくりが伝わりました

埼玉県 萩原さん 58歳

表題に目を奪われ手に取り、ページをめくるごとに内容の充実さを痛感し、心の通う本づくりをモットーに“が何われ、平成の群像が随所に伝わりました。





## from Editor

この人はもしかしたら…

今年の2月、全国新規就農相談センターが開いた新・農業人フェア・東京会場でのことだ。

同フェアで行われている農業法人合同会社説明会に出展していた長野県の農業生産法人(有)永井農場のブースでは、同社の永井進専務と若い女性社員が来場者に会社の説明をしていた。

「この人はもしかしたら…」と思ったのは、2005年12月に発行した本誌創刊号に掲載された永井農場の求人情報をめぐってのことだ。

その彼女は、都内の大学在学中に日本農業法人協会が主催する農業インターンシップを経験し、在学中から農業法人に就職したいと考えていた。

就職活動の時期を迎え、まずはインターネットで各地の法人の求人情報を検索した。しかし、思うようには見つからなかった。

そこで全国新規就農相談センターを訪ねた。そこでもらった資料の中に「iju info」の創刊号があった。永井農場の求人情報を見つけ、応募した。「経営戦略がしっかりしていると感じた」というのが応募の動機だった。彼女は採用され、06年4月から同社で働いている。

長野県の出身でもなく、農家の出身でもない。農業とは縁のな

い文学部の出身だった。

本誌を手にし、応募した新卒の女性が採用されたことは、永井専務から聞いていた。「がんばっているよ。失敗もしながらね」と。どんな人だろうか、ずっと同社でがんばってくれるだろうか、気になっていた。

同社のブースへの来場者が途絶えたときに永井専務に声をかけ、同社の事業のことなどをうかがっていた。

私が声をかけた本当の目的を察し、教えてくれた。「彼女ですよ」と。

しばらく三人で話をした。

彼女は現在、永井専務をサポートし、ISO(国際標準規格)9001(品質管理及び品質保証のシステム)の認定取得業務を担当していると聞いた。

明るく、屈託のない笑顔が心に残った。

一生懸命に仕事に取り組み、活躍しているのだろうと思った。

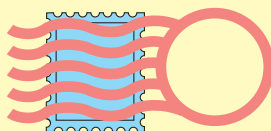
後日、ISO9001の認定を取得したことを聞いた。

今後の彼女の活躍を祈るばかりだ。

これから本誌の読者のなかで農林漁業を職業にする人、農山漁村に移住する人が増えていくだろう。

情報を発信することの重みを改めて感じた。よりよい情報を提供できるよう努力を積み重ねていきたい。

(編集部)



## お便り 大募集!

本誌の感想をはじめ、「農林漁業への就業」、「農業体験・農生活」、「定年帰農・セカンドライフ」、「田舎暮らし・移住」などに関する体験談や意見を募集しています。農業・林業・漁業での感動秘話や思わぬ失敗談、お世話になった人への感謝のメッセージ、おもしろい仲間のエピソードなど、なんでもけっこうです。写真やイラスト(絵手紙含む)なども大歓迎! いろいろな投書をお寄せください。掲載された方には、図書カードを進呈いたします。

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル5階

全国農業会議所

Eメール: iju-info@web-iju.info

- 住所、氏名、年齢、電話番号、あればメールアドレスをご記入のうえ、ご投書ください。匿名希望の場合は、ペンネーム、イニシャル、名前のみなどのご希望をお書き添えください。
- 原稿、写真やイラスト(絵手紙含む)のご返却はできません。ご了承ください。
- 文章を一部、抜粋して掲載することがあります。あらかじめご了承ください。
- お寄せいただいた情報は、読者ページ(ホームページの同コーナーを含む)の掲載以外には使用いたしません。

そこそこでいろいろな特産品があるも

### 特

産品っていろいろあるんですね

福岡県 北原さん 50歳

JR駅構内の就職情報誌のコーナーで初めて貴誌に出会いました。田舎暮らしは以前から憧れていましたが、車に乗れない身としては駅まで歩いて10分、繁華街までも歩いて10分の場所からはなかなか離れられません。在職中の4年程、農業関係の貸付金を担当していたことをなつかしく思い出して読ませていただきました。

### 田

舎暮らしに憧れていましたか…

岐阜県 国江さん 59歳

体にいい物を!

### 元

気で長生きしたいものです!

広島県 川上さん 63歳

先日区民センターで目に触れ、頂いて帰りました。主人がおいしい野菜作りガンバツテおります。市の菜園を借りての野菜作りですが、子供達や友人にもお裾分け出来るのが楽しみです。皆さんが

# 経営と生活の課題から見る新規就農

就農後に出てくるさまざまな課題について、全国農業会議所が行った新規就農者へのアンケート調査結果（平成13年度実施・回答413人）から就農後の生計の実態を紹介します。就農計画を立てるときは、じっくりとシミュレーションをしてください。

経営面の課題を見ると、「所得が少ない」「設備投資資金の不足」などお金の問題のほか、「技術の未熟さ」が上位に上がっています。生活面では、「思うように休暇がとれない」「就農地に友人が少ない」「健康上の不安」が上位に上がっています。

図表1 経営面および生活面での課題

(複数回答) (%)

順位	経営上の課題	割合	生活上の課題	割合
1	所得が少ない	66.7	思うように休暇が取れない	47.1
2	技術の未熟さ	45.8	就農地に友人が少ない	22.4
3	設備投資資金の不足	35.2	健康上の不安(労働がきつい)	21.7
4	運転資金の不足	33.1	交通・医療等生活面の不便さ	19.1
5	労働力の不足	26.6	集落の人たちとの人間関係	16.2
6	販売が思うようにいかない	20.3	集落の慣行	15.8
7	農地が集まらない	11.2	村付き合い等誘いが多い	13.6
8	情報が少ない	9.9	子どもの教育	11.4
9	経営計画が立てられない	5.5	プライバシーの確保	8.8
10	税務対策	5.5	家族の理解・協力面	7.4
11	後継者がいない	4.7	配偶者が地域等になじめない	4.4
12	経営分析の方法が分からない	3.9	子どもが地域や農村生活になじめない	1.5
13	相談相手がいない	3.6	その他	15.4
14	つくる作目がない	3.4		
15	その他	9.6		

経営上の主な課題を年齢別、就農経過年別に見てみましょう。年齢別では、49歳以下で所得や労働に関わる問題が大きくなっています。就農経過年別では、4年目以内では「技術の未熟さ」が、5年目以上で「設備投資資金の不足」の割合が高まっています。就農経過年が多くなるほど、技術上の問題より追加的投資の問題が大きいくことがうかがえます。

図表2 経営上の主な課題

(複数回答) (%)

区分		計	所得が少ない	技術の未熟さ	設備投資資金の不足	運転資金の不足	労働力の不足
現年齢	49歳以下	100.0	70.7	46.4	36.4	34.3	30.4
	50歳以上	100.0	55.3	43.7	32.0	30.1	16.5
就農経過年	1～4年目	100.0	67.9	52.7	32.6	31.3	25.0
	5年以上	100.0	65.2	36.1	38.6	35.4	29.1
農業所得での生計の成り立ち	成り立つ	100.0	46.3	34.7	31.6	17.9	29.5
	成り立たない	100.0	74.6	48.0	36.9	38.7	25.8

注：「現年齢」、「就農経過年」、「農業所得での生活の成り立ち」において、カテゴリ間に5ポイント以上の差があるものを四角囲みにしている

生活上の主な課題を年齢別、就農経過年別に見てみると、体力面で劣る50歳以上で労働がきついなど健康面の問題が大きくなっています。就農経過年別に見るとすべての課題において就農5年目以上のほうが割合が高くなっています。

図表3 生活上の主な課題

(複数回答) (%)

区分		計	思うように休暇が取れない	就農地に友人が少ない	健康上の不安(労働がきつい)	交通・医療等生活面の不便さ	集落の人たちとの人間関係
現年齢	49歳以下	100.0	49.0	24.7	18.7	18.2	15.2
	50歳以上	100.0	41.9	16.2	29.7	21.6	18.9
就農経過年	1～4年目	100.0	44.2	22.1	17.5	18.2	12.3
	5年以上	100.0	51.7	22.4	27.6	20.7	20.7
農業所得での生計の成り立ち	成り立つ	100.0	61.5	15.4	13.8	18.5	10.8
	成り立たない	100.0	43.0	24.0	23.5	20.0	17.5

注：図表中の四角囲みの意味は図表2に同じ

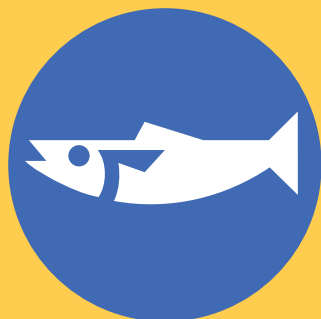


# 農林漁業就業 I・J・Uターンガイド



農業就業ガイド

林業就業ガイド



漁業就業ガイド

I・J・U  
ターンガイド



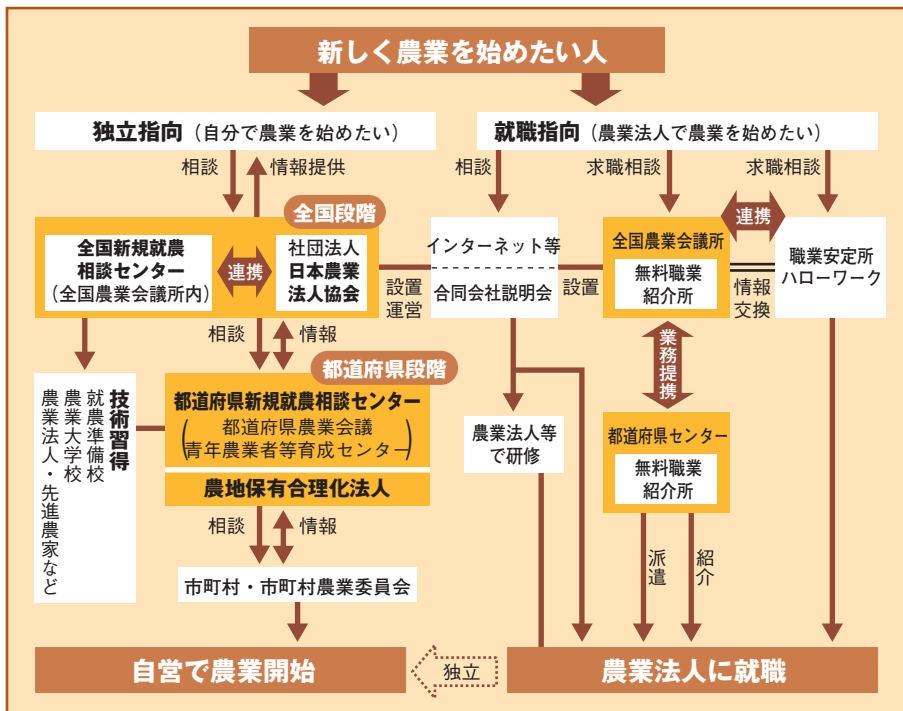
iju infoサポーター

# 農業に就くには？

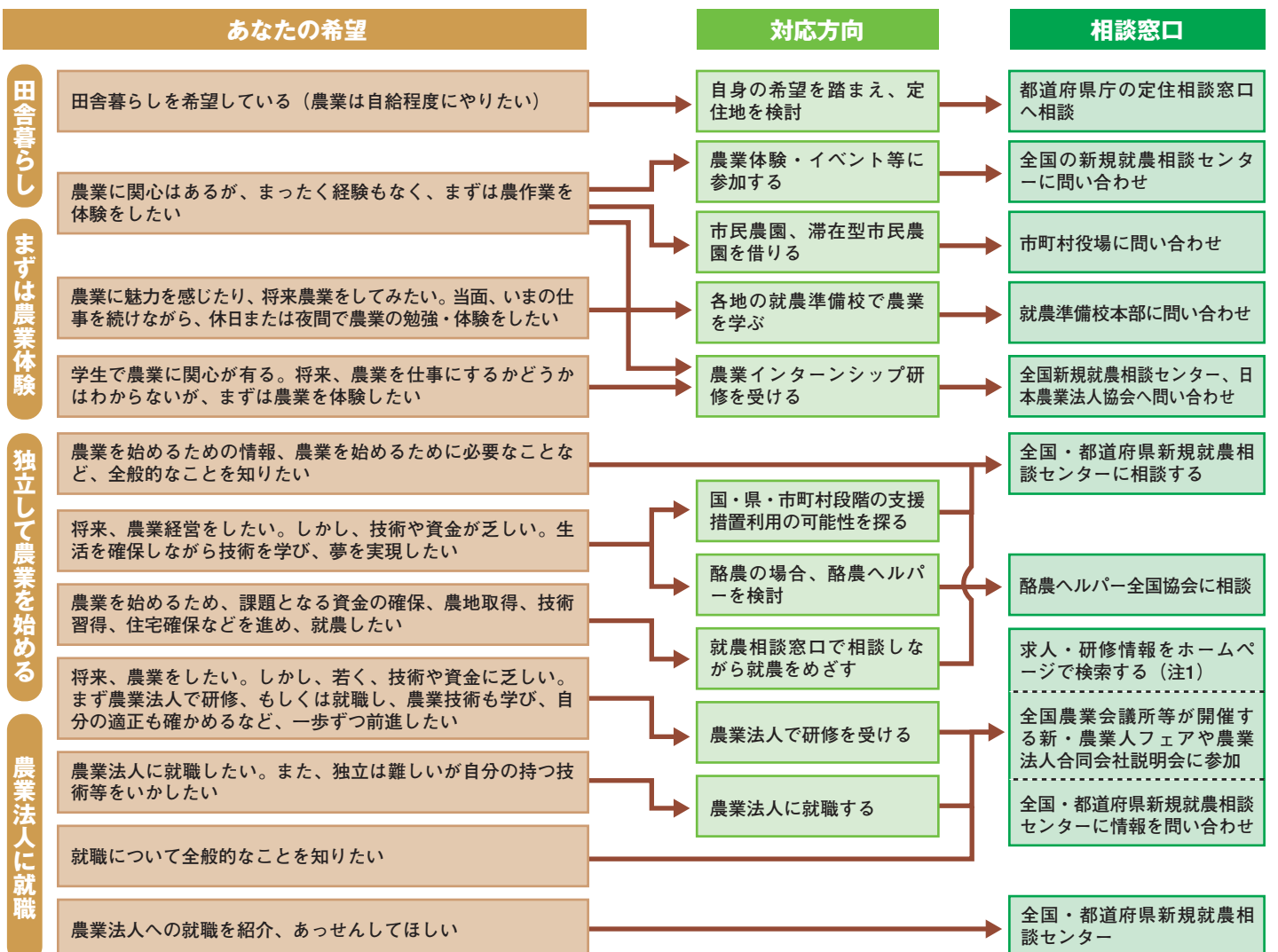
最近、都会のサラリーマンなどの間で、農業をやってみようという人が増えています。農業に興味があり、やってみようと思っても、サラリーマンなどには農地が持てない、農業ができないとお考えではないでしょうか。

サラリーマンなどこれまで農業をやったことのない人でも、農地を取って農業経営を始めることができます。また、最近では、農業法人などに就職して農業を始めることもできます。しかし、農作業そのものの体験がなかったり、農地を実際に買った借りたりする条件は何か、空き家など住む家はあるのか、求人募集をしている方、田舎暮らしなど自給自足で定住を考えている、あるいは実際に農業をやってみようという方も、情報集めが大切になってきます。就農までのイメージをつかむために、まずは全国・都道府県新規就農相談センターの相談窓口をお訪ねください。

## 就農までのフローチャート



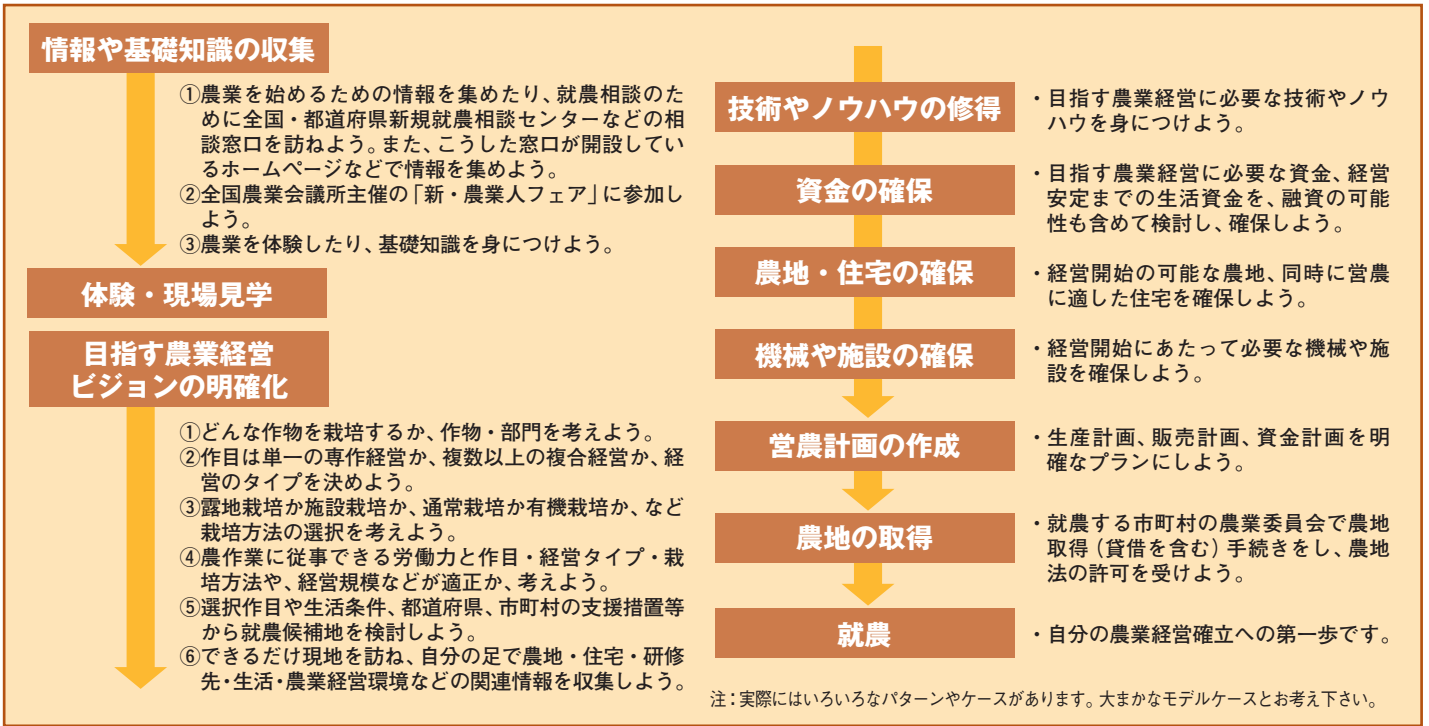
## 就農イメージと対応方向



注1：求人・研修情報の検索（<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>）



# 就農までのみちすじ



都道府県新規就農相談センター			
都道府県青年農業者等育成センター		都道府県農業会議	
指定法人	電話番号	農業会議	電話番号
(社) 北海道農業担い手育成センター	011 (271) 2255	北海道農業会議	011 (281) 6761 (直)
(社) 青い森農林振興公社	017 (773) 3131	青森県農業会議	017 (774) 8580 (直)
(社) 岩手県農業公社	019 (623) 9390	岩手県農業会議	019 (622) 5825 (直)
(財) みやぎ農業担い手基金	022 (264) 8238	宮城県農業会議	022 (275) 9164 (直)
(社) 秋田県農業公社	018 (884) 5512	秋田県農業会議	018 (860) 3540 (直)
(財) 山形県農業振興機構	023 (635) 0589	山形県農業会議	023 (622) 8716 (直)
(財) 福島県農業振興公社	024 (521) 9848	福島県農業会議	024 (524) 1201 (直)
(財) 茨城県農林振興公社	029 (239) 7131	茨城県農業会議	029 (301) 1236 (直)
(財) 栃木県農業振興公社	028 (648) 9511	栃木県農業会議	028 (648) 7270 (代)
(財) 群馬県農業公社	027 (251) 1220	群馬県農業会議	027 (280) 6171 (代)
(社) 埼玉農林公社	048 (558) 3555	埼玉県農業会議	048 (829) 3481 (直)
(社) 千葉県水産振興公社	043 (222) 9136	千葉県農業会議	043 (222) 1703 (直)
(財) 東京都農林水産振興財団	042 (528) 1357	東京都農業会議	03 (3370) 7145 (直)
(社) 神奈川県農業公社	045 (651) 1703	神奈川県農業会議	045 (201) 0895 (直)
(財) 山梨県農業振興公社	055 (223) 5747	山梨県農業会議	055 (228) 6811 (直)
(社) 岐阜県農畜産公社	058 (276) 4601	岐阜県農業会議	058 (268) 2527 (代)
(社) 静岡県農業振興公社	054 (250) 8991	静岡県農業会議	054 (255) 7934 (直)
(財) 愛知県農業振興基金	052 (951) 3626	愛知県農業会議	052 (962) 2841 (直)
(財) 三重県農林水産支援センター	059 (259) 0855	三重県農業会議	059 (259) 0860 (直)
(社) 新潟県農林公社	025 (281) 3480	新潟県農業会議	025 (223) 2186 (直)
(社) 富山県農林水産公社	076 (441) 7396	富山県農業会議	076 (441) 8961 (直)
(財) 石川21世紀農業育成機構	076 (257) 7141	石川県農業会議	076 (257) 7066 (代)
(社) ふくい農林水産支援センター	0776 (21) 5475	福井県農業会議	0776 (21) 0010 (代)
(社) 長野県農業担い手育成基金	026 (231) 6222	長野県農業会議	026 (234) 6871 (直)
(財) 滋賀県農林漁業後継者特別対策基金	077 (523) 5505	滋賀県農業会議	077 (523) 2439 (直)
(社) 京都府農業開発公社	075 (417) 6847	京都府農業会議	075 (441) 3660 (直)
(財) 大阪府みどり公社	06 (6266) 8916	大阪府農業会議	06 (6941) 2701 (直)
(社) 兵庫みどり公社	078 (361) 8116	兵庫県農業会議	078 (361) 8110 (直)
(財) 奈良県農業振興公社	0742 (23) 6148	奈良県農業会議	0742 (22) 1101 (代)
(財) 和歌山県農業公社	073 (433) 5547	和歌山県農業会議	073 (428) 4165 (直)
(財) 鳥取県農業担い手育成基金	0857 (26) 7276	鳥取県農業会議	0857 (26) 8371 (直)
(財) しまね農業振興公社	0852 (32) 2300	島根県農業会議	0852 (22) 4471 (直)
(財) 岡山県農林漁業担い手育成財団	086 (226) 7423	岡山県農業会議	086 (224) 2111 (代)
(財) 広島県農林振興センター	082 (541) 6185	広島県農業会議	082 (545) 4146 (直)
(財) やまぐち農林振興公社	083 (924) 8900	山口県農業会議	083 (923) 2102 (直)
(財) 徳島県農業開発公社	088 (621) 3083	徳島県農業会議	088 (621) 3054 (直)
(財) 香川県農業振興公社	087 (831) 3211	香川県農業会議	087 (812) 0810 (直)
(財) えひめ農林漁業担い手育成公社	089 (945) 1542	愛媛県農業会議	089 (921) 4438 (直)
(財) 高知県農業公社	088 (823) 8618	高知県農業会議	088 (824) 8555 (直)
(財) 福岡県農業振興推進機構	092 (716) 8355	福岡県農業会議	092 (641) 7590 (直)
(財) 佐賀県青年農業者育成センター	0952 (25) 7106	佐賀県農業会議	0952 (23) 7057 (直)
(財) 長崎県農林水産担い手育成基金	095 (895) 2935	長崎県農業会議	095 (822) 9647 (直)
(財) 熊本県農業後継者育成基金	096 (385) 2679	熊本県農業会議	096 (384) 3333 (直)
(社) 大分県農業農村振興公社	097 (535) 0400	大分県農業会議	097 (532) 4385 (直)
(財) 宮崎県農業後継者育成基金協会	0985 (26) 8797	宮崎県農業会議	0985 (29) 6333 (直)
(財) 鹿児島県農業後継者育成基金協会	099 (213) 7222	鹿児島県農業会議	099 (286) 5815 (直)
(財) 沖縄県農業後継者育成基金協会	098 (866) 2280	沖縄県農業会議	098 (867) 7385 (直)

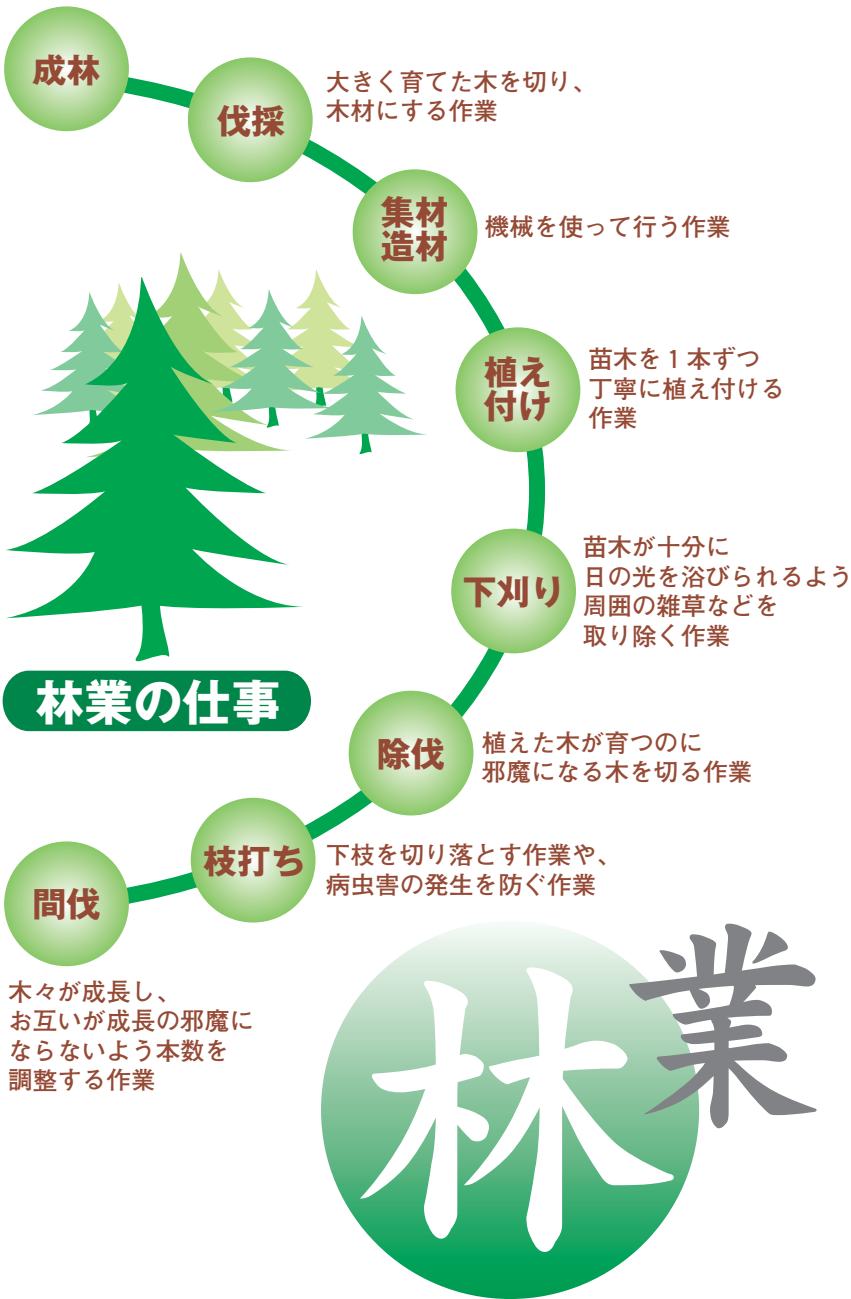


## ●新規就農・希望者などの相談に応じています

農業を始めるための情報を集めたり、就農相談のために、全国段階および都道府県段階に「新規就農相談センター」という相談窓口があります。

全国新規就農相談センター  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5  
虎ノ門34MTビル5F 全国農業会議所内  
TEL. 03 (3507) 3088 (相談用)  
FAX. 03 (3507) 3081  
<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

# 林業に就くには？



## 情報収集

- ◆全国森林組合連合会のホームページで、求人情報をチェックする。
- ◆全国森林組合連合会、都道府県林業労働力確保支援センターに電話し、説明会などの情報を問い合わせる。
- ◆国や民間で開催する「就職フェア」の林業コーナーで説明を聞く。
- ◆各都道府県の林業労働力確保支援センターに問い合わせる。
- ◆全国各地の森林組合に問い合わせる。
- ◆求人誌やハローワークなどの情報をチェックする。
- @都道府県林業労働力確保支援センターでは、随時相談を受け付けている。

## 行動を起こす

- ◆各都道府県の林業労働力確保支援センターに相談する。
- ◆林業労働力確保支援全国センターや地方公共団体などが行っている林業体験教室に参加する。
- ◆NPOやボランティア団体などが行っている市民ボランティアに参加する。
- ◆希望する地域が絞り込めたら直接森林組合等に足を運んで話を聞く。
- ◆採用してくれそうな経営体に、直接にアタック、応募して選考を受ける。
- @林業は、森林組合や民間企業に就職するのが一般的。

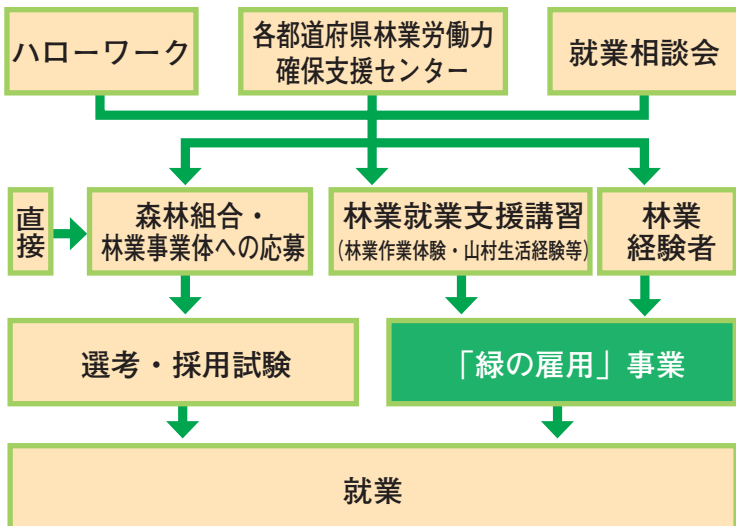
## いざ、森林作業へ

- ◆「緑の雇用」事業を利用し研修生になる。
- ◆見習いとして、森林組合や民間会社に就職。
- @「緑の雇用」事業は、国が行う林業本格就業前の1年間の研修。平成16年度は約2,000人が研修生に採用された。
- @森林組合とは森林の所有者が組織する協同組合のこと。
- @就職後に研修を受けることができたり、研修費用の補助が受けられる都道府県もある。

## 経験を積む

- ◆基幹的な林業従事者として、地域に定着して造林・間伐などの業務を身につける。
- @森林を育てるのは長い年月と莫大な費用がかかるため、独立は困難。森林組合や民間企業の中でステップアップしていく。

## 林業就職 活動フロー



※「緑の雇用」事業、「林業就業支援講習」は通年募集ではないため、詳しくは各都道府県の林業労働力確保支援センターに問い合わせてください。



## その他にもいろいろある森林業務

林野庁・フォレスター	国有林の管理、森林施業の実施、立木の調査、森林倶楽部の運営など、木の育成から森林空間の活用までが仕事。国有林を舞台にする林野庁所属の国家公務員
森林レンジャー	国立公園の環境を守り、動植物などの調査をする仕事。環境省所属の国家公務員
森林インストラクター	森林を利用する人に森林や林業に関する知識を広め、森林の案内や野外活動の指導を行う。農林水産大臣が認定する資格制度で、応募資格は20歳以上。4科目の筆記試験と面接がある。(社)全国森林レクリエーション協会が窓口
樹木医	農林水産省が認定した公益法人などが認定する公的資格。それぞれの地方の樹木や樹林の保護について研究したり、診断・治療を行う技術者。毎年6～7月に研修生が公募され、8月末ごろに選抜試験。応募資格として樹木医になるにふさわしい業務経験が通算して7年以上あることが求められる

### ●林業全般について情報を集める

林業労働力確保支援全国センター	電話番号	〒	所在地
全国森林組合連合会	03 (3294) 9713	101-0047	東京都千代田区内神田1-1-12コープビル

### ●地域の林業について情報を集める

都道府県	都道府県林業労働力確保支援センター	電話番号	〒	所在地
北海道	(社)北海道造林協会	011 (200) 1381	060-0004	札幌市中央区北4条西5丁目(道林業会館6F)
青森県	(社)青い森農林振興公社	017 (732) 5288	030-0801	青森市新町2-4-1(青森県共同ビル6F)
岩手県	(財)岩手県林業労働対策基金	019 (653) 0306	020-0021	盛岡市中央通3-15-17
宮城県	(財)みやぎ林業活性化基金	022 (225) 5991	980-0011	仙台市青葉区上杉2-4-46
秋田県	(財)秋田県林業労働対策基金	018 (864) 0161	010-0931	秋田市川元山下町8-28(県森連会館3F)
山形県	(財)山形県林業公社	023 (623) 3505	990-0044	山形市緑町1-9-30(緑町会館6F)
福島県	(社)福島県林業協会	024 (521) 3245	960-8043	福島市中町5-18(県林業会館内)
茨城県	(社)茨城県林業協会	029 (225) 5949	310-0011	水戸市三の丸1-3-2(県林業会館内)
栃木県	(財)栃木県森林整備公社	028 (643) 5330	320-0024	宇都宮市栄町5-7
群馬県	(財)群馬県森林・緑整備基金	027 (360) 6206	370-3503	北群馬郡榛東村大字新井2935
埼玉県	(社)埼玉県農林公社	0494 (25) 0291	368-0034	秩父市日野田町1-1-44(埼玉県秩父農林振興センター内)
千葉県	(社)千葉県農業開発公社	043 (222) 9136	260-0013	千葉市中央区中央4-13-28
東京都	(財)東京都農林水産振興財団	042 (528) 0643	190-0013	立川市富士見町3-81
神奈川県	(社)かながわ森林づくり公社	0465 (85) 1881	258-0021	足柄上郡開成町吉田島2489-2
新潟県	(社)新潟県農林公社	025 (285) 7711	950-0965	新潟市新光町15-2
富山県	(社)富山県農林水産公社	076 (441) 6747	930-0096	富山市舟橋北町4-19(県森林水産会館6F)
石川県	(財)石川県林業労働対策基金	076 (237) 0121	920-0209	金沢市東蚊爪町1-23-1
福井県	(財)福井県林業従事者確保育成基金	0776 (38) 0345	918-8567	福井市江端町20-1
山梨県	(財)山梨県林業公社	055 (230) 1400	400-0031	甲府市丸の内1-9-11(県民会館内)
長野県	(財)長野県林業労働財団	026 (225) 6080	380-8567	長野市大字中御所字岡田30-16(県林業センター内)
岐阜県	(社)岐阜県森林公社	058 (277) 1063	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53(県民ふれあい会館9F)
静岡県	(社)静岡県山林協会	054 (255) 4485	420-8601	静岡市葵区追手町9-6(県庁西館9F)
愛知県	(財)愛知県林業振興基金	052 (953) 3608	460-0002	名古屋市中区丸の内3-5-16
三重県	(財)三重県農林水産支援センター	059 (259) 0855	514-1101	津市久居明神町2501-1
滋賀県	(財)びわ湖造林公社	077 (522) 8349	520-0807	大津市松本1-2-1(大津合同庁舎6F)
京都府	(財)京都府林業労働支援センター	075 (821) 9277	604-8424	京都市中京区西ノ京樋ノ口町123
大阪府	(社)大阪府木材連合会	06 (6538) 7524	550-0013	大阪市西区新町3-6-9
兵庫県	(財)兵庫県営林緑化労働基金	078 (361) 8010	650-0004	神戸市中央区中山手通7-28-33
奈良県	(財)奈良県林業基金	0742 (27) 4860	630-8301	奈良市高畑町1116-6(なら土連会館内)
和歌山県	(社)わかやま森林と緑の公社	0739 (83) 2022	649-2103	西牟婁郡上富田町生馬1504-1
鳥取県	(財)鳥取県林業担い手育成財団	0857 (28) 0121	680-0947	鳥取市湖山町西2-413
島根県	(社)島根県林業公社	0852 (32) 0253	690-0886	松江市母衣町55-4(松江商工会議所ビル6F)
岡山県	(財)岡山県林業振興基金	086 (225) 9382	700-0866	岡山市岡南町2-5-10
広島県	(財)広島県農林振興センター	082 (541) 6187	730-0051	広島市中区大手町4-2-16
山口県	(財)やまぐち森林担い手財団	083 (932) 5286	753-0048	山口市駅通り2-4-17(県林業会館内)
徳島県	(財)徳島県林業労働力確保支援センター	088 (622) 8158	770-0939	徳島市かちどき橋1-41(県森連内)
香川県	香川県森林組合連合会	087 (861) 4352	760-0008	高松市中野町23-2
愛媛県	(財)えひめ農林漁業担い手育成公社	089 (934) 6153	790-0003	松山市三番町4-4-1(県林業会館4F)
高知県	(財)高知県山村林業振興基金	0887 (57) 0366	782-0078	香美郡土佐山田町大平80(森林総合センター内)
福岡県	(財)福岡県水源の森基金	092 (712) 1443	810-0001	福岡市中央区天神3-10-25(森連ビル内)
佐賀県	(財)佐賀県森林整備担い手育成基金	0952 (25) 7133	840-0041	佐賀市城内1-1-59(県庁林業課内)
長崎県	(社)長崎県林業協会	095 (861) 5185	850-0063	長崎市飽の浦町5-3
熊本県	(財)熊本県林業従事者育成基金	096 (340) 1151	862-0950	熊本市水前寺6-5-19(県住宅供給公社ビル204号)
大分県	(財)大分県森林整備センター	097 (546) 3009	870-0844	大分市大字古国府字内山1337-15
宮崎県	(社)宮崎県林業労働機械化センター	0985 (29) 6008	880-0804	宮崎市宮田町13-16(県庁10号館)
鹿児島県	(財)鹿児島県林業担い手育成基金	0995 (54) 3131	899-5302	始良郡蒲生町上久徳182-1
沖縄県	(社)沖縄県林業協会	098 (888) 0677	900-0024	那覇市字古波蔵112(雇用改善指導相談室)

# 沖合漁業 遠洋漁業の 漁師になるには？

## Start まず、情報を集めよう

- 全国漁業就業者確保育成センターなどのホームページやパンフレットの情報をよく読み、希望する漁業を絞り込もう。

## Step1 求人情報にあたる

- 全国漁業就業者確保育成センターに電話やFAXで問い合わせる。また、ホームページをチェックする。
  - 各都道府県のセンターに問い合わせる。
  - 全国各地の船員職業安定所に問い合わせる。
  - 就職情報誌などで求人情報をチェックする。
- ☆まずは連絡。遠慮しないで何でも聞いてみよう。

## Step2 行動を起こす

- じかに漁業会社や船主の話聞く。
  - 体験させてくれる漁業があれば、連絡してみる。
  - 採用してくれそうな船主(経営者)に、直にアタック、応募して選考を受ける。
- ☆航海日数は、沖合漁業で1~2日から40日間、遠洋漁業では10日~1年半。船が暮らしの舞台となるので、よく話を聞こう。

## Step3 船に乗る

- 漁業会社の乗組員としてスタート。甲板部、機関部の新人として働く。海の上では、船が仕事場であり、また生活の場ともなる。まずは船上の暮らしに慣れよう。
  - 船の上ではさまざまな年齢、職歴の人、外国の人が一緒に働く。自分の仕事を覚え、チームワークを大切にしよう。
- ☆漁業種により船の大きさや漁期、仕事内容は異なるが、できるだけ早く自分の仕事のペースをつかもう。

## Step4 船員のキャリアを積む

- 甲板部員の主な仕事は、漁労作業、船の運航の保全、見張りなど。甲板長目指してキャリアを積もう。
  - 機関部員はエンジンの操作、保守点検や修理を行う。操縦長目指してキャリアを積もう。
- ☆もちろん、どちらも漁労作業が仕事の中心。スタート時に船舶職員の資格がなくても、本人のヤル気と乗船経験で、資格取得にチャレンジできる。

## Step5 必要な資格を取る

- 甲板員なら航海士の資格(海技士・航海)を目指して勉強しよう。
  - 機関員なら機関士の資格(海技士・機関)を目指して勉強しよう。
  - 船長や機関長になるには三級海技士の資格が必要。水産高校などを経ていない人も、3年以上の乗船履歴があれば受験できるので、自分の目指す先を見極めて勉強しよう。
- ☆船員と一口にいっても、船員には「船舶職員」と「船舶部員」がある。「船舶職員」は資格が必要で、船長、機関長、通信長、航海士、機関士。「船舶部員」は甲板部員、機関部員で、とくに資格の必要はない。将来、船長を目指すなら、資格取得が必要だ。

## Step6 船のリーダーになる

- 漁船の最高責任者は漁労長。尊敬を込めて大船頭(おおせんどう)とも呼ばれ、船の漁獲、運航のすべてを取り仕切る憧れのポジションだ。最近では船長が漁労長を兼ねることが多い。
  - 漁船漁業のリーダーに求められるのは、乗組員を指揮するリーダーシップ。大型船を動かす能力。装備されたコンピュータ機器を駆使する能力。もちろん、その上に漁獲を上げなければならない。最長1年半に及ぶ操業をまっとうする力量が求められるのだ。
- ☆漁労長=船主というケースもあるが、船主は経営のトップ。沖合・遠洋漁業の場合、漁労長は船主から漁業活動のすべてを任せられる現場のリーダーだ。技術と力量がかわれてスカウトされることもあるが、自ら資金を貯めて独立する人もいる。

# 沿岸漁業の 漁師になるには？

## Start まず、情報を集めよう

- 全国漁業就業者確保育成センターに問い合わせ、漁業就業にあたり知っておきたい漁業種類の説明や、実際の体験談などが掲載された、パンフレット等入手する。
- 希望する漁業種類・地域を検討する。

## Step1 実際に体験してみる

- 全国漁業就業者確保育成センターに問い合わせ、各地の育成センターや都道府県などが地元漁協と提携し行う、体験漁業や研修生の募集の情報を入手する。
  - 研修がない場合は、現地を訪ねて漁業体験をさせてくれそうな経営体を探してみる。
  - 実際の漁業を体験し、自らの適性をもう一度見直してみる。
- ☆沿岸漁業の経営体は、地域や漁業法等により、数十人から個人経営までさまざま。また、その土地で暮らすことを前提によく話を聞き、見学させてもらおう。

## Step2 漁師になる

- 漁業種類・地域が決まったら、全国漁業就業者確保育成センター・各地の漁業就業者確保育成センターに問い合わせ、求人情報を入手する。
  - 日本船員福利雇用促進センターの「船員求人情報ネット」、情報誌、ハローワーク等でも求人情報を入手することができる。
  - もし希望する地域の求人情報が入手できない場合は、船主と直接交渉してもよい。
- ☆その日から漁ができるわけではないので、新人・研修生と見なされる期間の給与は安い。給与規定の有る経営体も多いが、個人経営では規定がない場合もある。

## Step3 漁師のキャリアを積み、組合員・独立を目指す

- 将来独立を目指すなら、船舶免許・漁業無線等を取得する。
  - 協同組合の組合員になる要件を満たす(組合の所属する地域内に住み、年間90日から120日以上の漁業実績を積んだ後、理事会の承認が必要となる)。
  - 地域や漁業の種類によって、必要とされる知事の許可等を取得する。
- ☆地域により資格取得のための研修会や取得費用の補助などを行っているので確認しよう。
- ☆組合員になる条件も地域により異なるので、よく聞いて確認しよう。

## Step4 独立。自分の船を持つ

- 船を持つには資金が要る。小さな船でも数百万円。中古船を安く譲り受ける場合もあるが、整備などに多少の費用はかかる。
- 独立当時は、刺し網、採貝、一本釣りなど小型船の操業から始める。腕次第では大きな船を持ち、人を育てることも夢ではない。





# 漁師には3タイプある

## 日帰りの沿岸漁業

漁場	沿岸漁業の漁場は基本的に日帰り出来る場所である。「目の前の海で捕る」という最も一般的な漁業だ。養殖漁業や素潜り漁などもここに含まれる
操業日数	日帰り。もちろん、早朝に出航して昼ごろ戻ってくる漁や、夕方出て翌朝帰ってくる漁、あるいは昼間に行う漁など、操業時間帯はさまざま
漁船	ほとんどの沿岸漁業者は個人経営で、従業員は家族という場合が多い。船に乗るのは1~2名で外洋にも出ないから、当然、船は小さい。ちなみに日本の漁師の85%は沿岸漁業者だ
漁獲物	沿岸漁業で捕れる魚の種類が多さは、遠洋や沖合の比ではない。貝も採れるシエビもカニもタイもイカもサケもアジも、ほとんどすべての魚がターゲットだ。四方を海に囲まれ、南北に長い日本は、それだけ海の幸に恵まれているのである
漁法	定置網/中型まき網/養殖/小型底びき網/船びき/ごち網/一本釣り/イカ釣り/刺し網/流し網/採貝・採藻/かご/たこつぼ

## 少し遠出する沖合漁業

漁場	日本近海の沖合がほとんどだが、範囲は広い。港から数時間程度の近場もあれば、漁によってはロシア水域の一部にまで及ぶ
操業日数	漁場までの距離や漁法、捕る魚によって、かなり幅がある。沖合のまき網漁は1~2日、イカ釣り漁が4~5日。いろいろな魚を捕る底びき網漁だと、日帰り操業の場合もあれば2週間程度の漁もある。千差万別、という感じだ
漁船	主な漁業は、大中型まき網漁/沖合底びき網漁/沖合イカ釣り漁/近海マグロ漁/近海カツオ漁/サンマ棒受網漁。比較的近場で操業する船は、人も食料も多くは積まないで、20~30トンくらい。けれど何十日も外洋の荒波にもまれる船は、120~140トンになる
漁獲物	アジ、サバ、イワシなど大衆魚が中心。遠洋の場合は冷凍して運んでくるのに対し、こちらは生の氷蔵が主流。鮮度も値段も高い。また、底びき網漁では、捕れる魚の種類もぐんと増える。エビ、タコ、ズワイガニまで捕れる

## 地球の裏側まで行く遠洋漁業

漁場	赤道直下の太平洋からインド洋、ニュージーランドやアルゼンチン近海の南太平洋、更には北大西洋からアフリカ近海まで、まさに世界の海が仕事場。世界の港に寄港する
操業日数	漁場に到着するまで10日~1か月かかる（最近では、船だけ先に行かせて漁師は飛行機で移動することもある）。一度日本を出ると、短くても1か月、長いと1年半は戻って来ない。もちろん定期的に近くの港に寄り、休養する時間もある
漁船	主な漁業は、遠洋マグロ漁/遠洋カツオ漁/大型イカ釣り漁。長い航海をして大量の魚を積み込むため、船は非常に大きい。遠洋マグロ船で200~500トン、遠洋カツオ船が400~500トン。イカ釣り船は139~500トン
漁獲物	遠洋漁業で狙うのは、「長い日数をかけて捕りに出かけても採算の合う魚」ということになり、刺身需要の多いマグロとカツオが2本柱になっている。また、イカ漁も行われている

### ●漁業全般について情報を集める

全体的な漁業就業の相談窓口	電話番号	〒	所在地
全国漁業就業確保育成センター	03 (3585) 6319	107-0052	東京都港区赤坂1-9-13三会堂ビル8階社団法人大日本水産会内

### ●地域の漁業について情報を集める

地域	都道府県漁業就業確保育成センター	電話番号	〒	所在地
北海道	北海道漁業就業確保育成センター	011 (271) 5051	060-0003	札幌市中央区北3条西7丁目 水産ビル(社) 北海道水産会内
東北	青森県沿岸漁業就業確保育成センター	017 (734) 9593	030-8570	青森市長島1丁目1-1 青森県農林水産部水産振興課内
	青森県沖合・遠洋漁業就業確保育成センター※	0178 (33) 3314	031-0822	八戸市白銀町字三島下95 八戸水産会館3F 八戸漁業指導協会
	岩手県漁業就業確保育成センター	019 (629) 5817	020-8570	盛岡市内丸10-1 岩手県農林水産部水産振興課内
	秋田県漁業就業確保育成センター	0185 (27) 3003	010-0531	男鹿市船川港台島字鶴ノ崎16番地 秋田県水産振興センター内
	山形県漁業就業確保育成センター	0234 (24) 6161	998-0838	酒田市山居町2丁目14-23 山形県庄内総合支庁水産課内
福島県漁業就業確保育成センター	024 (521) 7377	960-8065	福島市杉妻町2-16 福島県農林水産部水産課内	
関東	茨城県漁業就業確保育成センター	029 (301) 4070	310-8555	水戸市笠原町978-6 茨城県農林水産部漁政課内
	千葉県漁業就業確保育成センター	043 (242) 6811	260-0026	千葉市中央区千葉港4-3 水産会館千葉県漁業協同組合連合会内
北陸	新潟県漁業就業確保育成センター	025 (243) 3681	950-0078	新潟市万代島4-1 新潟県漁業協同組合連合会内
	富山県漁業就業確保育成センター	076 (431) 9595	930-0096	富山市舟橋北町4-19 (社) 富山県農林水産公社内
	石川県漁業就業確保育成センター	076 (234) 8818	920-0022	金沢市北安江3丁目1-38 石川県漁連内
	福井県漁業就業確保育成センター	0776 (24) 1203	910-0005	福井市大手2丁目8-10 福井県漁業協同組合連合会内
中部	静岡県漁業就業確保育成センター	054 (221) 2744	420-8601	静岡市葵区追手町9-6 静岡県農林水産部水産振興室内
	愛知県漁業就業確保育成センター	0533 (68) 5196	443-0021	蒲郡市三谷町若宮97 愛知県水産試験場企画普及室内
	三重県漁業就業確保育成センター	059 (259) 0850	514-1101	津市久居明神町2501-1 (財) 三重県農林水産支援センター (担い手支援グループ)
近畿	和歌山県漁業就業確保育成センター	073 (441) 3000	640-8585	和歌山市小松原通1-1 和歌山県農林水産部水産課内
中国	鳥取県漁業就業確保育成センター	0857 (26) 7313	680-8570	鳥取市東町1-220 鳥取県農林水産部水産振興局水産課内
	島根県漁業就業確保育成センター	0852 (21) 0001	690-0007	松江市御手船場町575 漁業協同組合JFしまね内
	山口県漁業就業確保育成センター	0832 (31) 2212	750-0065	下関市伊崎町1-4-24 山口県漁業協同組合内
四国	香川県漁業就業確保育成センター	087 (832) 3472	760-8570	高松市番町4-1-10 香川県農林水産部水産課内
	高知県漁業就業確保育成センター	088 (821) 4828	780-0850	高知市丸ノ内1-7-52 高知県水産経営指導課内
	徳島県漁業就業確保育成センター	088 (621) 2474	770-8570	徳島市万代町1丁目1番地 徳島県農林水産部水産課内
九州	福岡県漁業就業確保育成センター	092 (643) 3560	812-8577	福岡市博多区東公園7-7 福岡県水産振興課内
	長崎県漁業就業確保育成センター	095 (824) 3624	850-8570	長崎市江戸町2-13 長崎県水産振興課内
	熊本県漁業就業確保育成センター	096 (356) 8551	860-0053	熊本市田崎2丁目5-31 熊本県漁業協同組合連合会内
	大分県漁業就業確保育成センター	097 (532) 6611	870-0021	大分市府内町3-5-7 大分県漁業協同組合内
	宮崎県漁業就業確保育成センター	0985 (28) 6111	880-0858	宮崎市港2-6 宮崎県漁業協同組合連合会内
	鹿児島県漁業就業確保育成センター	099 (286) 3426	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県農林水産部水産振興課内
沖縄	沖縄県漁業就業確保育成センター	098 (866) 2300	900-8570	那覇市泉崎1-2-2 沖縄県農林水産部水産課内

※印は沖合・遠洋についてのみのお問い合わせ先です。

# I・J・Uターニングガイド

このコーナーでは、Iターン、Jターン、Uターンし、地方で企業等への就職、農林漁業への就業、田舎暮らし（定住）を希望する人たちに、主に主要都市で関連情報を提供する窓口を都道府県ごとにまとめています。

身近にあるこうした窓口を積極的に活用して、情報を収集しよう。

農業・林業・漁業の就業関連情報、地元企業の求人情報の分類に分けて、窓口ごとに提供できる情報に●印をつけている。

最近、「自然や生き物が好き」「田舎に住みたい」といった人とともに、「農林水産業にビジネスチャンスを感じる」などという若者が増え、農林水産業が職業の選択肢の一つとして認知されるという動

きも出てきており、また、Iターン・Jターン・Uターンして、地方の企業で働きたいという人も増えてきた。

これらの社会的ニーズに加え、今後は2007年以降「団塊の世代」約700万人が大量に定年に達するという、いわゆる「2007年問題」を迎えたり、国民の食の安全や環境に対する関心の高まりから、田舎暮らしなど都市から農山村への定住を求める傾向も強まっている。

また、05年3月に国土交通省が行ったアンケートでは、都市住民が都会などでの就業を続け、生活のかなりの部分を農山漁村で過ごす「二地域居住」という新しいライフスタイルのニーズが年々増加しているという結果も出ている。

地域に定住し就業するということは、同時に農山漁村に住み、暮らすことを意

味する。つまり地域社会の一員となり、例えば農業に就けば、農業用水などの利用・管理にともなう共同作業があり、定住すれば地域の伝統行事や冠婚葬祭などの習慣にも参加・協力するなど、隣人と触れ合い、情報交換することで地域社会にとけ込むことが大事である。現代都市人が、過去に置き忘れ、最も苦手にしてしまっただけかもしれない。そのためには、その地域内に何でも相談できる人を確保することが大事になるし、地元住民とも積極的に付き合うことも重要だ。

こうしたことから、今後、多くの人がIターン・Jターン・Uターンすることによって、都市住民は「このころの時代」の多様なライフスタイルを農山漁村で創造することができ、農山漁村側でも地域コミュニティ活動や地域文化活

動などの新たな担い手を得て活性化し、これらのニーズをつなげることで新たな時代にあった社会をつくり上げることができるだろう。



## 所在地

不二ビル8階 (財) 都市農山漁村交流活性化機構内  
有楽町電気ビル 南館1F

都道府県会館15階  
大阪駅前第1ビル  
都道府県会館7階  
大阪駅前第一ビル9階  
南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内  
大阪駅前第一ビル9階 岩手県大阪事務所内  
岩手県庁2階  
都道府県会館12階  
都道府県会館7階  
大阪駅前第1ビル9階

虎ノ門三井ビル やまがたプラザゆとり都内  
大阪駅前第1ビル8階  
ふくしま会館内  
セントラルビル3階  
都道府県会館13階 山梨県東京事務所内  
大阪駅前第3ビル21階 山梨県大阪事務所内  
東京富士山会館ビル5階  
近畿富士山会館3階  
都道府県会館14階  
住友生命御堂筋ビル2階  
中日ビル4階 石川県名古屋事務所内  
都道府県会館10階

都道府県会館12階  
表参道・新潟館ネスバス2階  
県庁労働雇用課内  
都道府県会館13階 静岡県東京事務所内  
アスト3階  
京都テルサ西館3階  
神戸クリスタルタワー12階  
都道府県会館12階  
都道府県会館10階  
大阪駅前第3ビル22階  
福島ビル1階 にほんばし島根館内  
島根ビル2階 島根県大阪事務所内  
ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内  
都道府県会館10階 岡山県東京事務所内  
岡山県産業ビル4階 岡山県大阪事務所内  
虎ノ門琴平タワー22階 広島県東京事務所内  
大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内

日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館  
阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪事務所内  
都道府県会館14階 徳島県東京事務所内  
徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内  
都道府県会館9階  
大阪駅前第1ビル7階  
都道府県会館11階  
肥後橋センタービル1階  
都道府県会館11階  
大阪駅前第1ビル9階  
都道府県会館14階

大阪駅前第3ビル21階  
新西銀座ビル8階  
大阪駅前第3ビル21階  
福岡天神センタービル10階  
都道府県会館15階  
大阪駅前第1ビル9階 宮崎県大阪事務所内  
千代田ビル9階 かごしま遊楽館  
千代田ビル9階 かごしま遊楽館  
大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内  
大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内  
博多ビル8階 鹿児島県福岡事務所内



●道府県I・J・Uターン就職情報等提供・相談窓口

地域	団体名	農業 就業 情報	林業 就業 情報	漁業 就業 情報	定住 情報	地元企 業求人 情報	電話番号	
全国	ふるさとプラザ東京	全国のグリーンツーリズム(ふるさと体験)情報提供					03-3548-2310	東京都中央区八重洲1-5-3
	ふるさと情報プラザ	全国の自治体観光パンフレット等の提供					03-3284-0855	東京都千代田区有楽町1-7-1
北海道	北海道IJU(移住)情報センター	●			●	●	03-5212-9210	東京都千代田区平河町2-6-3
青森県	北海道大阪事務所	●			●	●	06-6344-4151	大阪市北区梅田1-3-1-900
	青森県東京事務所	●				●	03-5212-9113	東京都千代田区平河町2-6-3
岩手県	青森県大阪情報センター	●				●	06-6341-2184	大阪市北区梅田1-3-1-900
	岩手県Uターンセンター	●			●	●	03-3524-8284	東京都中央区銀座5-15-1
宮城県	いわてUターンセンター	●			●	●	06-6341-3258	大阪市北区梅田1-3-1-900
	(財)ふるさといわて定住財団	●	●		●	●	019-653-8976	盛岡市内丸10-1
秋田県	宮城県東京事務所内東京情報センター				●	●	03-5212-9048	東京都千代田区平河町2-6-3
山形県	Aターンプラザ秋田				●	●	03-5251-9115	東京都千代田区平河町2-6-3
	秋田県大阪事務所					●	06-6341-7897	大阪市北区梅田1-3-1-900
福島県	山形県Uターン情報センター	●	●	●	●	●	03-3504-2717	東京都千代田区霞ヶ関3-8-1
	山形県大阪事務所	●				●	06-6341-6816	大阪市北区梅田1-3-1-800
群馬県	ふるさと福島就職情報センター					●	03-3834-6230	東京都台東区上野2-12-14
山梨県	ぐんまUターンコーナー	●	●			●	03-3231-4836	東京都中央区京橋1-1-5
	ふるさと山梨就職相談室	●	●		●	●	03-5213-2890	東京都千代田区平河町2-6-3
富山県	ふるさと山梨就職情報コーナー	●					06-6344-5961	大阪市北区梅田1-1-3-2100
	富山県東京Uターン情報センター					●	03-3816-1655	東京都文京区白山5-1-3
石川県	富山県大阪Uターン情報センター					●	06-6445-2811	大阪市西区靱本町1-9-15
	石川県Uターンサポートセンター	●	●	●		●	03-5212-9016	東京都千代田区平河町2-6-3
福井県	石川県大阪Uターン相談室	●	●	●		●	06-6363-3077	大阪市北区西天満4-14-3
	石川県名古屋Uターン相談室					●	052-261-6067	名古屋市中区栄4-1-1
長野県	福井県東京事務所	●	●	●	●	●	03-5212-9074	東京都千代田区平河町2-6-3
	福井県大阪事務所	●	●	●	●	●	06-6231-1024	大阪市中央区瓦町2-2-14
新潟県	長野県東京Iターン相談室	●	●	●	●	●	03-5212-9187	東京都千代田区平河町2-6-3
岐阜県	にいがたUターン情報センター	●	●	●	●	●	03-5771-7713	東京都渋谷区神宮前4-11-7
	岐阜県労働雇用課					●	058-271-4135	岐阜市藪田南2-1-1
静岡県	静岡Uターン就職情報センター					●	03-5212-9035	東京都千代田区平河町2-6-3
	おしごと広場みえ					●	059-222-3309	津市羽所町700
和歌山県	京の田舎暮らし・ふるさとセンター	●			●		075-682-6624	京都市南区東九条下殿田町70
	ひょうご・しごと情報広場 若者しごと倶楽部					●	078-366-3731	神戸市中央区東川崎町1-1-3
鳥取県	きのくにUターンセンター	●	●	●	●	●	03-5212-9057	東京都千代田区平河町2-6-3
	ふるさと鳥取Uターンコーナー(東京)				●	●	03-5215-5117	東京都千代田区平河町2-6-3
島根県	ふるさと鳥取Uターンコーナー(大阪)	●	●		●	●	06-6455-0233	大阪市北区梅田1-1-3-2200
	東京ふるさと定住・雇用情報コーナー				●	●	0120-60-2357	東京都中央区日本橋室町1-5-3
岡山県	大阪ふるさと定住・雇用情報コーナー				●	●	0120-70-2357	大阪市北区西天満3-13-18
	広島ふるさと定住・雇用情報コーナー	●	●	●	●	●	082-541-2410	広島市中区立町1-23
広島県	ふるさと岡山就職相談コーナー	●	●	●	●	●	03-5212-9081	東京都千代田区平河町2-6-3
	ふるさと岡山就職相談コーナー	●	●	●	●	●	06-6261-3206	大阪市中央区備後町3-2-13
山口県	東京ふるさと就職情報コーナー					●	03-3580-0851	東京都港区虎ノ門1-2-8
	大阪ふるさと就職情報コーナー					●	06-6345-5821	大阪市北区梅田1-3-1-800
徳島県	ひろしま夢ぶらざ田舎ぐらし相談センター				●		082-544-1122	広島市中区本通8-28
	ふるさと山口・東京Uターン相談コーナー	●	●	●	●	●	03-3231-1863	東京都中央区日本橋2-3-4
香川県	ふるさと山口・大阪Uターン相談コーナー	●	●	●	●	●	06-6341-0755	大阪市北区梅田2-4-13
	徳島県Uターンコーナー(東京)	●				●	03-5212-9022	東京都千代田区平河町2-6-3
愛媛県	徳島県Uターンコーナー(大阪)	●	●			●	06-6251-3273	大阪市中央区南船場3-9-10
	香川県東京人材Uターン・コーナー	●				●	03-5212-9100	東京都千代田区平河町2-6-3
佐賀県	香川県大阪人材Uターン・コーナー	●				●	06-6342-4855	大阪市北区梅田1-3-1-700
	愛媛県東京事務所					●	03-5212-9071	東京都千代田区平河町2-6-3
長崎県	愛媛県大阪事務所					●	06-6441-2829	大阪市西区江戸堀1-9-1
	佐賀県東京事務所	●			●	●	03-5212-9073	東京都千代田区平河町2-6-3
熊本県	佐賀県大阪事務所	●				●	06-6344-8031	大阪市北区梅田1-3-1-900
	長崎県東京事務所					●	03-5212-9025	東京都千代田区平河町2-6-3
大分県	長崎県大阪事務所					●	06-6341-0012	大阪市北区梅田1-3-1-800
	長崎県地域振興部地域政策課	●	●	●	●	●	095-895-2243	長崎市江戸町2-13
宮崎県	熊本県Uターン就職情報コーナー	●	●	●	●	●	03-3572-5022	東京都中央区銀座5-3-16
	熊本県大阪事務所	●				●	06-6344-3883	大阪市北区梅田1-1-3-2100
鹿児島県	大分県Uターン就職情報コーナー	●	●	●	●	●	03-6228-8770	東京都中央区銀座2-2-2
	大分県大阪事務所	●	●	●	●	●	06-6345-0071	大阪市北区梅田1-1-3-2100
鹿兒島県	大分県福岡事務所	●	●	●	●	●	092-721-0041	福岡市中央区天神2-14-8
	ふるさと宮崎就職相談窓口(東京)	●	●	●	●	●	03-5212-9007	東京都千代田区平河町2-6-3
福岡県	ふるさと宮崎就職相談窓口(大阪)	●	●	●	●	●	06-6345-7631	大阪市北区梅田1-3-1-900
	鹿児島県かごしま遊楽館	●	●			●	03-3506-9177	東京都千代田区有楽町1-6-4
	ふるさと人材相談室(東京)				●	●	03-3506-9177	東京都千代田区有楽町1-6-4
	鹿児島県新規就農大阪相談所	●				●	06-6341-5618	大阪市北区梅田1-3-1-900
福岡県	鹿児島県ふるさと人材相談室大阪事務所				●	●	06-6341-5618	大阪市北区梅田1-3-1-900
	鹿児島県新規就農福岡相談所	●					092-441-2852	福岡市博多区博多駅中央街8-36

### アンテナショップの紹介

ここで紹介しているのは、道府県などが、東京などに開設しているアンテナショップ。

iju info サポーターと称しているのは、本誌の展示・配布にご協力いただいているからだ。

地元の観光情報や特産品の展示や販売、ふるさとの味を食べさせてくれる飲食店に分類し、そのアンテナショップで提供しているものに●印をつけている。

Ｉターン、Ｊターン、Ｕターンを考えている地域のアンテナショップ訪ね、情報を集めたり、ふるさとの味を楽しもう。

### 住所

東京交通会館1階  
 北海道東京事務所内  
 北陸銀行ビル1階  
 ダイハチ重洲口ビル1階  
 青森県会館1階  
 南海東京ビルディング1階  
 都道府県会館7階  
 東池ビル1・2階  
 出光ナガホリビル1階  
 七十七ビル3階 ふるさと回帰支援センター内  
 ニュー新橋ビル1階  
 都道府県会館11階 栃木県東京事務所内  
 セントラルビル3階  
 日本橋プラザビル1階

東京交通会館2階

東京交通会館地下1階  
 東宝ツインタワービル1階  
 東京交通会館B1階  
 福島ビル1階  
 日本橋プラザビル1階  
 新橋マリビル1・2階  
 カネシンビル1階

新宿サザンテラス内  
 千代田ビル1～3・9階  
 東京交通会館3階



### 加賀・能登・金沢江戸本店

石川県を代表する名産・物産を一堂に集めております。加賀・金沢・能登、それぞれの風土や歴史が異なり、その違いが食品や工芸品などの特性として表れ、首都圏ではなかなか入手困難な品々を取り揃えております。あわせて、石川県の観光情報などを発信するコーナーも常設いたしております。首都圏と石川県の橋渡しの拠点としての機能も兼備していきたいと考えています。

- 営業時間 10:30～19:30
- 休日 年末年始
- URL <http://www.pref.ishikawa.jp/noto/furusato.html>

### いきいき富山館

雄大な立山連峰、神秘的な富山湾、ノスタルジックな山里・・・豊かな自然に囲まれた富山は、食べ物のおいしさでは全国でも横綱級。駅弁で人気の「ますの寿司」をはじめホタルイカやシロエビといった珍味、通もうなる地酒や昔懐かしいお菓子など富山ならではの「うまいもん」を多数取り揃えております。また、立山黒部アルペンルートや越中おわら風の盆などの詳しい観光案内もお任せください。

- 営業時間 10:00～19:00（日、祝祭日10:00～18:00）
- 休日 年末年始
- URL <http://www.toyamakan.com/>

読者  
 プレゼント  
 コーナー

ココにあり！  
 ふるさとの逸品

宮崎の魅力いっぱい！



新宿みやざき館「KONNE」には、宮崎の人気特産品が豊富に取り揃っております。県産品を豊富に使った菓子や畜産加工品、焼酎など魅力いっぱい。

読者プレゼントとして、「日向夏ドリンク20本入りセット」を5名の方にプレゼントします。ふるってご応募ください。

KONNE 新宿みやざき館

MAP



渋谷区代々木2-2-1  
 JR「新宿駅」サザンテラス口より徒歩1分  
 営業時間 11:00～21:00 【1F】食品、軽食  
<http://www.konne.jp/> 【2F】焼酎、観光案内

応募方法：ハガキに、氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、本誌の感想等をご記入の上、「iju info プレゼント係」（〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル5F 全国農業会議所）までお送りください。締切は6月15日（当日消印有効）。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



地域	団体名	観光情報	地元産品 展示・販売	飲食	電話番号	
全国	むらからまちから館	●	●		03(5208)1521	東京都千代田区有楽町2-10-1
北海道	(社)北海道観光連盟 東京案内所	●			03(5251)1151	東京都千代田区永田町2-17-17
	まるごと北海道物産本舗雷門店		●	●	03(3842)0510	東京都台東区雷門2-12-10
	北海道フーディスト八重洲店		●	●	03(3275)0770	東京都中央区八重洲2-2-1
青森県	あおもり北彩館東京店	●	●		03(3237)8371	東京都千代田区富士見2-3-11
岩手県	いわて銀河プラザ	●	●		03(3524)8282	東京都中央区銀座5-15-1
秋田県	秋田県東京事務所産業情報課	●			03(5212)9115	東京都千代田区平河町2-6-3
宮城県	宮城ふるさとプラザ「コ・コ・みやぎ」	●	●	●	03(5956)3511	東京都豊島区東池袋1-2-2
青森・岩手・秋田	青森・岩手・秋田 きた東北発見プラザjengo	●	●	●	06(6241)7144	大阪府大阪市中央区南船場3-4-26
福島県	ふくしまふるさと情報センター	●			03(3543)0333	東京都中央区銀座4-14-11
	いわき・ら・ら(いわき市東京事務所)	●	●		03(3592)2247	東京都港区新橋2-16-1
栃木県	とちぎ企業・観光誘致センター	●	展示のみ		03(5212)8715	東京都千代田区平河町2-6-3
群馬県	群馬観光物産プラザ	●			03(3231)4836	東京都中央区京橋1-1-5
山梨県	富士の国やまなし館	●	●		03(3241)3776	東京都中央区日本橋2-3-4
福井県	ふくい南青山291	●	●		03(5778)0291	東京都港区南青山5-4-41
長野県	長野県東京観光情報センター	●	●		03(3214)5651	東京都千代田区有楽町2-10-1
新潟県	表参道・新潟館ネスパス	●	●	●	03(5771)7711	東京都渋谷区神宮前4-11-7
富山県	いさいき富山館	●	●		03(3231)5032	東京都千代田区有楽町2-10-1
石川県	加賀・能登・金沢江戸本店	●	●		03(3500)3883	東京都千代田区有楽町1-5-2
和歌山県	わかやま喜集館	●	●		03(3216)8000	東京都千代田区有楽町2-10-1
島根県	にほんばし島根館	●	●		03(5201)3310	東京都中央区日本橋室町1-5-3
山口県	おいでませ山口館	●	●		03(3231)1863	東京都中央区日本橋2-3-4
香川・愛媛県	香川・愛媛せとうち旬彩館	●	●	●	03(3574)2028	東京都港区新橋2-19-10
高知県	コウチ・マーケット		●		03(5565)1295	東京都中央区築地4-10-5
熊本県	熊本県東京事務所 銀座熊本館	●	●		03(3572)5022	東京都中央区銀座5-3-16
宮崎県	新宿みやざき館「KONNE」	●	●	●	03(5333)7764	東京都渋谷区代々木2-2-1
鹿児島県	かごしま遊楽館	●	●	●	03(3506)9177	東京都千代田区有楽町1-6-4
沖縄県	(財)沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所	●			03(5220)5311	東京都千代田区有楽町2-10-1



### いわき・ら・ら(いわき市東京事務所)

“いわき・ら・ら”は、福島県いわき市の情報発信基地として東京都港区新橋にオープンし、いわき市の観光案内や物産品の展示・販売などを通して、いわき市のPRをしています。一歩店内に入れば、気軽にふるさと気分が味わえ、「楽しさ」「懐かしさ」を感じることができます。

四季折々の旬な見所、産地直送の新鮮な海産物や逸品・特産品など美味しさ満載の“いわき・ら・ら”で、ぜひ、いわきの旬を感じてみてはいかがでしょうか。

- 営業時間 10:30~19:00
- 休日 土・日・祝日
- URL <http://www.kankou-iwaki.or.jp/iwakilala/>

### 富士の国やまなし館

「週末はやまなしへおいでください!」と観光、物産の水先案内をしている情報館「富士の国やまなし館」には常設と企画コーナーがあります。常設コーナーでは、ワイン、信玄餅、信玄桃、甲州ころ柿などの食品や印傳を販売しています。企画展コーナーには、ぶどう、桃、野菜などの農産物、宝飾品(ジュエリー、水晶)、ネクタイ、スカーフなどの織物などは地元の生産者が直接販売に出てくるため、安価で購入できます。また、5~11月まで果物王国山梨の美味しい果物や野菜の新鮮市も開かれ、毎日人気です。ぜひ問い合わせください。

- 営業時間 10:00~19:00
- 休日 年末年始
- URL <http://www.yamanashi-kankou.jp/tokyo/tokyo001.html>

### とちぎ企業・観光誘致センター

東京から最も近い世界遺産「日光」や鬼怒川・川治温泉、2006年に開湯1200年を迎えた湯の香漂う塩原温泉郷、平家伝説が残る湯西川・川俣・奥鬼怒温泉、高原リゾートをはじめとする県内各地の観光案内、お祭りや季節ごとのお花など、旬な情報を発信しています。

- 営業時間 9:00~17:30
- 休日 土、日、祝祭日、年末年始
- URL <http://www.pref.tochigi.jp/tokyo-jimusyo/tk.index.html>

### 青森・岩手・秋田 きた東北発見プラザ jengo

豊かな大地が生んだ自然の実りやお土産品を販売しています。店内には、青森・岩手・秋田の食品や工芸品など1500アイテムの特産品が、皆様のお越しをお待ちしております。

- 営業時間 1階物産フロア 11:00~20:00、  
2階観光案内・工芸品展示 11:30~18:30
- 休日 1月1日~3日
- URL <http://www.jengo.jp/>

農林漁業就業・ふるさと情報

次号予告

2007 秋号 (2007 年 7 月下旬発行)



東北地方の  
IJU ライフ

### 送付のご案内 (無料)

「iju info」は季刊誌 (年4回発行) です。  
1月末、4月末、7月末、10月末に発行いたします。  
本誌は、お申し込み頂いた方に無料で送付いたします。  
送付を希望される方は、本誌のWEBサイトからお申し込みください。

URL <http://web-iju.info/>  
携帯 <http://web-iju.info/i/>

また、FAXもしくは郵送でのお申し込みも受け付けています。  
郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、下記まで送付ください。  
ご登録頂いた個人情報は、「iju info」の送付以外には使用いたしません。  
また、個人情報保護法に基づき、発行所である全国農業会議所が定める個人情報保護規程により適正に運用いたします。

#### 【iju info】に関するお問い合わせ

全国農業会議所 iju info メディアチーム  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル  
TEL. 03 (5251) 3907 FAX. 03 (5156) 0363



本誌は全国農業会議所もしくは全国新規就農相談センターに情報提供に関する登録をいただいた方に送付しております。

#### ※全国農業会議所とは？

全国農業会議所は、市町村に設置されている農業委員会、都道府県の農業会議と併せて構成される農業委員会系統組織のナショナルセンターです。3段階とも「農業委員会等に関する法律」で定められた組織で、公職選挙法を準用した農業者の代表である農業委員を基礎として構成されています。

3段階の組織を通じて、農業者や地域の声を結集し、農地・構造・経営対策を積極的に推進することで、農業・農村の発展と農業者の経営確立、さらに社会・経済の発展をめざしています。

農業委員会系統組織は1987年度から農業内外からの新規就農希望者の相談活動に取り組んできました。

その就農相談の窓口として、農林水産省の支援を受け、全国農業会議所内に全国新規就農相談センター、都道府県農業会議内に都道府県新規就農相談センター (都道府県青年農業者等育成センターと共同窓口) を設置しています。

発行人/谷脇修

編集人/砂田嘉彦

プランニング/池田辰雄・富永章・中園良行

阿久津正・石井葉子・植田智己・碓氷晴之・黒谷伸・白川智一・山村勝廣

取材協力/大浦佳代・神山安雄・佐藤亮子・三好かやの

発行/全国農業会議所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル

協力/都道府県農業会議

印刷・編集協力/株式会社丸井工文社 デザイン/有限会社アイランドコレクション

本誌に関するお問い合わせ TEL. 03 (5251) 3907

iju info は全国農業会議所の登録商標です。© iju info



紙面刷新!

この国の  
農と食を  
伝えます。

全国農業新聞は農業者の  
公的代表機関である  
農業委員会系組織が発行する  
週刊の農業総合専門紙です。

NATIONAL  
AGRICULTURAL  
NEWS

# 全国農業 新聞

週刊 金曜日発行  
月600円、年7,200円  
(消費税込)

■購読の申込みは市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。

■発行所  
全国農業会議所  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-25-5  
虎ノ門34MTビル  
電話 03-5251-3910  
ホームページ  
<http://www.nca.or.jp/shinbun>

## 農業者の視点でお届けします

- 1 特徴のある週刊新聞 .....> 解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- 2 時代に鋭く斬り込む .....> 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 3 経営に役立つ .....> 経営者マインドと実務情報
- 4 喜びや悩みを共感できる .....> 読者の心に訴える
- 5 深みと味がある .....> 単なる情報で終わらない
- 6 読みやすく親しみやすい .....> 老若男女が楽しく読める



農業を通して独立することができました。



空気のきれいな場所に暮らすようになって、  
家族が健康になりました。



夫婦で協力して作物を作る達成感、  
他の職業では味わえません。



夢・いのち・チカラ。  
育むのは、



自然のなかで土いじりをしていると、心が安らぎます。



自然が相手の農業にはマニュアルがない。  
だから毎日がおもしろい。



就農してはじめての出荷。  
今でも忘れられない感動の出来事です。



## 農業を仕事にするための総合イベント

# 新・農業人フェア7

入場無料

### 農業法人等合同会社説明会

農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集している農業法人等経営者と面談できるブースを設置します。

入退場自由

### 新規就農相談会

都道府県ごとのブース、受け入れ希望市町村ごとのブースなどを設置し、農業を始めるための個別相談に応じます。

服装自由

### 職業紹介・派遣登録

農業法人等への就職希望者のために、求人情報を提供します。また、派遣社員として働きたい方の登録を行います。

履歴書不要

### 農業インターンシップ

農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のためのブースを設置し、相談に応じます。

家族・友人連れ歓迎

### 田舎の農地利用相談会

田舎に所有する農地の利用方法など農地に関する様々な相談に応じます。

### チャレンジ!ファームスクール

合宿形式による農作業実習の概要について説明します。

### 新規就農セミナー

農業法人への就職、新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農業法人就職者による事例発表などを行います。

## 2007年度開催情報

開催時間 10:30>16:00

※札幌会場のみ17:00まで開催しております。

東京	池袋サンシャイン	展示ホールA2・3	2007年 6月 9日(土)
	池袋サンシャイン	展示ホールA2・3	2007年 9月 15日(土)
	東京しごとセンター		2007年 11月 17日(土)
	池袋サンシャイン	展示ホールA2・3	2008年 3月 15日(土)
札幌	ロイトン札幌	ロイトンホール	2008年 2月 16日(土)
大阪	梅田スカイビル	アウラホール	2007年 5月 26日(土)
	OMM	展示ホールA・B	2007年 12月 22日(土)
	梅田スカイビル	アウラホール	2008年 2月 24日(日)

お問い合わせ: 全国新規就農相談センター

TEL.03-3507-3088

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

主催: 全国農業会議所・全国新規就農相談センター・(社)日本農業法人協会・研修農場ネットワーク  
後援: 農林水産省・厚生労働省

## 田舎暮らしフェア

同時開催

10:30>16:00

※札幌会場のみ17:00まで開催しております。

セカンドライフとして田舎暮らしを希望する方のために、相談会やセミナーを開催します。

東京	池袋サンシャイン	07年9月15日(土)	大阪	OMM	07年12月22日(土)
	池袋サンシャイン	08年3月15日(土)		梅田スカイビル	08年 2月24日(日)
札幌	ロイトン札幌	08年2月16日(土)			※会場・ホールは「新・農業人フェア」と同様です。